

平成29年度

(平成28年度実績)

教育委員会自己点検・評価
報告書

塩尻市教育委員会

目 次

| | |
|------------------------|----|
| 塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要 | 1 |
| 平成28年度 事業部ミッション | 5 |
| こども教育部 | 5 |
| 市民交流センター | 21 |
| 平成28年度 事務事業評価シート | 25 |
| こども教育部 | 25 |
| 市民交流センター | 43 |
| 教育委員会個別計画成果指標等 | 50 |
| 塩尻市教育振興基本計画 | 50 |
| 元気っ子育成支援プランⅡ | 52 |
| 塩尻市生涯学習推進プランⅢ | 54 |
| 塩尻市スポーツ推進計画 | 56 |
| 図書館サービス計画 | 58 |
| 子ども読書活動推進計画 | 59 |
| 平成28年度 塩尻市教育委員会会議等記録 | 60 |

塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要

(1) 制度導入の経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正（平成19年6月）により、すべての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされました。

これにより、塩尻市教育委員会においては平成21年度（平成20年度事業）から制度の導入を行い、自己点検・評価を行っています。

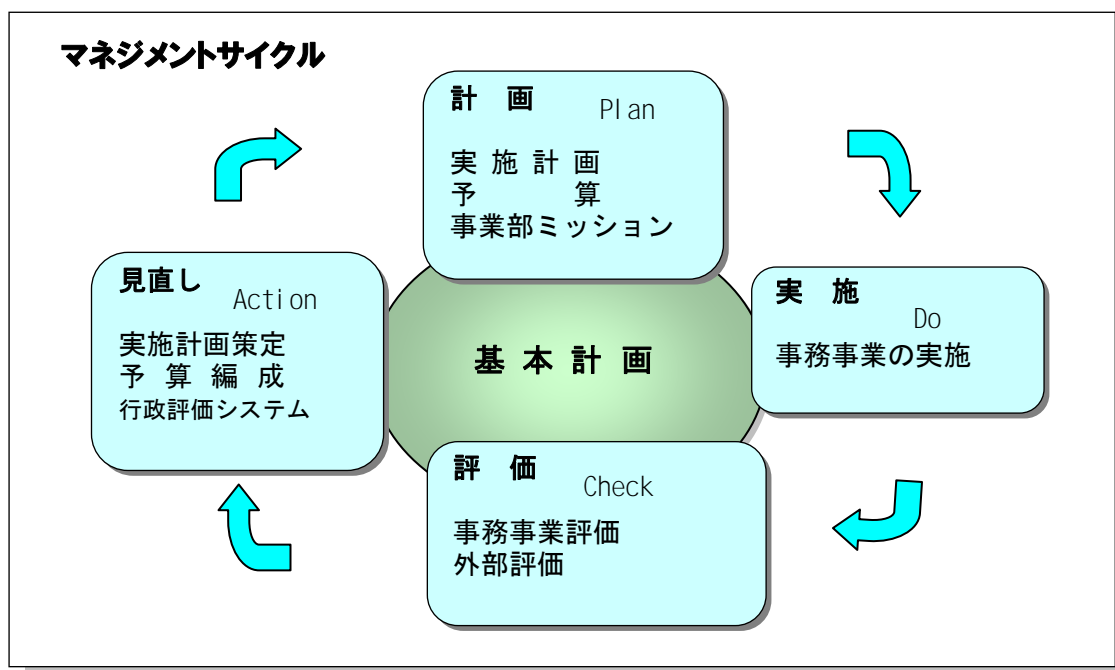
(2) 制度導入の目的

ア 市民により近い存在としての教育委員会

自己点検・評価を広く公表することにより、教育委員会としての説明責任を果たし、市民により近い存在としての教育委員会を目指します。

イ 質の高い効率的な事務の実現

事業部ミッションに基づき事業を実施することはもちろんのこと、評価や検証をしながら改善を行うことにより、事業の効果を高めるマネジメントサイクル **Plan : 計画** → **Do : 実施** → **Check : 評価** → **Action : 見直し** の確立を図り、限られた財源や人員を有効に活用していきます。



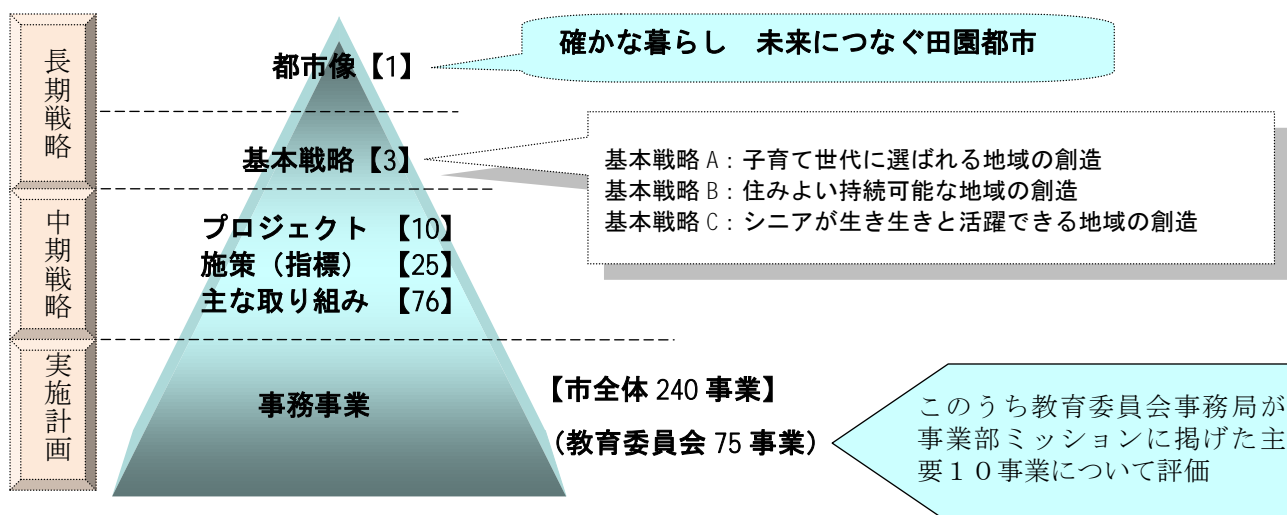
ウ 効果的な事業の運営

事業の妥当性、効率性及び有効性などの視点から評価を行い、より効果的な事業の運営を図ります。

(3) 評価対象事業

平成28年度に教育委員会（こども教育部、市民交流センター）が実施した事業の中で、各部が事業部ミッションとして掲げた事業のうちの10事業について自己点検評価を行います。

【第5次塩尻市総合計画の施策体系】



○教委委員会関係事業等の内訳

| | 行政評価システム（市企画課） | | | 教育委員会 | |
|--------|----------------|-------|-----------|-------------------|-------------|
| | 施策評価数 | 事務事業数 | 評価対象の事務事業 | 事業部ミッション（年度当初に作成） | 自己点検・評価対象事業 |
| こども教育部 | 11 | 66 | 60 | 3 | 7 |
| 市民交流C | 3 | 9 | 8 | 3 | 3 |
| 合計 | 14 | 75 | 68 | 6 | 10 |

(4) 評価のプロセス

市で実施している行政評価システムにおいて作成した事務事業評価シートを活用し、教育委員会（教育長・教育委員）による評価と塩尻市教育振興審議会による外部評価を行っております。

以上の手順で評価を行い、担当課により改善内容を策定しております。

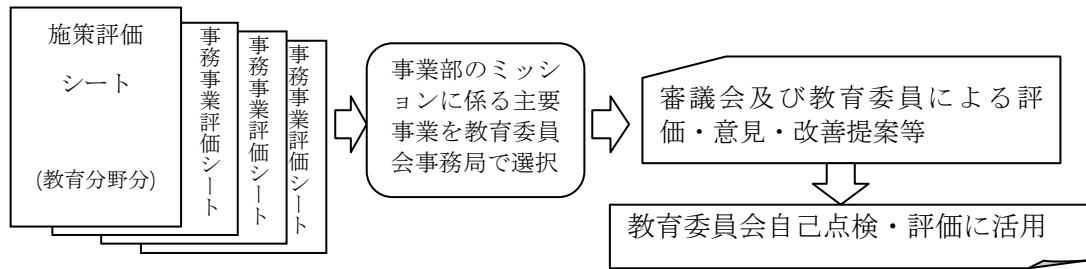
■第5次塩尻市総合計画の行政評価システム（市企画課実施）の活用

（行政評価システムでは、担当課にて自己点検・評価を実施しております。）

○平成28年度の行政評価

| | | |
|-------|---|---|
| 実施時期 | H28年 9月～11月 | H29年 6月 |
| 評価名 | 事中評価 | 事後評価 |
| 目的・活用 | <ul style="list-style-type: none"> 現状の課題抽出 改革、改善案の提案 次年度の予算編成に活用（予算との連動） | <ul style="list-style-type: none"> 評価指標の分析 決算説明資料への活用 |

イメージ図



(5) 塩尻市教育振興審議会について

教育委員会では、自己点検・評価の客観性を確保し、自己点検・評価活動の質的向上を図るため、平成29年10月17日に塩尻市教育振興審議会へ塩尻市教育委員会の自己点検評価について諮問しております。

塩尻市教育振興審議会は、教育に関し学識を有する者で構成されており、自己点検・評価等に関する審議をお願いしております。

塩尻市教育振興審議会

1 審議会の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会の施策及び事務事業に関する管理及び執行の状況の点検及び評価について審議を行う。

2 審議会委員について

(1) 委嘱期間 平成29年10月1日から2年間

(2) 審議会委員 3人

- ・有路 憲一 氏 信州大学全学教育機構 准教授
- ・今村 篤史 氏 松本大学総合経営学部 専任講師
- ・中野 達郎 氏 行政経験者

(3) 審議日程

第1回 平成29年10月17日

第2回 平成29年11月21日

【参考 関係例規】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○塩尻市教育振興審議会条例

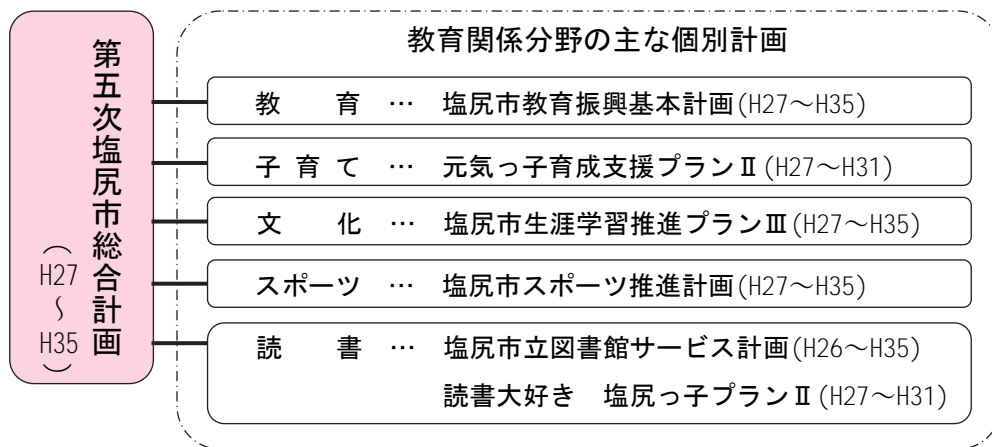
(任務)

第2条 審議会は、塩尻市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ、次の事項について調査審議する。

- (1) 教育基本法(平成18年法律第120号)第17条第2項の規定による教育振興基本計画の策定等に関する事項
- (2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定による教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事項
- (3) その他教育委員会が必要と認める事項

(6) 教育委員会関係個別計画の進捗状況について

教育委員会では、主要な個別計画を第5次塩尻市総合計画と整合を図りながら策定し、事業を実施しております。個別計画についても計画の実施状況を確認し、事業の見直し等を図るため、成果指標等により進捗状況を検証しております。



()内は計画期間

こども教育部

事業部ミッション1

子どもたちと子育てをする保護者のために、安心して健やかに子どもを産み育てることのできる家庭や地域の実現を目指し、子育ての負担軽減や家庭教育の支援、仕事と育児の両立支援などを推進する。

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
|----------|----------------------------|---|-----------------|--------------------|------|----|
| 1 | 子どもを産み育てるサポート体制の充実 | こども課 | 1子どもを産み育てる環境の整備 | にぎやか家庭応援事業(子育て支援分) | こども課 | 継続 |
| | | | 1-1出産・子育ての負担軽減 | | | |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | 子育てを支援する制度の周知 さまざまな保護者の相談事業への対応 | | | | |
| | 手段(何を行うか) | 3歳未満児を家庭で育児をしている保護者と児童について、保護者のリフレッシュや育児相談、情報共有の機会を提供する。 <ul style="list-style-type: none"> ・1日保育リフレッシュ事業 ・親子でイクジー事業 ・保育講演会事業 ・子育て応援発信事業 | | | | |
| 長期戦略中の展開 | 第1期:実施 第2期:継続 第3期:継続 | | | | | |
| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
| 2 | 子育て世代への経済的支援 | こども課 | 1子どもを産み育てる環境の整備 | にぎやか家庭応援事業(保育料減免分) | こども課 | 拡大 |
| | | | 1-1出産・子育ての負担軽減 | | | |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | 少子化の進行 多子世帯の経済的負担が大 | | | | |
| | 手段(何を行うか) | 保育園に通う児童の保護者について、保育料を減免する。 <ul style="list-style-type: none"> ・3歳以上の児童における第2子の保育料を50%、第3子以降の保育料を100%減免 ・低所得のひとり親世帯、多子世帯への減免の拡大 | | | | |
| 長期戦略中の展開 | 第1期:実施 第2期:継続 第3期:継続 | | | | | |

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
|-----------|---|--|--------------------|--------------|-------|----|
| 3 | 家庭教育支援の推進 | 家庭支援課 | 1子どもを産み育てる環境の整備 | 家庭支援推進事業 | 家庭支援課 | 拡大 |
| | | | 1-2安心して子育てできる環境の充実 | | | |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待、家庭児童相談件数の増加 ・子どもや家庭が抱える課題の複雑化、深刻化 ・母子保健事業との連携(児童虐待等の発生予防、深刻化の防止) | | | | |
| 手段(何を行うか) | <p>子育てや家庭教育などに関する様々な不安や課題を抱える保護者等に、家庭児童相談員などが相談に応じ、家庭の孤立化を防ぎ、不安や課題の解消を図る。 子どもたちの健やかな成長を支援するため、子どもたちの人権を守る研修、啓発を行うとともに、基本的な生活習慣と規則正しい生活リズムを身につけ、豊かな人間性が育まれる地域社会を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭児童相談 ・母子保健事業と連携した養育支援訪問事業の実施 ・「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」市民運動の推進 ・子育て支援ショートステイ事業の実施 ・子育て応援教室(ペアレントサポートプログラム)の実施 | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | <p>第1期:家庭児童相談員の拡充、養育支援訪問事業の実施 妊娠期からの包括的な相談支援体制の検証、拡大 親と子の愛着の形成を促進、非認知能力を高める施策の検討</p> <p>第2期:継続 第3期:継続</p> | | | | | |
| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
| 4 | 子育てと仕事の両立支援 | こども課 男女共同参画・人権課 | 1子どもを産み育てる環境の整備 | 保育所運営費 | こども課 | 継続 |
| | | | 1-2安心して子育てできる環境の充実 | 給食運営費 | こども課 | 拡大 |
| | 取り組みの概要 | | | 児童館・児童クラブ運営費 | こども課 | 継続 |
| | 現状の問題点・課題 | <p>未満児保育の需要が増加による、保育士、保育室の不足 児童館に児童クラブが併設という児童館・児童クラブの運営形態の分かりにくさ 安心して相談が出来る環境の整備 男女が等しく参加・活躍できる社会環境の推進</p> | | | | |
| 手段(何を行うか) | <p>保護者の子育てと仕事の両立を支援し、保護者の育児不安の解消に寄与するため、保育園等で健康的で安全な環境の中で保育し、緊急時にも対応した保育の支援を図る。 子どもを心身ともに健やかに育成するため、放課後に子どもの遊びや生活の場の提供を行う。 ライフイベントに対応した多様で柔軟な働き方を推進しワークライフバランスの実現を目指すため、地域、企業、学校、女性団体、女と男21ワーキンググループ等と連携した学習会等を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の適正な運営と保育士の確保 ・児童館・児童クラブ・放課後キッズクラブの円滑で効率的な運営 ・病児・病後児保育の実施 ・民間委託(プロポーザル方式)による安全安心で質の高い保育園給食の提供 ・女性のための相談事業の実施 ・結婚・出産応援講座の開催(H27実施) 離職後の再就職・再就労への準備支援、情報提供 ・第四次塩尻市男女共同参画基本計画の策定(H27実施) | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | <p>第1期:保育士の確保に向け、近隣自治体や各大学(就職担当課)との連携強化、情報の共有及び現保育室の効率的な転換計画等の検討 第四次塩尻市男女共同参画基本計画の策定/ 男女共同参画意識の啓発/学習機会の提供/女性相談の実施</p> <p>第2期:男女共同参画意識の啓発/学習機会の提供/女性相談の実施/継続</p> <p>第3期:継続</p> | | | | | |

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
|-----------|--|-------|--------------------|--------------------|-------|----|
| 5 | 保育・児童施設の整備 | 教育総務課 | 1子どもを産み育てる環境の整備 | 吉田原保育園・吉田児童館分館建設事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | | | 1-2安心して子育てできる環境の充実 | 保育所施設リニューアル事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | | | | 保育所施設改善事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | | | 児童館・児童クラブ施設改善事業 | 教育総務課 | 継続 | |
| | 取り組みの概要 | | | 児童福祉施設防犯対策事業 | 教育総務課 | 継続 |
| 現状の問題点・課題 | 老朽化が進行する施設の計画的な修繕、整備 | | | | | |
| 手段(何を行うか) | <p>各施設の適切かつ迅速な補修対応を図る。 施設整備を計画的に実施する。 耐震基準など法規対応を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉田原保育園・吉田児童館分館建設事業(外構整備・公園復旧) ・みずほ保育園大規模改修事業(実施設計) ・北小野保育園大規模改修事業(H27実施) ・広丘野村保育園改修(H27実施) ・各施設の整備工事 | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | 第1期:継続 第2期:継続 第3期:継続 | | | | | |

こども教育部

事業部ミッション2

子どもたちと子育てをする保護者のために、「社会を生き抜く力」を備え、郷土を知り、誇りと愛着をもったひとの育成を目指し、「一人ひとりの育ちに、ていねいに向き合う教育」を、家庭、学校、地域、行政が連携して推進する。

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | | |
|-----|-----------------|---|----------------------|---------------|----------------|-------|----|
| 1 | 時代の変化に対応した学力の向上 | 教育総務課 | 2教育再生による確かな成長の支援 | 小学校英語活動サポート事業 | 教育総務課 | 継続 | |
| | | | | 教育センター情報教育推進費 | 教育総務課 | 継続 | |
| | | | 2-1特色ある教育による知・徳・体の向上 | 小学校情報教育推進費 | 教育総務課 | 継続 | |
| | | | | 中学校情報教育推進費 | 教育総務課 | 継続 | |
| | 取り組みの概要 | | | | 小学校新学習指導要領対応事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | | | | | 中学校新学習指導要領対応事業 | 教育総務課 | 拡大 |
| | 現状の問題点・課題 | ICT活用教育の推進のための、教職員のICT活用指導力の不足 インターネットの安全な利用について、児童生徒、保護者、教職員への情報モラル教育の徹底 児童生徒のコミュニケーション能力の育成 新学習指導要領に準拠した指導教材の整備 | | | | | |
| | 手段(何を行うか) | 外国語指導助手、国際理解講師の生きた英語の学習を推進する。 ICT活用指導力向上に向けた研修等を継続して実施し、教職員の資質向上、児童生徒及び保護者の意識向上を図り、インターネット等の安全な利用につなげる。 授業へのタブレット端末導入を検討する。 最新の学習指導要領、教科書に応じた教材を提供する。 ・情報教育担当指導主事による研修や授業支援、情報モラル研修の実施 ・外国語指導助手、国際理解講師の配置 ・教育用コンピュータ、システムの維持管理 ・新学習指導要領準拠教材の購入(教科書変更 小学校H27 中学校H28) ・児童生徒間の意見交換や教員との対話をより取り入れた授業の推進 | | | | | |
| | 長期戦略中の展開 | 第1期:継続 第2期:継続 第3期:継続 | | | | | |
| | No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
| 2 | 健やかな成長の支援 | 教育総務課 | 2教育再生による確かな成長の支援 | 給食公会計事務諸経費 | 教育総務課 | 継続 | |
| | | | | 小学校給食運営事業諸経費 | 教育総務課 | 継続 | |
| | | | | 中学校給食運営事業諸経費 | 教育総務課 | 継続 | |
| | | こども課 | 2-1特色ある教育による知・徳・体の向上 | 教育振興諸経費(小学校費) | 教育総務課 | 継続 | |
| | | | | 教育振興諸経費(中学校費) | 教育総務課 | 継続 | |
| | | | | 青少年育成事業 | こども課 | 継続 | |
| | 取り組みの概要 | | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | 給食食材に対する放射性物質への不安 アレルギー対応児童生徒の増加 給食費の未納解消 家庭環境・生活環境等の違いによる学力格差の解消 | | | | | |
| | 手段(何を行うか) | 安心でおいしい学校給食を提供し、児童生徒の健康と健やかな育ちの支援を図る。 ・給食食材の放射性物質検査の継続 ・アレルギー食対応の給食調理員の配置及び施設設備等の整備 ・民事手続きを含めた未納者対応の実施 ・地域ぐるみで子どもを守る意識の醸成と啓発 ・海外姉妹都市との交流による、健全な青少年の育成 ・放課後等学習支援事業の実施による学習機会の提供 | | | | | |
| | 長期戦略中の展開 | 第1期:継続 第2期:継続 第3期:継続 | | | | | |

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | | |
|---------|-------------------------|--|------------------|----------------------|---------------|-------|----|
| 3 | 「社会を生き抜く力」を育む体験型学習の推進 | 教育総務課 | 2教育再生による確かな成長の支援 | 小学校特色ある教育活動事業 | 教育総務課 | 継続 | |
| | | 生涯学習スポーツ課 | | 2-1特色ある教育による知・徳・体の向上 | 中学校特色ある教育活動事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | 取り組みの概要 | | | こども未来塾等運営事業 | 教育総務課 | 継続 | |
| | | | | 塩嶺体験学習の家運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 | |
| | | | | 柏茂会館運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 | |
| | 現状の問題点・課題 | 各校の「特色ある教育活動」の支援 「塩嶺体験学習の家」「柏茂会館」の利活用促進 キャリア教育の推進、体験的学習の充実のための地域との連携 | | | | | |
| | 手段(何を行うか) | 地域の文化や産業、各校の伝統を活かした特色ある教育活動、総合的な学習の充実等のために、各校に補助金を交付するとともに、基礎的な学力の定着に向けた取り組みを推進する。 「塩嶺体験学習の家」を活用した様々な体験プログラムで構成する「こども未来塾」の開催や、「柏茂会館」の利用促進を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・生きる力を育む交付金の交付 ・こども未来塾の開講 ・体験学習フェスティバルの開催 ・体験学習施設の維持管理 ・特色ある教育活動事業の成果、交付金のあり方の検証(H27実施) | | | | | |
| | 長期戦略中の展開 | 第1期:継続・事業再構築・一部見直し 第2期:継続・新規事業拡大 第3期:継続 | | | | | |
| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | | |
| 4 | きめ細かな教育の推進(教育のセーフティネット) | 家庭支援課 | 2教育再生による確かな成長の支援 | まなびサポート事業 | 家庭支援課 | 拡大 | |
| | | こども課 | | 元気っ子応援事業 | 家庭支援課 | 拡大 | |
| | | | | 保育補助員設置事業 | こども課 | 継続 | |
| | 教育総務課 | 2-2きめ細かな支援による平等な学習機会の提供 | 教育相談研究事業 | 教育総務課 | 継続 | | |
| | | | | スクールバス運行費 | 教育総務課 | 継続 | |
| | | | | 小学校補助交付金 | 教育総務課 | 継続 | |
| | | | | 中学校補助交付金 | 教育総務課 | 継続 | |
| 取り組みの概要 | | | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | 様々な支援を必要とする家庭の増加傾向 ニーズの多様化に対応した人材確保 | | | | | |
| | 手段(何を行うか) | 子どもたちの個性や特性を大事にしながら18歳までの成長、発達を支援し、自立した次世代の市民の育成を図るため、学校、家庭、関係機関等が包括的に、きめ細やかな支援を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校への計画的な特別支援講師及び支援介助員の配置 ・元気っ子応援事業の推進 ・教育支援委員会の開催 ・特別支援教育担当指導主事を中心に、学校内の支援体制の充実強化 ・おじいちゃん、おばあちゃん先生の配置 ・生徒指導担当指導主事を中心に、子と親の心の支援員、教育相談員がチームを組んだ支援体制の強化 ・市教育センター、中間教室と連携した、不登校児童生徒の在籍校復帰への支援 ・学校でのQ-Uアンケートの活用などによる、安定した学級運営の推進 ・通学、学校行事への補助 | | | | | |
| | 長期戦略中の展開 | 第1期:支援体制の強化、相談員の充実、支援介助員の拡充 副次的な学籍による交流及び共同学習の実施の検討 第2期:継続 第3期:継続 | | | | | |

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
|----------|--|---|-------------------------|-----------------|-------|----|
| 5 | 学校運営体制の充実 | 教育総務課 | 2教育再生による確かな成長の支援 | 地域連携教育推進事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | | | 2-2きめ細かな支援による平等な学習機会の提供 | | | |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | 学校運営協議会や学校支援ボランティア等を担う地域の人材育成と、学校職員の理解 中学校通学区と小学校通学区の対応が複雑なため、小中連携体制への工夫 | | | | |
| | 手段(何を行うか) | <p>塩尻市教育振興基本計画に基づき、地域の教育力を活用し、児童生徒の学習支援やキャリア教育を充実させ、「社会を生き抜く力」を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールの導入による地域の教育力を活かした学校運営の推進 ・学校・家庭・地域が連携した学校運営体制整備のため、教育委員会と学校の調整、教職員研修の実施 ・小中一貫・連携教育の推進 ・地域連携コーディネータ、学校支援コーディネータの配置 ・学校支援ボランティア等が効果的に活動するための制度設計と運営 ・学校、産業界及び地域を繋ぐキャリア教育支援協議会の設置と全市的な職場受入先データベースの整備 ・児童生徒の減少が課題である槽川地区について、今後の教育・学校のあり方を検討 | | | | |
| 長期戦略中の展開 | <p>第1期:継続 学校・家庭・地域が連携した学校運営の体制化の検討・関係者啓発・コミュニティ・スクールの導入、推進</p> <p>第2期:継続</p> <p>第3期:継続</p> | | | | | |
| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
| 6 | 学校・教育施設の整備 | 教育総務課 | 2教育再生による確かな成長の支援 | 小学校非構造部材耐震化推進事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | | | 2-2きめ細かな支援による平等な学習機会の提供 | 中学校非構造部材耐震化推進事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | 取り組みの概要 | | | 小学校施設改善事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | | | | 中学校施設改善事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | | | | 小学校大規模改修事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | | | | 中学校大規模改修事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | | | | 学校施設集中管理事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | | | | 教職員住宅管理諸事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | 現状の問題点・課題 | 老朽化が進行する施設の計画的な修繕、整備及び処分 | | | | |
| | 手段(何を行うか) | <p>適切かつ迅速な補修対応を図る。 施設整備を計画的に実施する。 耐震基準など法規対応を推進する。 教職員住宅の計画的な処分を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校大規模改修工事(洗馬小学校、塩尻東小学校) ・貯水槽耐震化事業(宗賀小学校) ・吊り天井改修事業(塩尻西部中学校) ・ガラス飛散防止フィルム施工、ガラスブロック解消 ・給食調理室エアコン設置(H27実施) ・学校施設管理人による機動的な修繕対応 ・計画的な教職員住宅の改修と老朽住宅の解体処分 | | | | |
| 長期戦略中の展開 | <p>第1期:継続</p> <p>第2期:継続</p> <p>第3期:継続</p> | | | | | |

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | | |
|-----------|---|--|---|-----------------|-------|----|--|
| 7 | 教育の経済的負担の軽減 | 教育総務課 こども課 | 2教育再生による確かな成長の支援 2-2きめ細かな支援による平等な学習機会の提供 | 小学校教育振興扶助費 | 教育総務課 | 継続 | |
| | | | | 中学校教育振興扶助費 | 教育総務課 | 継続 | |
| | 取り組みの概要 | | | 高等学校等振興事業 | 教育総務課 | 継続 | |
| | | | | 私立幼稚園支援補助金 | こども課 | 拡大 | |
| | | | | 奨学資金貸付事業(特会) | 教育総務課 | 拡大 | |
| 現状の問題点・課題 | 就学援助費、特別支援教育就学奨励費支給該当者の増加 奨学資金の未納者の増加 奨学資金制度の見直しに伴う、貸付金原資の不足 | | | | | | |
| 手段(何を行うか) | 児童生徒の保護者の経済的負担の軽減、就学・学習機会の提供及び民間教育施設の充実にを図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・支給該当者への就学援助費、特別支援教育就学奨励費の交付 ・私立高等学校等に対する振興補助金の交付 ・私立幼稚園に対する運営費、就園奨励費等補助金の交付 ・奨学生を選考し、奨学資金を貸与 ・奨学資金未納者に対する滞納整理を実施 ・奨学資金原資の不足分について、一般会計から基金への繰入 | | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | 第1期:継続 第2期:継続 第3期:継続 | | | | | | |
| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | | |
| 8 | 再生可能エネルギーの自給体制の構築 | 教育総務課 | 5域内循環システムの形成 5-1持続可能な環境エネルギー地域社会への転換 | 小学校ペレットストーブ導入事業 | 教育総務課 | 継続 | |
| | | | | 中学校ペレットストーブ導入事業 | 教育総務課 | 継続 | |
| | 取り組みの概要 | | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | ペレットストーブの熱量不足 市内産ペレットの調達 設置施設の円滑・効率的な運用と、効果の検証 | | | | | |
| | 手段(何を行うか) | 大規模改修、改築等に合わせてペレットストーブ及びペレット燃料倉庫を設置する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ペレットストーブの設置 ・ペレット燃料倉庫の設置 ・石油ストーブとの併用による熱量確保 ・ペレットストーブ利用による市内産ペレットの普及 ・設置施設の使用状況の把握と導入効果等の検証 | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | 第1期:継続 第2期:継続 第3期:継続 | | | | | | |

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
|-----|------------|--|--------------------|---|-------|----|
| 9 | 安全な道路環境の整備 | 教育総務課 | 6危機管理の強化と社会基盤の最適活用 | 小学校学校安全支援事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | | | 6-1防災・減災の推進 | 中学校学校安全支援事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | 取り組みの概要 | | | 通学路合同点検事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | 自動車や自転車の運転、歩行者の交通マナーの徹底 | | | | |
| | 手段(何を行うか) | <p>行政、学校、PTA、地域、警察等による合同点検と、対応を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における交通安全講習やPTAによる街頭指導 ・児童生徒に対する自転車通行や歩行時の指導 ・市教育委員会として、横断旗ボックス設置、横断旗交換、看板設置などの対応 | | | | |
| | 長期戦略中の展開 | <p>第1期:合同点検の継続、通学路安全推進会議の設置 第2期:継続 第3期:継続</p> | | | | |
| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
| 10 | 塩尻ブランドの創造 | 教育総務課 | 9地域ブランド・プロモーション | <small>小学校給食運営事業経費(木曾漆器給食用食器整備事業)</small> | 教育総務課 | 継続 |
| | | | 9-1地域ブランドの創造 | 給食レシピ公開事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | <p>特色あるメニューの開発 広報手段の開拓</p> | | | | |
| | 手段(何を行うか) | <p>給食に関する情報を発信し、地域ブランドとして認知を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食レシピを公開し、給食への関心の高まりを啓発 ・木曾檜川小、檜川中の漆器給食食器の計画的な更新とイベント利用 ・特色ある給食メニューを、各種メディアへ提供 | | | | |
| | 長期戦略中の展開 | <p>第1期:継続 第2期:継続 第3期:継続</p> | | | | |

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
|-----|-------------|--|----------------------------|---------------|-------|----|
| 11 | 子育て施策の評価・検証 | 教育総務課 こども課 | その他の大型・主要事業 その他の大型・主要事業 | 総合教育会議運営事業 | 教育総務課 | 継続 |
| | | | | 教育委員会事務局諸経費 | 教育総務課 | 継続 |
| | 取り組みの概要 | | | 子ども・子育て会議運営事業 | こども課 | 継続 |
| | | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | 市長が開催する総合教育会議の運営のあり方の検討 教育委員会の運営状況の評価方法等の検討・実施 教育振興基本計画に定めた事項の進捗管理 元気っ子育て支援プランⅡで計画した需要量と供給量のマッチングの検証 | | | | |
| | 手段(何を行うか) | 教育に関する外部評価によるPDCAサイクルを確立し、より良い教育行政の推進を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・市長、教育長、教育委員による総合教育会議の開催 ・教育委員会による自己点検評価 ・教育振興審議会による教育振興基本計画の執行状況の評価 ・子ども子育て会議による元気っ子育て支援プランⅡの検証評価 | | | | |
| | 長期戦略中の展開 | 第1期:新規 平成27年度から新制度施行 第2期:継続 第3期:継続 | | | | |
| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
| 12 | 用途廃止施設の処分 | 教育総務課 | その他の大型・主要事業 その他の大型・主要事業 | 旧高出保育園園舎解体事業 | 教育総務課 | 新規 |
| | | | | | | |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| | | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | 施設の老朽化及び防犯上の取り扱い | | | | |
| | 手段(何を行うか) | 都市計画道路の整備にあわせ、閉園した保育園舎を解体し、地権者に用地を返還する。 <ul style="list-style-type: none"> ・保育園舎の解体 ・保育園用地の地権者(高出区)への返還 | | | | |
| | 長期戦略中の展開 | 第1期:実施 | | | | |

こども教育部

事業部ミッション3

市民のために、「誰もが学び、つながり、活かすまち」の実現を目指し、教育、文化、スポーツの充実を図り、学習の場や機会を整備する。

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
|---------|---------------------|--|-----------------|----------------|-----------|-----------|
| 1 | 集客核の環境整備の推進 | 生涯学習スポーツ課 | 4地域資源を生かした交流の推進 | 重伝建整備事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | | | 4-1観光産業の育成・支援 | | | |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・伝建地区内の建築物の老朽化 ・火災等災害に対する防災設備の整備 | | | | |
| | 手段(何を行うか) | <p>経年劣化する伝建地区内の建造物・工作物を、修理・修景という二つの手法により文化財として保存及び景観整備を実施する。 火災対応として、防災施設の整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修理・修景事業の実施 ・伝建地区内の要望取りまとめ ・伝建地区防災施設整備事業の実施(H27実施) | | | | |
| | 長期戦略中の展開 | 第1期:継続 第2期:継続 第3期:継続 | | | | |
| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
| 2 | 歴史・文化遺産を活用した交流活動の推進 | 生涯学習スポーツ課 | 4地域資源を生かした交流の推進 | 全国短歌フォーラム事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | | | | 4-2新たな交流・集客の推進 | 短歌館運営事業 | 生涯学習スポーツ課 |
| | | | | 檜川地区文化施設運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | | | | 自然博物館運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| 取り組みの概要 | | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・短歌愛好家の減少 ・施設入館者の減少 | | | | |
| | 手段(何を行うか) | <p>地域の伝統文化や文化遺産を将来に渡って確実に継承するため、歴史・文化遺産の継承と活用について検討する。 文化資源を観光資源として活用するとともに、他の観光資源との組み合わせにより誘客を図り、各館への入館を促進する。 地域の歴史・文化遺産を市民と行政が一体となって保存・活用する取り組みを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国短歌フォーラムin塩尻の開催(第30回記念事業) ・短歌館の運営 ・自然博物館等の運営 | | | | |
| | 長期戦略中の展開 | 第1期:継続 第2期:継続 第3期:継続 | | | | |

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
|-----------|--|---------------------------|--------------------|---------------------|-----------|----|
| 3 | スポーツの活性化と交流の促進 | 生涯学習スポーツ課 | 4地域資源を生かした交流の推進 | 新体育館建設事業 | 生涯学習スポーツ課 | 新規 |
| | | | 4-2新たな交流・集客の推進 | | | |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | 既存体育館の機能不足、老朽化 体育施設の不足 | | | | |
| 手段(何を行うか) | <p>新体育館建設に向けた取り組みを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の建設、維持管理の事業手法の決定 平成32年度中の施設完成に向け、用地取得、設計、工事などの事業の推進 | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | <p>第1期: アンケート、測量調査、設計 第2期: 用地取得、設計、建設工事 第3期: 維持管理</p> | | | | | |
| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
| 4 | 防災体制・防災活動拠点の強化 | 生涯学習スポーツ課 | 6危機管理の強化と社会基盤の最適活用 | 吉田西防災コミュニティセンター運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | | | 6-1防災・減災の推進 | | | |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | 指定管理者との連携による施設管理 | | | | |
| 手段(何を行うか) | <p>地域の防災拠点としての機能、地域交流ができる施設として、利用者が気軽に利用できる環境整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による吉田西防災コミュニティセンターの管理運営 | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | <p>第1期: 指定管理者による施設管理 第2期: 継続 第3期: 継続</p> | | | | | |

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
|-----------|---|--|---------------------|--------------|-----------|----|
| 5 | 文化芸術活動の支援 | 生涯学習スポーツ課 | 7生涯現役で社会貢献できる仕組みの構築 | 芸術文化事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | | | | 文化会館改修事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | | | 7-2生涯学習と世代間交流の促進 | 文化会館運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | | | | 文化会館駐車場整備事業 | 生涯学習スポーツ課 | 新規 |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| 現状の問題点・課題 | 活動団体の会員数の減少により活動が危ぶまれる団体増 文化芸術に親しむ機会の充実 文化芸術団体、個人の育成及び支援 文化芸術の拠点施設である文化会館の老朽化に伴う大規模改修 | | | | | |
| 手段(何を行うか) | 文化芸術が持つ力で地域や市民を元気にするため、文化芸術の推進と活動支援を図る。 多くの市民が参加・活動しやすい環境を整備し、文化芸術活動のすそ野の拡大及び活性化を図る。 多様な文化芸術を身近に接することができるよう、国内外の優れた文化芸術の鑑賞会を企画する。 文化会館の運営計画についても調査研究し、文化芸術の振興を効率よく推進するための管理運営を図る。 市民の文化芸術振興の拠点となる文化会館の施設及び設備の充実のため、計画的な改修や更新を行う。 ・芸術文化5事業の開催 ・レザンホールの計画的改修 ・文化会館駐車場の整備 | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | 第1期:市民ニーズに応じた事業の企画実施、文化芸術の情報発信、指定管理の更新、照明設備改修工事、文化会館駐車場の整備 第2期:継続 舞台吊物改修工事 第3期:継続 改修工事(その他) | | | | | |
| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
| 6 | 生涯学習環境の整備 | 生涯学習スポーツ課 | 7生涯現役で社会貢献できる仕組みの構築 | 生涯学習支援事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | | | | 公民館事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | | | | 地域文化啓発発信事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | | | 7-2生涯学習と世代間交流の促進 | 学校開放事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | | | | 総合文化センター管理事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | | | | 公民館分館施設整備事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | 取り組みの概要 | | | 公民館施設管理事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | 現状の問題点・課題 | 社会教育施設の老朽化 生涯学習活動への中間年齢層の参加促進 生涯学習に関する市民ニーズの多様化 生涯学習体系の確保 | | | | |
| 手段(何を行うか) | 市民が生涯学習を通じて、生きがいを持ち豊かな生活ができるように、生涯学習や地域交流ができる機会の提供及び学習拠点となる総合文化センター、公民館、図書館等の社会教育施設を気軽に利用できる環境整備を図る。 ・社会教育施設の年次的な改修 ・生涯学習推進プランⅢの推進 ・生涯学習に関する指導助言の支援と市民の生涯学習参加機会の提供 ・各種学級・講座等の公民館事業の実施 ・学校開放講座の開催 | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | 第1期:生涯学習推進プランⅢの推進 :社会教育施設の新・増改築及び補助 :現代的・地域的課題に即した市民参加型生涯学習の推進 第2期:社会教育施設の整備及び補助 :現代的・地域的課題に即した市民参加型生涯学習の推進 第3期:社会教育施設の新・増改築及び補助 | | | | | |

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
|-----------|---|-----------|--------------------|--------------|-----------|----|
| 7 | コミュニティの場の整備 | 生涯学習スポーツ課 | 10「人」と「場」の基盤づくり | 大門地区センター建設事業 | 生涯学習スポーツ課 | 拡大 |
| | | | 10-1地縁コミュニティの活性化 | | | |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | 大門公民館の老朽化 | | | | |
| 手段(何を行うか) | <p>老朽化及び耐震性に問題があることから、利便性の向上を図るとともに安全、安心な生涯学習の場を提供するため、既存の大門公民館を全面改築し大門地区センターとして建設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事 ・実施設計(H27実施) ・市土地開発公社からの用地取得(H27実施) ・旧施設の解体及び建設工事(H27実施) | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | | | | | | |
| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
| 8 | スポーツコミュニティの活性化の支援 | 生涯学習スポーツ課 | 10「人」と「場」の基盤づくり | 市民スポーツ振興事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | | | 10-2テーマ型コミュニティの活性化 | 競技力向上事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | | | | スポーツ活動支援事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| 現状の問題点・課題 | <p>市民の運動習慣の定着 地域で住民が主体的に運動に親しむ環境の整備 運動をする人とならない人の二極化 子どもから高齢者までが一緒にスポーツに親しめる環境づくり スポーツ団体による更なるスポーツの普及・推進活動</p> | | | | | |
| 手段(何を行うか) | <p>「健康スポーツ都市宣言」や「スポーツ推進計画」に基づいた、スポーツの普及・推進のための事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育関係団体や総合型地域スポーツクラブ等、地域スポーツの普及・推進を行う団体の活動支援 ・社会体育指導者・市内サークル等の情報を収集・蓄積したスポーツ人材バンクづくり | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | <p>第1期:スポーツ推進計画に基づく事業の実施、スポーツ人材バンクの設立 第2期:スポーツ推進計画に基づく事業の実施、スポーツ人材バンクの活用 第3期:継続</p> | | | | | |

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
|-----------|---|------------|--------------|-----------------|------------|----|
| 9 | スポーツ施設の充実 | 生涯学習スポーツ課 | その他の大型・主要事業 | 体育施設整備事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | | | | 塩尻トレーニングプラザ運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | その他の大型・主要事業 | | 中央スポーツ公園改修事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 | |
| | | | 体育施設管理運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 | |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| 現状の問題点・課題 | <p>既存施設の老朽化と更新・改修費用の増大</p> <p>より良く新しい施設を求める施設利用者のニーズと限られた財源の中での効率的な整備とのバランス</p> | | | | | |
| 手段(何を行うか) | <p>市民の健康増進や生きがいづくりのため、体育施設を適正に維持管理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用する市民の安全性を確保するため、施設改修や更新の計画的な実施 ・市民ニーズを反映した施設運営の効率化 ・市民の憩いやふれあいの場としていつでも自由に利用できる、スポーツ施設としての枠を超えた多目的施設の設置の研究 | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | <p>第1期:更新計画の策定と施設の統廃合、維持管理及び改修の実施</p> <p>第2期:計画に基づいた更新や改修と維持管理</p> <p>第3期:継続</p> | | | | | |
| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
| 10 | 人権学習の推進 | 男女共同参画・人権課 | その他の大型・主要事業 | 社会人権教育推進事業 | 男女共同参画・人権課 | 継続 |
| | | | | 人権推進啓発事業 | 男女共同参画・人権課 | 継続 |
| | その他の大型・主要事業 | | 男女共同参画推進費 | 男女共同参画・人権課 | 継続 | |
| | | | | | | |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| 現状の問題点・課題 | <p>差別されない平等な地域社会の形成</p> <p>人権学習会等への参加者の増</p> <p>男女共同参画意識の向上</p> <p>あらゆる分野における女性の参画拡大</p> | | | | | |
| 手段(何を行うか) | <p>地域社会、企業、学校等において人権尊重意識の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域、企業、人権擁護委員、人権教育指導員、学校、PTA等幅広く連携した学習会他、啓発活動の実施 ・地域のイベントや事業と連携した啓発活動 ・小学校におけるCAP研修 ・男女共同参画意識の向上を図るため、情報誌「共に」の発行 | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | <p>第1期:学習機会の提供／啓発活動の実施</p> <p>第2期:継続</p> <p>第3期:継続</p> | | | | | |

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
|-----------|---|-----------|-------------|---------------|-----------|----|
| 11 | 文化財の保護と活用の推進 | 生涯学習スポーツ課 | その他の大型・主要事業 | 国指定文化財修理事業 | 生涯学習スポーツ課 | 拡大 |
| | | | | 町並み保存推進事業 | 生涯学習スポーツ課 | 拡大 |
| | | | その他の大型・主要事業 | 文化財管理事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | | | | 古文書室運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| 現状の問題点・課題 | 突発的な自然災害による文化財の破損の増大 文化財を活用した地域づくりの推進 | | | | | |
| 手段(何を行うか) | 市民の資産である文化財を保護し活用するために、建造物文化財、伝統的建造物群保存地区、歴史・民俗文化財などの保存をすすめるとともに、市民の歴史文化の学習の機会として提供できるよう活用の場面を提供する。 すでに指定等されている文化財の保存のため、保護の方策を所有者等と協議し、次世代へつなげるよう努める。 また、未指定物件について文化財的な価値付けをし、指定等により保護・保存を行い、地域資産としての確立を図る。 ・平出地区の重伝建地区選定に向けた取組 ・重要文化財堀内家住宅半解体修理工事 | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | 第1期:平出地区の文化財としての保存方法の検討 :重要文化財堀内家住宅の半解体修理工事の実施 第2期:平出集落の文化財的保護の方向性に沿った対応 第3期:新規指定物件等の保存活用の検討 | | | | | |
| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
| 12 | 歴史文化遺産の活用の推進 | 平出博物館 | その他の大型・主要事業 | 平出博物館運営事業 | 平出博物館 | 継続 |
| | | | | 平出遺跡公園事業 | 平出博物館 | 継続 |
| | | | その他の大型・主要事業 | 平出遺跡公園事業 | 平出博物館 | 継続 |
| | | | | 本洗馬歴史の里運営事業 | 平出博物館 | 継続 |
| | 取り組みの概要 | | | ひらいての里魅力づくり事業 | 平出博物館 | 新規 |
| | | | | 埋蔵文化財保護事業 | 平出博物館 | 継続 |
| | | | | 平出遺跡発掘整理事業 | 平出博物館 | 継続 |
| 現状の問題点・課題 | 文化財等地域資源を活用して、都市の魅力を高めるとともに、学習活動を通じた地域づくり活動を促進することが必要。また、併せて、博物館等の社会教育施設の役割や機能等を見直し高めることが求められる。 ・地域の歴史文化を学ぶ機会の充実と交流人口の増加 ・歴史文化遺産を活用した地域づくりの推進 ・施設等の役割及び機能の検証及び拡充 ・既存施設等の老朽化への対応と年次的な整備方針の設定 | | | | | |
| 手段(何を行うか) | 歴史文化遺産等を保護し、これらの地域資源の活用を推進する。 施設機能等を、「収集保存」から「学習活用」へ重点をシフトする取り組みを進める。 ・釜井庵、復元住居等施設設備の計画的改修及び維持管理 ・市民ニーズを把握し、即した企画展示、講座・講演会等の実施 ・市民や来訪者が参加するイベントや博物館運営の取り組みの推進 ・遺跡公園等や歴史文化的資源の保護維持と活用 ・地域の歴史文化遺産の再検証再発見と施設等を含めた利活用施策などの調査検討 | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | 第1期:事業充実と課題対応のための現状把握及び調査研究 第2期:継続及び基本方針等の検討、設定 第3期:継続 | | | | | |

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
|-----------|--|------------------------|------------------------|------------|-----------|----|
| 13 | 健康・スポーツ活動の促進 | 生涯学習スポーツ課 | 8健康寿命の延伸と住み慣れた地域での生活継続 | 健康スポーツ推進事業 | 生涯学習スポーツ課 | 継続 |
| | | | 8-1健康寿命の延伸 | | | |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | ・スポーツや健康に無関心な市民へのアプローチ | | | | |
| 手段(何を行うか) | <p>スポーツによる地域の活性化を目指し、活動を推進する。</p> <p>・スポーツ推進委員、スポーツ普及員による健康・体力づくり活動の推進を図る。</p> | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | <p>第1期:課題に対応した健康・スポーツ活動の展開</p> <p>第2期:継続</p> <p>第3期:継続</p> | | | | | |

市民交流センター

事業部ミッション1

市民及び市民公益活動団体等のため、市民交流センターを活用した交流と人づくりの場の提供と多様な主体によるまちづくりを目指して、市民交流センターの諸機能を融合させながら、市民及び市民公益活動団体等の自主的な活動を支援する。

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
|-----------|--|--|---------------------|----------------|-------|----|
| 1 | 知恵の交流を通じた人づくりの場の提供と担い手の確保・育成(分野を超えた融合) | 交流支援課 | 10「人」と「場」の基盤づくり | 市民交流センター交流企画事業 | 交流支援課 | 継続 |
| | | | 10-3人と場の基盤の構築 | 市民交流センター管理諸経費 | 交流支援課 | 継続 |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民営に向けた、市民や市民活動団体等による主体的な提案企画事業の運営 ・3課(図書館・子育て支援センター・交流支援課)内の事業連携と融合事業の拡大 ・入居者等との情報共有と連携事業の開催 ・中心市街地活性化へ繋がる連携事業の開催 | | | | |
| 手段(何を行うか) | <p>市民交流センターの機能を活用した事業展開を図るとともに、分野を超えた機能融合による施設サービスを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五つの重点分野「図書館、子育て支援・青少年交流、シニア活動支援、ビジネス支援、市民活動支援」を生かした交流事業の展開 ・市民営研究会による市民交流センターの市民営化の研究 ・地域団体等との連携によるその他のテーマ事業の実施 | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | <p>第1期: 企画立案実施(5つの分野・融合・連携事業)の委託・継続 ・既存の事業の公募委託・市民営への移行手法の研究 第2期: 企画立案の実施(5つの分野・融合・連携事業)の委託・継続 ・5つの分野事業の市民営への段階的移行 第3期: 企画立案実施(5つの分野・融合・連携事業)の委託・継続</p> | | | | | |
| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
| 2 | 市民活動の支援(市民公益活動団体の育成) | 交流支援課 | 10「人」と「場」の基盤づくり | 協働のまちづくり推進事業 | 交流支援課 | 継続 |
| | | | 10-2テーマ型コミュニティーの活性化 | | | |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に事業を行っていく体制が整っていない団体が多い ・まちづくりに参加していこうとする意欲のある市民や団体が埋没している ・市民交流センターサポート組織の運営支援(自立) | | | | |
| 手段(何を行うか) | <p>市民や市民団体が、主体となってまちづくりに参加するため、研修会や講演会等を通じ市民とともにまちをつかっていくまちづくりへの市民参加の必要性を啓蒙し、市民や市民公益活動団体等のまちづくり参加への意欲と機会を創出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動団体等の事業運営及び団体の自立支援 ・まちづくりチャレンジ事業補助金の交付 ・中間支援機関の充実、協働事業の推進 ・職員と市民団体とのワークショップを通じた交流の場の提供 | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | <p>第1期: 市民公益活動団体等が、支援制度等を活用しながら自立し団体を運営していく力をつける。 第2期: 市民公益活動団体等が、事業提案を行い、それを受託し事業を実施する。 第3期: 市民公益活動団体等が、行政と役割を分担し、継続して、主体的に公共サービスの提供を行う。</p> | | | | | |

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
|-----------|--|--|-------------|----------------|-------|----|
| 3 | 市民交流センター情報関連ネットワークの整備 | 交流支援課 | その他の大型・主要事業 | 情報関連機器運用事業 | 交流支援課 | 新規 |
| | | | その他の大型・主要事業 | | | |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | ・市民交流センターネットワークの円滑な運用と、来館者のニーズと利用形態に即した情報提供サービスの実施 | | | | |
| 手段(何を行うか) | ・情報関連機器の維持管理 ・情報管理ソフトの適時更新・更改 | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | 第1期:ネットワーク管理保守・基幹ネットワークリース 第2期:ネットワーク管理保守・基幹ネットワークリース 第3期:ネットワーク管理保守・基幹ネットワークリース | | | | | |
| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
| 4 | 市民交流センター長期修繕計画の立案及び実施 | 交流支援課 | その他の大型・主要事業 | 市民交流センター長期修繕事業 | 交流支援課 | 新規 |
| | | | その他の大型・主要事業 | | | |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | ・市民交流センターは開館5年を経過する中で、機械設備の故障等が立て続けに発生しており、建物全体の長期修繕計画による修繕が必要 | | | | |
| 手段(何を行うか) | ・建物・機械設備の保全計画 ・建物の保全計画 | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | 第1期:長期修繕計画の立案・修繕の実施 第2期:長期修繕計画による修繕の実施 第3期:長期修繕計画による修繕の実施 | | | | | |

市民交流センター

事業部ミッション2

子育て中の家庭のために、子育て不安の軽減や、子どもの健全な育ちと地域子育て力の育成を目指し、交流や講座の開催、出前支援等による幅広い支援を行う。

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
|-----|----------------------------------|--|-----------------|-----------------|-----------|----|
| 1 | 子どもを産み育てるサポート体制の充実 (地域子育て力育成) | 子育て支援センター | 1子どもを産み育てる環境の整備 | 子育て支援センター事業 | 子育て支援センター | 継続 |
| | | | | こども広場事業 | 子育て支援センター | 継続 |
| | | | 1-1出産・子育ての負担軽減 | ファミリーサポートセンター事業 | 子育て支援センター | 継続 |
| | | | | | | |
| | 取り組みの概要 | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターやこども広場の事業についての周知拡大 ・父親の育児参加を推進するための情報発信やイベントの充実 ・切れ目のない子育て支援を目指し、縦割りではない、部を越えた連携のための事業整理 ・子育てサークルや地域ボランティアの活動の活性化 ・ファミリーサポートの周知と、サポーターの養成 ・ファミリーサポートを利用しやすくするための機能強化(病後児の預かり、利用料の助成) ・拠点施設を利用しにくい子育て家庭が交流できる場所を、地域に増やす ・地域子育て力の育成 | | | | |
| | 手段(何を行うか) | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターの運営、イクメン手帳交付、あったか通信事業の推進 ・こども広場の運営 ・妊娠期からの情報提供と交流の促進(マタニティママの応援教室) ・子育て家庭とサポーターをつなぐ地域子育てネットワークの拡充 ・サポーターによる訪問支援(産後ケア) ・ファミリーサポートセンターの運営、子育てサポーター・ボランティア養成講座の開催、利用料の助成 ・ファミリーサポート交流会の開催 | | | | |
| | 長期戦略中の展開 | <p>第1期: 出前支援の充実、ファミリーサポートの利用促進、サポーター及びボランティアの養成と活動支援</p> <p>第2期: 産褥期の訪問支援、地域ボランティアの育成と活動の活性化、北部子育て支援センターの整備</p> <p>第3期: 地域子育てネットワークの充実</p> | | | | |

市民交流センター

事業部ミッション3

市民のために、様々なニーズに応えられる多機能型の図書館を目指して、読書による人づくりを支援するとともに、生活や仕事の課題解決に役立つ情報を収集し提供する。

| No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | | |
|-------------|--|---|-----------------|---------------|-----------|-----|----|
| 1 | 知恵の交流を通じた人づくりの場の提供と担い手の確保・育成(多機能型図書館づくり) | 図書館 | 10「人」と「場」の基盤づくり | 図書館サービス基盤整備事業 | 図書館 | 拡大 | |
| | | | | 図書館事業諸経費 | 図書館 | 継続 | |
| | | | 10-3人と場の基盤の構築 | 本の寺子屋推進事業 | 図書館 | 継続 | |
| | 市民読書活動推進事業 | 図書館 | | 継続 | | | |
| | 取り組みの概要 | | | | | | |
| | 現状の問題点・課題 | <p>多様な市民ニーズに対応し、課題解決型図書館等新たなサービスによる、塩尻ブランドとしての図書館サービスを構築し、多くの市民に利用される施設となる必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事や生活、子育て等、様々な地域の側面に貢献できる図書館づくりの推進 ・学校図書館との連携による子どもの読書環境の充実、セカンドブックの実施 ・信州しおじり本の寺子屋の充実・発展 ・安定的な情報提供ができる図書館サービスの基盤整備及び維持 ・飽和状態の閉架書庫 ・本館分館間及び学校図書館の配本業務増加への対応 ・図書館に足を運べない市民への対応 ・図書館システムの更新、デジタル資料への対応 ・分館の老朽化に伴う施設整備 | | | | | |
| | 手段(何を行うか) | <p>市民交流センターの機能を活用した事業展開を図るとともに、分野を超えた機能融合による施設サービスを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の生活を支援する課題解決型図書館の運営 ・3歳児への本のプレゼント(セカンドブック)新設(H27から実施) ・「信州しおじり 子ども本の寺子屋」新設(H27から実施) ・電動閉架書庫の設置(H27実施) ・本の可能性を考えるイベントの開催、本を仲立ちとした書店、出版社、市民との連携事業展開 ・PTA親子文庫補助、市民読書活動グループによる子どもの読書活動推進、読み聞かせボランティアの育成 | | | | | |
| | 長期戦略中の展開 | <p>第1期:職員の資質向上、本の寺子屋等の事業の充実、閉架書架の増設、図書館車の配置、及び新広丘分館の検討 第2期:地域貢献できるための図書館機能の充実、図書館車の稼働、新広丘分館の整備、及びデジタル資料の導入 第3期:地域をとりまく情報の蓄積と特色ある情報の発信、及びデジタル資料の充実</p> | | | | | |
| | No. | 主な取り組み | 担当課 | 中期全市戦略への対応 | 対応する事務事業名 | | |
| | 2 | 古田晁記念館の維持・活用 | 図書館 | その他の大型・主要事業 | 古田晁記念館事業 | 図書館 | 継続 |
| | | | | | | | |
| その他の大型・主要事業 | | | | | | | |
| 取り組みの概要 | | | | | | | |
| 現状の問題点・課題 | | <ul style="list-style-type: none"> ・古田晁を顕彰する企画事業の実施と記念館の広報 ・施設の老朽化対応 ・筑摩書房との関係の継続 ・コミュニティ・スクールでの活用 | | | | | |
| 手段(何を行うか) | | <ul style="list-style-type: none"> ・展示の見直しと充実 ・老朽化した施設の修理工事 ・コミュニティ・スクールでの活用推進 | | | | | |
| 長期戦略中の展開 | | <p>第1期:施設改修、及び常設展の見直しと資料の整備、企画展の実施 第2期:施設改修、及び常設展の見直しと資料の整備、企画展の実施 第3期:施設改修、及び常設展の見直しと資料の整備、企画展の実施</p> | | | | | |

事務事業一覧

こども教育部 事業部ミッション1

子どもたちと子育てをする保護者のために、安心して健やかに子どもを産み育てることのできる家庭や地域の実現を目指し、子育ての負担軽減や家庭教育の支援、仕事と育児の両立支援などを推進する。

| No. | 主な取り組み | 対応する事務事業(◎自己点検評価事業・○事務事業評価事業) | | | 中期全市戦略への対応 | |
|-----|--------------------|-------------------------------|--------------------|------------|------------|---|
| | | No. | 事業名 | 担当 | | 評価 |
| 1 | 子どもを産み育てるサポート体制の充実 | ① | にぎやか家庭応援事業(子育て支援分) | こども課 | ○ | Proj: 1子どもを産み育てる環境の整備 施策: 1-1出産・子育ての負担軽減 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 2 | 子育て世代への経済的支援 | ① | にぎやか家庭応援事業(保育料減免分) | こども課 | ◎ | Proj: 1子どもを産み育てる環境の整備 施策: 1-1出産・子育ての負担軽減 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 3 | 家庭教育支援の推進 | ① | 家庭支援推進事業 | 家庭支援課 | ○ | Proj: 1子どもを産み育てる環境の整備 施策: 1-2安心して子育てできる環境の充実 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 4 | 子育てと仕事の両立支援 | ① | 保育所運営費 | こども課 | ○ | Proj: 1子どもを産み育てる環境の整備 施策: 1-2安心して子育てできる環境の充実 |
| | | ② | 給食運営費 | こども課 | ○ | |
| | | ③ | 児童館・児童クラブ運営費 | こども課 | ○ | |
| | | ④ | 放課後キッズクラブ運営費 | こども課 | ○ | |
| | | ⑤ | 育児支援推進事業 | こども課 | ○ | |
| | | ⑥ | 民間保育所支援事業 | こども課 | ○ | |
| | | ⑦ | 園児送迎バス運行事業 | こども課 | | |
| | | ⑧ | ふれあいプラザ運営事業 | 男女共同参画・人権課 | ○ | |
| | | ⑨ | 男女共同参画推進費 | 男女共同参画・人権課 | | |
| 5 | 保育・児童施設の整備 | ① | 吉田原保育園・吉田児童館分館建設事業 | 教育総務課 | ○ | Proj: 1子どもを産み育てる環境の整備 施策: 1-2安心して子育てできる環境の充実 |
| | | ② | 保育所施設リニューアル事業 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ③ | 保育所施設改善事業 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ④ | 児童館・児童クラブ施設改善事業 | 教育総務課 | | |
| | | ⑤ | 児童福祉施設防犯対策事業 | 教育総務課 | | |

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

| | | | | | | | |
|---------|-------------------------------------|--------------|---|-------------|---|-------------|----|
| 事務事業名 | にぎやか家庭応援事業(保育料減免分) | | 担当課 | こども課 | | | |
| 概要 | 対象: 市内保育所等に通う3歳以上の児童の保護者 | | 体系 | A-1-1-2 | | | |
| | 手段: 第2子の保育料を50%、第3子以降の保育料を100%減免する。 | | 新/継 | 継続 | | | |
| | 意図: 経済的負担軽減による多子世帯支援と選ばれる街の創出 | | 区分 | ソフト | | | |
| 年度別事業内容 | 平成27年度(1年次) | | 平成28年度(2年次) | | 平成29年度(3年次) | | |
| | ○第2子50%、第3子100%の保育料減免 | | ○第2子50%、第3子100%の保育料減免 ○低所得のひとり親世帯、多子世帯への減免 | | ○第2子50%、第3子100%の保育料減免 ○低所得のひとり親世帯、多子世帯への減免 | | |
| 財源 | 決算額 | (千円) 102,016 | 決算額 | (千円) 95,156 | 計画額 | (千円) 82,575 | |
| | 5,875(私立幼稚園等分) 96,141(歳入減額分) | | 6,840(私立幼稚園等分) 88,316(保育料減額分) | | | | |
| | 特定 | 0 | 一般 | 102,016 | 特定 | 0 | 一般 |

○評価指標

| 評価指標 | H27 | | | H28 | | | H29 | | |
|-------------|---------------|---------------|-------|---------------|---------------|-------|---------------|---------------|-------|
| | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 |
| 多子世帯減免の延べ人数 | 2,837 | 6,703 | 6,500 | 2,896 | 5,889 | 6,500 | | | 6,500 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

○事中評価

| 評価視点 | | | | | | | | | | | | 今後の方向性 | | | | | | | | | | | |
|--|------|------|----|------|------|------|----|-----|------|------|----|--|---|---|---|-----------|--|--|--|---|--|--|--|
| 妥当性 | | | | 有効性 | | | | 効率性 | | | | 成果の方向性 | ④ | ② | ① | | | | | | | | |
| 1 | 2 | ③ | 4 | 1 | 2 | ③ | 4 | 1 | 2 | 3 | ④ | | | | | | | | | | | | |
| 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | | | | | | | | | | | | |
| 総合評価判定 | | | | 総合評価 | | | | A | | | | | | | | | | | | | | | |
| A: 計画どおりに事業を進めることが 適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直し検討 D: 事業の統合・休廃止の検討 | | | | | | | | | | | | 皆減 | | | | コスト投入の方向性 | | | | | | | |
| 当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等 | | | | | | | | | | | | 子ども子育て支援法施行令の一部改正により、平成28年4月より利用者負担額の特例軽減措置が実施され、年収360万円未満相当の多子世帯について本事業と同等の軽減がされている。対象者が本事業と重複するため、二重減免を行わないためのシステム処理を担当者の手動で行っている(事務負担増)。重複対象延べ人数は571人(上半期4月～9月。中間値・上記事中評価数値には含まず) | | | | 現状維持 | | | | ③ | | | |
| 新年度の予算要求事項(改革・改善案) | | | | | | | | | | | | 上記のとおり、低所得世帯については国の事業により軽減されることとなったが、所得制限を超える世帯については本事業により保育料負担を軽減することができており、対象者数も前年対比で増加傾向にあるため、本事業においては現状を維持しつつ動向を見守りたい。 | | | | 縮小 | | | | ⑥ | | | |
| 第1次評価コメント | | | | | | | | | | | | 要求事項どおり | | | | 休廃止 | | | | ⑦ | | | |
| 第2次評価コメント | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

○事後評価

| 区分 | 年間(4月～3月) |
|------|---|
| 取組内容 | 保育所入所児童のうち、同一世帯内における第2子及び第3子について、第2子は50%、第3子は100%の保育料減免を実施した。ただし、他の減免制度(複数通園及び特例軽減措置)と重複しての適用はせず、減免率のより高い減免制度を適用した。 |
| 成果 | 平成28年4月より国の制度として実施されている特例軽減措置の対象者延べ人数が1,100人となっており、重複適用をしていないため実績人数は前年度比で落ちているが、目標値の90.6%の児童に対して減免を実施した。 |
| 課題 | 幼児教育の段階的無償化の推進により毎年利用者負担額(保育料)の見直しがされており、それに合わせて塩尻市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額を定める条例施行規則の改正を行っている。国の制度の動向を注視し、本市における減免制度のあり方を随時検討する必要がある。 |

| | | | | | | | | |
|-------|-----|------------|----|----|----|-------|---------|------|
| 作成担当者 | 部課等 | こども教育部こども課 | 職名 | 主事 | 氏名 | 保科 拓人 | 連絡先(内線) | 3173 |
| 最終評価者 | 部課等 | こども教育部こども課 | 職名 | 課長 | 氏名 | 青木 正典 | 連絡先(内線) | 3170 |

○教育委員会の評価等【Check】

| | |
|---------------------------|---|
| 教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等 | ○家庭保育により子どもとともに保護者も成長し、愛着関係が形成されることから、本市では家庭保育にできるだけ誘導したいと考えた。そのために3歳以上で第2子以降の児童の保育料減免を進めたことは有効性があった。今後は国の保育料無料化の動向を注視し、減免制度のあり方を検討していく必要がある。 |
|---------------------------|---|

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

| | |
|---------------------------|--|
| 学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等 | <p>○事後評価の課題にも記されているが、保育料減免による支援制度は、国による減免制度に振り回されることがないように、塩尻市独自の減免制度を確立し、本制度を必要とする受益者にいつでも対応及び支援できることが望ましい。</p> <p>○国の施策の推進に伴い、ひとり親世帯等へ拡充したことは非常に評価できる。また、減免の重複についての事務作業がシステムのパッケージ化により負担軽減されたということであり、引き続き子育て世帯に対する公平、公正な経済的負担軽減を行っていただきたい。</p> <p>○保護者への本事業の周知はもとより、保育士や子育て支援関係者、広く市民にも周知と理解を進めていく必要がある。</p> <p>○本市の減免制度と国の制度との重複部分（費用負担）については国に委ね、今後、国の3歳児までの無償化に伴う保育料減免のあり方を検討する。</p> <p>○子育て世代に国の制度が手厚くなることから、本市のこの事業（約1億円弱）の効果がどのくらい表れているか検証することが必要である。</p> |
|---------------------------|--|

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

| | |
|---------------|---|
| 取り組む 改善内容等 | <p>○政府が人づくり革命の一環で検討している政策パッケージの原案が示され、今後、幼児教育・保育無償化が一段と進む可能性があることから、国の動向を注視し市の取り組みとして保育料減免及び支援の内容についてどこに視点を据えて重点化していくかについて検討しつつ、今後の制度設計につなげていきたい。</p> <p>○本事業内容の広報と平行して、保育料減免による市の負担の現状についても理解を深めていただくため、機会をとらえて周知したい。</p> <p>○事業（本市の独自減免）開始から3年が経過するにあたり、今後の方向性を見極める必要性もあることから、その効果について検証していく方策・手段についても検討していきたい。</p> |
|---------------|---|

事務事業一覧

こども教育部 事業部ミッション2

子どもたちと子育てをする保護者のために、「社会を生き抜く力」を備え、郷土を知り、誇りと愛着をもったひとの育成を目指し、「一人ひとりの育ちに、ていねいに向き合う教育」を、家庭、学校、地域、行政が連携して推進する。

| No. | 主な取り組み | 対応する事務事業(◎自己点検評価事業・○事務事業評価事業) | | | 中期全市戦略への対応 | |
|-----|-------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-----------|------------|---|
| | | No. | 事業名 | 担当 | | 評価 |
| 1 | 時代の変化に対応した学力の向上 | ① | 小学校英語活動サポート事業 | 教育総務課 | ◎ | Proj: 2教育再生による確かな成長の支援 施策: 2-1特色ある教育による知・徳・体の向上 |
| | | ② | 教育センター情報教育推進費 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ③ | 小学校情報教育推進費 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ④ | 中学校情報教育推進費 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ⑤ | 小学校新学習指導要領対応事業 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ⑥ | 中学校新学習指導要領対応事業 | 教育総務課 | ○ | |
| 2 | 健やかな成長の支援 | ① | 給食公会計事務諸経費 | 教育総務課 | ○ | Proj: 2教育再生による確かな成長の支援 施策: 2-1特色ある教育による知・徳・体の向上 |
| | | ② | 小学校給食運営事業諸経費 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ③ | 中学校給食運営事業諸経費 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ④ | 教育振興諸経費(小学校費) | 教育総務課 | ○ | |
| | | ⑤ | 教育振興諸経費(中学校費) | 教育総務課 | ○ | |
| | | ⑥ | 青少年育成事業 | こども課 | ○ | |
| 3 | 「社会を生き抜く力」を育む体験型学習の推進 | ① | 小学校特色ある教育活動事業 | 教育総務課 | ◎ | Proj: 2教育再生による確かな成長の支援 施策: 2-1特色ある教育による知・徳・体の向上 |
| | | ② | 中学校特色ある教育活動事業 | 教育総務課 | ◎ | |
| | | ③ | こども未来塾等運営事業 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ④ | 塩尻体験学習の家運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | ○ | |
| | | ⑤ | 柏茂会館運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | ○ | |
| 4 | きめ細かな教育の推進(教育のセーフティネット) | ① | まなびサポート事業 | 家庭支援課 | ◎ | Proj: 2教育再生による確かな成長の支援 施策: 2-2きめ細かな支援による平等な学習機会の提供 |
| | | ② | 元気っ子応援事業 | 家庭支援課 | ○ | |
| | | ③ | 保育補助員設置事業 | こども課 | ○ | |
| | | ④ | 教育相談研究事業 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ⑤ | スクールバス運行費 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ⑥ | 小学校補助交付金 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ⑦ | 中学校補助交付金 | 教育総務課 | ○ | |
| 5 | 学校運営体制の充実 | ① | 地域連携教育推進事業 | 教育総務課 | ◎ | Proj: 2教育再生による確かな成長の支援 施策: 2-2きめ細かな支援による平等な学習機会の提供 |
| 6 | 学校・教育施設の整備 | ① | 小学校非構造部材耐震化推進事業 | 教育総務課 | ○ | Proj: 2教育再生による確かな成長の支援 施策: 2-2きめ細かな支援による平等な学習機会の提供 |
| | | ② | 中学校非構造部材耐震化推進事業 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ③ | 小学校施設改善事業 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ④ | 中学校施設改善事業 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ⑤ | 小学校大規模改修事業 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ⑥ | 中学校大規模改修事業 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ⑦ | 学校施設集中管理事業 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ⑧ | 教職員住宅管理諸事業 | 教育総務課 | ○ | |
| 7 | 教育の経済的負担の軽減 | ① | 小学校教育振興扶助費 | 教育総務課 | ○ | Proj: 2教育再生による確かな成長の支援 施策: 2-2きめ細かな支援による平等な学習機会の提供 |
| | | ② | 中学校教育振興扶助費 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ③ | 高等学校等振興事業 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ④ | 私立幼稚園支援補助金 | こども課 | ○ | |
| | | ⑤ | 奨学資金貸付事業(特会) | 教育総務課 | ○ | |
| 8 | 再生可能エネルギーの自給体制の構築 | ① | 小学校ペレットストーブ導入事業 | 教育総務課 | ○ | Proj: 5域内循環システムの形成 施策: 5-1持続可能な環境エネルギー地域社会への転換 |
| | | ② | 中学校ペレットストーブ導入事業 | 教育総務課 | ○ | |
| 9 | 安全な道路環境の整備 | ① | 小学校学校安全支援事業 | 教育総務課 | ○ | Proj: 6危機管理の強化と社会基盤の最適活用 施策: 6-1防災・減災の推進 |
| | | ② | 中学校学校安全支援事業 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ③ | 通学路合同点検事業 | 教育総務課 | ○ | |
| 10 | 塩尻ブランドの創造 | ① | 小学校給食運営事業諸経費(木曾漆器給食用食器整備事業) | 教育総務課 | ○ | Proj: 9地域ブランド・プロモーション 施策: 9-1地域ブランドの創造 |
| | | ② | 給食レシピ公開事業 | 教育総務課 | ○ | |
| 11 | 子育て施策の評価・検証 | ① | 総合教育会議運営事業 | 教育総務課 | ○ | Proj: その他の大型・主要事業 施策: その他の大型・主要事業 |
| | | ② | 教育委員会事務局諸経費 | 教育総務課 | ○ | |
| | | ③ | 子ども・子育て会議運営事業 | こども課 | ○ | |

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|---|----|--|-------|---------|--|-------|----|---|----|-------|
| 事務事業名 | 小学校英語活動サポート事業 | | | 担当課 | 教育総務課 | | | | | | | |
| 概要 | 対象: | 小学生 | | | 体系 | A-2-1-1 | | | | | | |
| | 手段: | 国際理解講師の配置 | | | 新/継 | 継続 | | | | | | |
| | 意図: | 分かりやすい英語教育や、国際理解教育を推進し、確かな学力やグローバルな感覚を育成する。 | | | 区分 | ソフト | | | | | | |
| 年度別事業内容 | 平成27年度(1年次) | | | 平成28年度(2年次) | | | 平成29年度(3年次) | | | | | |
| | ○国際理解講師の配置(5人) ○英語授業支援 ○小中学校の英語教育の連携 ○英語教育の研究 | | | ○国際理解講師の配置 ○英語授業支援 ○小中学校の英語教育の連携 ○英語教育の研究 | | | ○国際理解講師の配置 ○英語授業支援 ○小中学校の英語教育の連携 ○英語教育の研究 | | | | | |
| 財源 | 決算額 (千円) | | | 決算額 (千円) | | | 計画額 (千円) | | | | | |
| | 5,238 | | | 5,237 | | | 5,282 | | | | | |
| | 特定 | 0 | 一般 | 5,238 | 特定 | 0 | 一般 | 5,237 | 特定 | 0 | 一般 | 5,282 |

○評価指標

| 評価指標 | H27 | | | H28 | | | H29 | | |
|-------------------|---------------|---------------|-----|---------------|---------------|-----|---------------|---------------|-----|
| | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 |
| 国際理解講師の配置人数 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | | | 5 |
| 小学校5・6年生の授業時数(年間) | 17 | 35 | 35 | 17 | 35 | 35 | | | 35 |
| 研修事業・研修開催数 | 2 | 9 | 5 | 2 | 9 | 5 | | | 5 |

○事中評価

| 評価視点 | | | | | | | | | | | | 今後の方向性 | | | | |
|--|------|---|----|------|------|------|----|-----|------|------|----|-----------|----|------|----|------|
| 妥当性 | | | | 有効性 | | | | 効率性 | | | | 成果の方向性 | 拡充 | 現状維持 | 縮小 | 休廃止 |
| 1 | 2 | ③ | 4 | 1 | ② | 3 | 4 | 1 | ② | 3 | 4 | | ④ | ⑤ | | ① |
| 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | | ⑥ | | | |
| 総合評価判定 | | | | 総合評価 | | | | C | | | | | ⑦ | 皆減 | 縮小 | 現状維持 |
| A:計画どおりに事業を進めることが 適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討 | | | | | | | | | | | | コスト投入の方向性 | | | | |
| 当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等 | | H32年度からの小学校英語の教科化及びH30からの移行措置に対応するため、教職員の指導力強化や小中学校の連携等について、具体的な取組みを進めていく必要がある。 また、担任教諭主導の授業展開に移行するために、国際理解講師やALTとの連携が更に重要となる。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 新年度の予算要求事項(改革・改善案) | | 小学校教職員の英語指導力の向上のために、英語教育専門の指導主事を配置し、小学校における英語指導体制を確立する。 引き続き、研修や講演会を通じて、教職員、国際理解講師、ALTの指導力向上に努める。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1次評価コメント | | 英語教育専門の指導主事の配置は認めない。国際理解講師や教育センターの学校教育指導員等を活用し、対応すること。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2次評価コメント | | ・復活要求を認める。 ・英語教育指導主事を配置し、教職員の英語力の向上につながるよう工夫をすること。 | | | | | | | | | | | | | | |

○事後評価

| 区分 | 年間(4月～3月) |
|------|---|
| 取組内容 | ・国際理解教育講師を5人配置し、担任教諭とのチームティーチングによる英語の授業を行った。 ・ALT(外国語指導助手)1人を配置し、国際理解教育講師とあわせたチームティーチングで、本物の発音を用いて、分かりやすく、かみ砕いた授業を行った。 ・国際理解教育講師と中学校の英語教諭が英語授業の交流を行うなど、小中学校の連携を図った。 |
| 成果 | ・小学校で感覚的に英語を学び、聞くことによる中心に英語に触れながら、分かりやすい、英語教育や国際理解教育の推進が図られ、確かな学力やグローバルな感覚が育成されるとともに、中学校での英語学習につながる活動となっている。 |
| 課題 | 小学校英語教育について、2020年からの「3年生から必修化」、「5年生から教科化」に向けて、担任教諭等の指導力向上が重要となることから、英語教育指導主事を核とした、指導方法や教材研究等に取組む必要がある。 |

| | | | | | | | | |
|-------|-----|-------------|----|-----|----|-------|---------|------|
| 作成担当者 | 部課等 | 子ども教育部教育総務課 | 職名 | 事務員 | 氏名 | 山田 愛 | 連絡先(内線) | 3114 |
| 最終評価者 | 部課等 | 子ども教育部教育総務課 | 職名 | 課長 | 氏名 | 太田 文和 | 連絡先(内線) | 3110 |

○教育委員会の評価等【Check】

| | |
|---------------------------|---|
| 教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等 | ○平成 30 年度から始まる小学校英語の教科化に向けての移行措置に対応するため、主として授業を進める学級担任の授業力向上が求められる。その際授業を T T 二よりサポートしたり、教材教具の準備をしたりするなど、国際理解講師や A L T の役割は大きい。今後は、英語科指導主事を中核とした具体的な指導研修を、担任、国際理解講師、A L T それぞれが重ねることが必要である。 |
|---------------------------|---|

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

| | |
|---------------------------|--|
| 学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等 | <p>○注目を集める小学校英語教育と一口に言っても、その内容は多岐に渡る上に、語学習得の何の能力を向上させるかという観点も多様である。例えば、英語の語彙を豊かに蓄えさせる、英文を読解させる、英文を聞き取らせる、英文文章を書かせる、簡単な英会話をさせるなど。この全てを小学校英語活動としてサポートするというのはあまり現実的でもなく効果的とも思えない。塩尻市の小学校英語教育では、「ここにのみ(例えば、発音だけなど)」重点を置くようにし、その重点化した能力については「できるようになる」ようにサポートされることを提案する。塩尻市の小学校英語教育では、「ここに力を注いでいます」という塩尻市の小学校英語教育の特色を打ち出すことを勧めたい。とにかく「小学校英語活動」の名の下何もかもサポートすることは止めるべき。</p> <p>○塩尻市の小学校での英語教育を真剣に検討されるのなら、英語教育課程を持つ信州大学(教育学部)との大学-小学校との連携も勧めたい。よければ私が橋渡し役を担うこともできる。主事を増やすという人員補填も良いが、英語教育者そのものを増加することも欠かせない。しかし、そのためには教職員を増やすことになり経費が必要となる。ここに英語教育を専科とする大学生を活用できれば、経費負担も少なく済みますこともできる。</p> <p>○小中学校の英語教育の連携によってなにを目標としているのかが不明瞭であると思われる。また、研修や指導方法・教材研究が教諭の指導力向上にどれほど寄与できているのか検証することも必要と思われる。</p> <p>○英語力を持った教員を配置するのは、県の責務ではないのか。仮に市町村がするとしたら、その費用は県が負担すべきである。</p> <p>○英語を聞く、話す、書くことは、日常の学校・家庭での環境が重要である。教科化になるまでの間、授業としての勉強より、生活の中で自然に英語力を身に付けることができないものかと思う。</p> |
|---------------------------|--|

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

| | |
|---------------|--|
| 取り組む 改善内容等 | <p>○平成 32 年度から全面実施される次期学習指導要領への対応として、本年度、英語教育担当指導主事 1 名を配置し、授業方法や指導方法等について、研究指定校を中心に実践、研究、研修等を行い、担任主導の授業展開ができるよう教員の指導力向上を図る。</p> <p>○児童に対しては、学習指導要領に沿った指導が重要となるが、主体的・対話的な深い学び（アクティブ・ラーニング）を通して、思考力、判断力、表現力を身につける授業を展開していく必要がある。</p> <p>○旅行者との交流や案内活動、大学の留学生との交流活動など、各校の実情や地域性を活かした取り組みや目標設定による特色ある英語教育を推進していきたい。また、地域人材の活用や大学との連携について検討していく。</p> |
|---------------|--|

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|--|----|--|-------|---------|--|--------|----|---|----|--------|
| 事務事業名 | 小学校特色ある教育活動事業 | | | 担当課 | 教育総務課 | | | | | | | |
| 概要 | 対象: | 小学生 | | | 体系 | A-2-1-3 | | | | | | |
| | 手段: | 地域の文化や産業、各校の伝統を活かした特色ある教育活動、総合的な学習の充実のために補助金を交付する。 | | | 新/継 | 継続 | | | | | | |
| | 意図: | 児童の「生きる力」の育成 | | | 区分 | ソフト | | | | | | |
| 年度別事業内容 | 平成27年度(1年次) | | | 平成28年度(2年次) | | | 平成29年度(3年次) | | | | | |
| | ○学校から事業計画の提出 ○市教育委員会における計画の査定 ○1校1年度につき、200万円を上限に交付金を交付 ○特色ある教育活動の実施 | | | ○学校から事業計画の提出 ○市教育委員会における計画の査定 ○生きる力を育む交付金の創設 ○特色ある教育活動の実施 | | | ○学校から事業計画の提出 ○市教育委員会における計画の査定 ○生きる力を育む交付金の交付 ○特色ある教育活動の実施 | | | | | |
| 財源 | 決算額 (千円) | | | 決算額 (千円) | | | 計画額 (千円) | | | | | |
| | 17,374 | | | 10,703 | | | 10,800 | | | | | |
| | 特定 | 0 | 一般 | 17,374 | 特定 | 0 | 一般 | 10,703 | 特定 | 0 | 一般 | 10,800 |

○評価指標

| 評価指標 | H27 | | | H28 | | | H29 | | |
|---------------|---------------|---------------|-----|---------------|---------------|-----|---------------|---------------|-----|
| | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 |
| 事業計画や成果等の発信校数 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | | | 9 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

○事中評価

| 評価視点 | | | | | | | | | | | | 今後の方向性 | | | | | |
|--|------|------|----|--|------|------|----|-----|------|------|----|-----------|------|------|----|---|--|
| 妥当性 | | | | 有効性 | | | | 効率性 | | | | 成果の方向性 | 拡充 | ④ | ② | ① | |
| 1 | 2 | ③ | 4 | 1 | 2 | ③ | 4 | 1 | 2 | ③ | 4 | | 現状維持 | ③ | ⑤ | レ | |
| 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | | 縮小 | ⑥ | | | |
| 総合評価判定 | | | | 総合評価 | | | | | | | | | 休廃止 | ⑦ | | | |
| A: 計画どおりに事業を進めることが 適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直し検討 D: 事業の統合・休廃止の検討 | | | | A | | | | | | | | 皆減 | 縮小 | 現状維持 | 拡大 | | |
| 当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等 | | | | 主な事業見直し内容 ①児童生徒数割、基礎配分の導入、②当該年度に事業計画策定、③Q-Uアンケートの全学年実施、④ソフト事業での活用 学校が創意工夫する特色のある活動としては、前年度からの継続性はあるが、新規事業は乏しい。当該年度に事業計画を策定できるので、教職員の人事異動等の影響は少ない。 Q-Uアンケートの全学年実施は、学級運営に効果があると思われる。 | | | | | | | | コスト投入の方向性 | | | | | |
| 新年度の予算要求事項(改革・改善案) | | | | 今年度、事業の見直しを行っているので、当面、事業継続することが望ましいと考える。 | | | | | | | | | | | | | |
| 第1次評価コメント | | | | 計画どおり | | | | | | | | | | | | | |
| 第2次評価コメント | | | | - | | | | | | | | | | | | | |

○事後評価

| 区分 | 年間(4月～3月) |
|------|--|
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校規模に適した額となるよう補助金の見直しを行い、各校基礎配分額100万円と児童数割の合計額を上限に交付した補助金を活用し、学校が主体性を持ち、地域性等を生かした創意工夫のある事業が実施された。 ・平成28年度の主な事業としては「マラソンコースのウッドチップ整備」、「うるし塗り体験等の総合学習」などを行った。 ・Q-Uアンケートを全校全学年実施(小学校5学年は年2回、他の学年は年1回)し、安定した学級運営を図った。 |
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域の歴史学習、短歌作成意欲の向上、豊かな心の育成、地域との交流などが図られた。 ・児童の知力、体力、創造力等の向上に一定の成果があるものとする。 |
| 課題 | ・コミュニティ・スクール等、地域連携教育活動への柔軟かつ効果的な予算活用を検討していく必要がある。 |

| | | | | | | | | |
|-------|-----|-------------|----|----|----|-------|---------|------|
| 作成担当者 | 部課等 | 子ども教育部教育総務課 | 職名 | 係長 | 氏名 | 武井 充 | 連絡先(内線) | 3113 |
| 最終評価者 | 部課等 | 子ども教育部教育総務課 | 職名 | 課長 | 氏名 | 太田 文和 | 連絡先(内線) | 3110 |

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

| | | | | | |
|---------|---|--|--|-------|--|
| 事務事業名 | 中学校特色ある教育活動事業 | | 担当課 | 教育総務課 | |
| 概要 | 対象: | 中学生 | | 体系 | A-2-1-3 |
| | 手段: | 地域の文化や産業、各校の伝統を活かした特色ある教育活動、総合的な学習の充実のために補助金を交付する。 | | | |
| | 意図: | 生徒の「生きる力」の育成 | | 新/継 | 継続 |
| 年度別事業内容 | 平成27年度(1年次) | | 平成28年度(2年次) | | 平成29年度(3年次) |
| | ○学校から事業計画の提出 ○市教育委員会における計画の査定 ○1校1年度につき、200万円を上限に交付金を交付 ○特色ある教育活動の実施 | | ○学校から事業計画の提出 ○市教育委員会における計画の査定 ○生きる力を育む交付金の創設 ○特色ある教育活動の実施 | | ○学校から事業計画の提出 ○市教育委員会における計画の査定 ○生きる力を育む交付金の交付 ○特色ある教育活動の実施 |
| | 決算額 (千円) | | 決算額 (千円) | | 計画額 (千円) |
| 財源 | 9,469 | | 7,178 | | 7,200 |
| | 特定 0 一般 9,469 | 特定 0 一般 7,178 | 特定 0 一般 7,200 | | |

○評価指標

| 評価指標 | H27 | | | H28 | | | H29 | | |
|---------------|---------------|---------------|-----|---------------|---------------|-----|---------------|---------------|-----|
| | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 |
| 事業計画や成果等の発信校数 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | | | 5 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

○事中評価

| 評価視点 | | | | | | | | | | | | 今後の方向性 | | | | | |
|--|------|------|----|------|------|------|----|-----|------|------|----|---------------|------|---|---|---|---|
| 妥当性 | | | | 有効性 | | | | 効率性 | | | | 成果の方向性 | ④ | | ② | | ① |
| 1 | 2 | ③ | 4 | 1 | 2 | ③ | 4 | 1 | 2 | ③ | 4 | | 現状維持 | ③ | ⑤ | ⑥ | |
| 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | | 縮小 | ⑥ | | | |
| 総合評価判定 | | | | 総合評価 | | | | A | | | | | 休廃止 | ⑦ | | | |
| A:計画どおりに事業を進めることが 適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討 | | | | | | | | | | | | コスト投入の方向性 | | | | | |
| 当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等 主な事業見直し内容 ①児童生徒数割、基礎配分の導入、②当該年度に事業計画策定、③Q-Uアンケートの全学年実施、④ソフト事業での活用 学校が創意工夫する特色のある活動としては、前年度からの継続性はあるが、新規事業は乏しい。当該年度に事業計画を策定できるので、教職員の人事異動等の影響は少ない。 Q-Uアンケートの全学年実施は、学級運営に効果があると考え。 | | | | | | | | | | | | 皆減 縮小 現状維持 拡大 | | | | | |
| 新年度の予算要求事項(改革・改善案) 今年度、事業の見直しを行っているので、当面、事業継続することが望ましいと考える。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1次評価コメント | | | | | | | | | | | | 計画どおり | | | | | |
| 第2次評価コメント | | | | | | | | | | | | - | | | | | |

○事後評価

| 区分 | 年間(4月～3月) |
|------|---|
| 取組内容 | ・学校規模に適した額となるよう補助金の見直しを行い、各校基礎配分額100万円と児童数割の合計額を上限に交付した補助金を活用し、学校が主体性を持ち、地域性等を生かした創意工夫のある事業が実施された。 ・平成28年度の主な事業としては「東日本大震災の被災地現場視察」、「補充学習(Sタイム)」などを行った。 ・Q-Uアンケートを全校全学年実施(中学校1学年は年2回、他の学年は年1回)し、安定した学級運営を図った。 |
| 成果 | ・学校や地域の歴史学習、短歌作成意欲の向上、豊かな心の育成、地域との交流などが図られた。 ・児童の知力、体力、創造力等の向上に一定の成果があるものとする。 |
| 課題 | ・コミュニティ・スクール等、地域連携教育活動への柔軟かつ効果的な予算活用を検討していく必要がある。 |

| | | | | | | | | |
|-------|-----|-------------|----|----|----|-------|---------|------|
| 作成担当者 | 部課等 | 子ども教育部教育総務課 | 職名 | 係長 | 氏名 | 武井 充 | 連絡先(内線) | 3113 |
| 最終評価者 | 部課等 | 子ども教育部教育総務課 | 職名 | 課長 | 氏名 | 太田 文和 | 連絡先(内線) | 3110 |

○教育委員会の評価等【Check】

| | |
|---------------------------|---|
| 教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等 | 各校のグランドデザインに描いた重点目標具現のための取り組みに対し、校長裁量で使える補助金の交付により、地域に学ぶ学習の活性化、知力、体力、思考力、表現力などの向上に一定の成果があった。今後は、コミュニティ・スクールの推進にあわせて、社会に開かれた教育課程の策定とその実践や、主体的対話的で深い学びを進めていくための研究や実践に活用したい。 |
|---------------------------|---|

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

| | |
|---------------------------|--|
| 学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等 | <p>○学校規模（児童数）に応じた補助金の配分にはしているようだが、教育活動への補助金であるのならば、本来はその活動内容に応じて適切に補助金を配分し、必要額を決定するのが自然だと感じる。</p> <p>○「生きる力」を育むことを目標とした事業であり、健康増進や学力向上に関する事業が展開されているが、一方で、地域を学び、地域とつながる事業が全校的に弱いように思われる。教職員や児童・生徒の負担、カリキュラム上の制約により難しい面もあると思われるが、地域を活かした教育活動は健康増進や学力向上（児童の興味・関心への刺激）も含めた総合的な児童・生徒の「生きる力」の育成につながると考えられるので、地域と連携した教育活動の推進とサポートを期待したい。（小中学校同）</p> <p>○Q-Uアンケートが学級運営に効果があり、また全学校にも効果があるならば、この事業でなく別の事業で実施するのが妥当である。</p> <p>○特色ある教育活動は、その学校としての独自、独特なソフト事業だと思うので、先に金額ありきはどうかと思う。真に必要なものを実現するには、交付申請手続き等をいかに簡素化するかを見直すことも必要である。</p> |
|---------------------------|--|

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

| | |
|---------------|---|
| 取り組む 改善内容等 | <p>○生きる力を育む交付金として再構築し、対象をソフト事業中心にすることで、学校のグランドデザインに沿った活動を進めたいと考える。また、コミュニティ・スクールによる地域と連携した教育活動への交付金の活用を進めていく。</p> <p>○交付金の算定や配分方法、Q-Uアンケートへの活用等については、この事業の検証をする中で、検討していきたい。</p> |
|---------------|---|

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

| | | | | | | | | | | | |
|---------|--|--|---|-------|---|---|---------|----|---|----|--------|
| 事務事業名 | まなびサポート事業 | | 担当課 | 家庭支援課 | | | | | | | |
| 概要 | 対象 | 特別な支援が必要な児童生徒 | | | | 体系 | A-2-2-1 | | | | |
| | 手段 | 通常の指導では十分な教育的効果が期待できない児童生徒が、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。 | | | | 新/継 | 継続 | | | | |
| | 意図 | 一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習環境を提供する。 | | | | 区分 | ソフト | | | | |
| 年度別事業内容 | 平成27年度(1年次) | | 平成28年度(2年次) | | | 平成29年度(3年次) | | | | | |
| | ○支援介助員の配置及び充実 ○特別支援教育研修会の開催 ○心理検査の実施 | | ○支援介助員の配置及び充実(研修を含む) ○特別支援教育研修会の開催 ○特別支援コーディネーター研修会の充実 ○個別支援計画策定研修会の実施 ○心理検査の実施 | | | ○支援介助員の配置及び充実(研修を含む) ○特別支援教育研修会の開催 ○特別支援コーディネーター研修会の充実 ○個別支援計画策定研修会の実施 ○心理検査の実施 | | | | | |
| 財源 | 決算額 (千円) | | 決算額 (千円) | | | 計画額 (千円) | | | | | |
| | 18,635 | | 20,045 | | | 19,845 | | | | | |
| | 特定 | 一般 | 18,635 | 特定 | 0 | 一般 | 20,045 | 特定 | 0 | 一般 | 19,845 |

○評価指標

| 評価指標 | H27 | | | H28 | | | H29 | | |
|-----------------|---------------|---------------|-----|---------------|---------------|-----|---------------|---------------|-----|
| | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 |
| 教職員研修の実施 | 1 | 1 | 1 | 3 | 3 | 2 | | | 3 |
| 個別支援計画策定研修会実施回数 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | | | 3 |
| | | | | | | | | | |

○事中評価

| 評価視点 | | | | | | | | | | | | 今後の方向性 | | | | |
|---|------|---|----|-----|------|------|----|-----|------|------|----|---------------|------|---|---|--|
| 妥当性 | | | | 有効性 | | | | 効率性 | | | | 成果の方向性 | | | | |
| 1 | 2 | ③ | 4 | 1 | ② | 3 | 4 | 1 | ② | 3 | 4 | | ④レ | ② | ① | |
| 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | | 現状維持 | ③ | ⑤ | |
| | | | | | | | | | | | | | 縮小 | ⑥ | | |
| 総合評価判定 | | | | | | 総合評価 | | | | | | コスト投入の方向性 | | | | |
| A:計画どおりに事業を進めることが 適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検 討 D:事業の統合・休廃止の検討 | | | | | | B | | | | | | 皆減 縮小 現状維持 拡大 | | | | |
| 当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等 | | 今年度から配置された特別支援教育担当指導主事による学校訪問を随時行い、個別支援の充実が図られたが、校内での情報共有や特別支援教育コーディネーターの資質の向上など、校内支援体制の一層の充実・強化が求められる。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 新年度の予算要求事項(改革・改善案) | | 特別支援教育担当指導主事を配置した成果を一層求めつつ、校内支援体制の充実・強化を図るため、研修内容など見直しコストを縮減(△200千円)する中で、新たに巡回訪問を通じた職員研修をモデル校(3校)で実施していきたい。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1次評価コメント | | 要求事項どおり。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2次評価コメント | | - | | | | | | | | | | | | | | |

○事後評価

| 区分 | 年間(4月～3月) | | | | | | | | | | | |
|------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 取組内容 | 特別支援講師(嘱託員)を14名配置、支援介助員を(臨時職員)18名配置した。特別支援講師(年6回)、支援介助員(年2回)に対し、研修会を行った。 特別支援教育コーディネーター連絡会(3回開催)、教職員研修を特別支援教育研修会(2回開催、職員240人参加)実施した。 | | | | | | | | | | | |
| 成果 | 特別な支援が必要な児童生徒の理解につながり、教育的ニーズに応じた支援の充実が図られた。 | | | | | | | | | | | |
| 課題 | 特別な支援が必要な児童生徒が増加傾向にあり、特別支援教育コーディネーターの資質向上や校内における支援体制の充実、強化が求められる。 | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-------|-----|-------------|----|----|----|-------|---------|------|
| 作成担当者 | 部課等 | こども教育部家庭支援課 | 職名 | 技師 | 氏名 | 高山 ゆり | 連絡先(内線) | 3182 |
| 最終評価者 | 部課等 | こども教育部家庭支援課 | 職名 | 課長 | 氏名 | 百瀬 公章 | 連絡先(内線) | 3180 |

○教育委員会の評価等【Check】

| | |
|---------------------------|--|
| 教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等 | 特別な支援を要する児童・生徒については、個々の教育的ニーズが多様化してきている。支援の精度を上げ、子どもたちの自立を促進していくためには、専門的な視点から子どもを理解し、的確にアセスメントを行った上で具体的な支援の方向を見出し、それを支援チームで共有していく必要がある。そのための人材の配置と継続的な研修の積み重ねが必要である。 |
|---------------------------|--|

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

| | |
|---------------------------|--|
| 学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等 | <p>○発達障害を持つ児童や特別支援教育を要する児童の数が増加しているのに比して指導教員の数が不足している喫緊の課題に対して、そのバランスの悪さを解消すべく主事を配置したり、特別支援教員などの人員増加に努めることは良いことであると評価したい。同時に、特別支援教員が増えればそれだけ良い特別支援教育が行われるとも限らない。人数の増加と併せて、特別支援教育そのものを継続的に検討していくことも欠かせない(そのために研修会を 2 回開催したことはわかる)。</p> <p>○新しい特別支援教育として、昨今注目を集めるのが日本財団と東京大学先端科学技術研究センターが共催する「異才発掘プロジェクト ROCKET」であり、不得意をなくすのではなく、得意を伸ばす特別支援教育である。私は、この活動に個人的に繋がりを持っているので、塩尻市が特別支援教育のあり方について検討していきたいのであれば、この活動を塩尻市で展開させる、またはこの活動を活用する研修会の開催などできるかと思う。</p> <p>○配慮が必要な児童・生徒への支援は、一部の教職員による理解、取り組みだけでは教育のセーフティネットとしてなり得ないため、各校内での支援体制のさらなる充実を図っていただきたい。そのためにも、各校における情報共有（管理を含む）や支援計画策定のあり方等について、地域の社会資源との連携もふまえた形で整備していく必要があると思われる。</p> <p>○校内支援体制の充実は、教員が定期的に異動することから、際限なくせざるを得ないし、学校内の引継ぎは十分されていると思うが、特に年度切り替え時には確認する。</p> <p>○特別な支援を必要とする児童生徒に対する増員が求められていることから、必要な支援員の基準を明確にすべきである。</p> <p>○就学指導委員会の役割と保護者の意向を個別で認める基準の明確化が課題。</p> |
|---------------------------|--|

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

| | |
|---------------|--|
| 取り組む 改善内容等 | <p>○特別支援教育に関する教職員を対象とした研修会、特別支援教育コーディネーター連絡会などを引き続き計画的に開催し、教職員の資質、専門的知識の向上を図っていききたい。</p> <p>○特別支援講師や支援介助員の配置について、今後増員していくことが厳しい状況にあることから、コミュニティ・スクールと連携し、地域の社会資源を活用した特別支援教育のあり方を検討したい。また、特別支援講師等の配置に当たっては、各学校からの配置計画に基づき、現状を把握する中で適正な配置に努めたい。</p> <p>○平成28年度から特別支援教育担当指導主事を配置するとともに、学校フォローアップ訪問や、専門職による巡回訪問を行うなど、校内支援体制の充実強化を図っていききたい。</p> |
|---------------|--|

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|---|-------|--------------------------------|-------|---------|---|--------|--------|-------|----|--------|
| 事務事業名 | 地域連携教育推進事業 | | | 担当課 | 教育総務課 | | | | | | | |
| 概要 | 対象: | 小中学校の児童及び生徒、地域 | | | 体系 | A-2-2-2 | | | | | | |
| | 手段: | コミュニティ・スクールの導入、学校支援コーディネータの配置、キャリア教育支援協議会の設置、小中連携教育・一貫教育の推進 | | | 新/継 | 継続 | | | | | | |
| | 意図: | 地域の教育力の活用、 | | | 区分 | ソフト | | | | | | |
| 年度別事業内容 | 平成27年度(1年次) | | | 平成28年度(2年次) | | | 平成29年度(3年次) | | | | | |
| | コミュニティ・スクールの事前説明 キャリア教育のプラットホームの構築 檜川地区のアンケート実施 | | | コミュニティ・スクール 学校支援コーディネーターの配置 | | | コミュニティ・スクールの全市導入 学校支援コーディネーターによるキャリア教育支援 | | | | | |
| 財源 | 決算額 | (千円) | 3,270 | 決算額 | (千円) | 9,028 | 計画額 | (千円) | 16,195 | | | |
| | | | 3,270 | | | 9,028 | 嘱託職員報酬 | 2,945 | | | | |
| | | | | | | | 臨時職員賃金等 | 10,000 | | | | |
| | 特定 | 0 | 一般 | 3,270 | 特定 | 1,306 | 一般 | 7,722 | 特定 | 1,500 | 一般 | 16,195 |
| | | | | | | | 学校運営協議会交付金 | 2,600 | | | | |
| | | | | | | | 等備品購入費 | 650 | | | | |

○評価指標

| 評価指標 | H27 | | | H28 | | | H29 | | |
|------------------|---------------|---------------|-----|---------------|---------------|-----|---------------|---------------|-----|
| | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 |
| 学校運営協議会(委員会)の設置数 | 3校 | 14校 | 0校 | 14校 | 14校 | 14校 | | | 14校 |
| | | | | | | | | | |

○事中評価

| 評価視点 | | | | | | | | | | | | 今後の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------|------|----|------|------|------|----|-----|------|------|----|-----------|------|---|---|--|----|--|--|--|--|------|--|--|--|--|----|--|--|--|--|
| 妥当性 | | | | 有効性 | | | | 効率性 | | | | 成果の方向性 | ④ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 2 | 3 | ④ | 1 | ② | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | ④ | | 現状維持 | ③ | ⑤ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | | 縮小 | ⑥ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総合評価判定 | | | | 総合評価 | | | | | | | | | 休廃止 | ⑦ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A:計画どおりに事業を進めることが 適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討 | | | | | | | | | | | | C | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等</p> <p>当初計画より、1年前倒しでコミュニティ・スクールを市内全小中学校に導入できたため、空き教室のない学校においては、ボランティアルームを設置できないなど、学校によって環境の差が生じている。 コミュニティ・スクールに関し、学校と育成会・公民館との連携が十分に図れていない。 キャリア教育については、支援協議会を設置できたが、今後は、市内事業所への協力の働きかけが必要となる。</p> | | | | | | | | | | | | 皆減 | | | | | 縮小 | | | | | 現状維持 | | | | | 拡大 | | | | |
| <p>新年度の予算要求事項(改革・改善案)</p> <p>計画的に、ボランティアルーム等を整備する必要がある。 市のコミュニティ・スクールの実践集などのパンフレットを作成し、全戸配布により市民への周知が必要。 キャリア教育の支援体制強化のため、協力事業所募集のためのパンフレット・リーフレットの作成が必要。 学校支援ボランティアの支援部単位の研修の充実(講師謝礼等)が必要。 委員・ボランティア等が増え、活動が活発となったため、通知送付の郵送料の増額が必要。</p> | | | | | | | | | | | | コスト投入の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1次評価コメント | | | | | | | | | | | | 計画どおり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2次評価コメント | | | | | | | | | | | | | | | | | - | | | | | | | | | | | | | | |

○事後評価

| 区分 | 年間(4月～3月) | | | | | | | | | | | |
|------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> 教育総務課に地域連携コーディネーター(統括コーディネーター)を1名、中学校区(6校区)に1名ずつ(6名)学校支援コーディネーターを配置した。 年度末に、コミュニティ・スクール実践集として、まとめの冊子を作成した。 学校支援コーディネーターによる定例会議を毎月開催した。 学校支援ボランティア向けの研修会を年5回開催した。 キャリア教育に関するリーフレットを作成した。 | | | | | | | | | | | |
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> 学校評議員制度のときは違い、「地域の子ども」を柱に据え、地域と学校が一緒になって地域の子どもを育てる意識が高まった。 学校への関わりについて「当事者意識」が高まった。 特に中学校において、学校が地域に貢献する活動も活発になってきた。 | | | | | | | | | | | |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> 各学校にコミュニティ・スクールルームの設置等、環境整備が必要。 コミュニティ・スクールについての市民の関心をより高めていくために、広報のあり方を検討する必要がある。 教育課題解決のための「地域のプラットホーム」としての「支援部」の活用について検討する必要がある。 また縦割りの活動が多いので、コミュニティ・スクールを核とした横のつながりを構築していく必要がある。 | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-------|-----|-------------|----|----|----|-------|---------|------|
| 作成担当者 | 部課等 | 子ども教育部教育総務課 | 職名 | 係長 | 氏名 | 横山 朝征 | 連絡先(内線) | 3111 |
| 最終評価者 | 部課等 | 子ども教育部教育総務課 | 職名 | 課長 | 氏名 | 太田 和文 | 連絡先(内線) | 3110 |

○教育委員会の評価等【Check】

| | |
|---------------------------|--|
| 教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等 | <p>コミュニティ・スクールの理念と実践の方向性などについては、広報などにより市民に次第に理解されてきているが、十分とは言えない。学校や地域からホームページや広報、新聞などで特色ある取り組みについてさらに発信したい。各校、各地域の特色や特性を生かした中核的な事業を構築することや、次期学習指導要領で求められる「社会に開かれた教育課程」の編成を学校と、学校運営協議会、地域教育協議会とが共に熟議を通して進めていくことが必要である。</p> |
|---------------------------|--|

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

| | |
|---------------------------|---|
| 学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等 | <p>○コミュニティ・スクールについて、従来行われてきた既にある活動を「コミュニティ・スクール」と“読み替え”たり呼び方を変えたりするのでは、本当の意味でコミュニティ・スクールや地域連携教育活動の実施とは言い難い。ただただコミュニティ・スクールの実施数を増やすという数の問題ではなく、重要なのは質の問題である。</p> <p>コミュニティ・スクールとは何かをよく考え、塩尻市ならではのコミュニティ・スクールが小・中学校にて実施されていくことが望ましい。その際に、単なる読み替えではない、新たなコミュニティ・スクール活動(例えば、洗馬小学校での大学生による学び支援活動)の実施例を参考にされることを勧めたい。</p> <p>○学校ごとの部屋の確保等による環境の差については埋めていくことは必要である。また、コミュニティ・スクール、学校支援ボランティア等についての住民への周知、関心・理解の向上も必要であるが、どのような周知の方法がよいのか吟味していかなければならない。また、学校支援ボランティアとコーディネーター、そして教職員とのしっかりとした連携が求められる。</p> <p>○キャリア教育の推進で職場体験受入事業所を拡大するために、商工会議所（市の関係部署）との連携をより強化する。</p> <p>○コミュニティ・スクールの前に、開かれた学校になっているのかと思う。防犯上の問題もあるので、児童生徒・父兄や社会教育での学校利用者以外は学校との接点がない。</p> <p>○あて職区長の委員への適格性（任期が1年で交代の地区もあるため）。</p> |
|---------------------------|---|

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

| | |
|---------------|---|
| 取り組む 改善内容等 | <p>○地域で学校を支える取組みを有機的に組織として機能しやすくするものがコミュニティ・スクールであり、本市では既存の取組みをさらに活かすために、全小中学校でコミュニティ・スクールを立ち上げ、育てていくこととした。</p> <p>○コミュニティ・スクール設置以降に学校に携わるようになった方も増えており、新たな取組みも始まっているため、この動きをさらに推進していきたい。</p> <p>○保護者や地域へのPRとしては、コミュニティ・スクール実践集を作成し、配布するとともに、市広報紙やホームページに記事を掲載しているが、コミュニティ・スクールへの理解があまり進んでいないことから、今後、周知方法について検討していく必要がある。また、コミュニティ・スクールを継続するためにも、学校支援ボランティア等の地域人材の確保が重要となる。</p> <p>○キャリア教育の推進については、引き続き、キャリア教育支援協議会において、塩尻商工会議所、産業界や庁内関係部署等と連携し、取組みを検討していく。</p> |
|---------------|---|

事務事業一覧

こども教育部 事業部ミッション3

市民のために、「誰もが学び、つながり、活かすまち」の実現を目指し、教育、文化、スポーツの充実を図り、学習の場や機会を整備する。

| No. | 主な取り組み | 対応する事務事業(◎自己点検評価事業・○事務事業評価事業) | | | 中期全市戦略への対応 | |
|-----|---------------------|-------------------------------|---------------------|------------|------------|---|
| | | No. | 事業名 | 担当 | | 評価 |
| 1 | 集客核の環境整備の推進 | ① | 重伝建整備事業 | 生涯学習スポーツ課 | ◎ | Proj: 4地域資源を生かした交流の推進 施策: 4-1観光産業の育成・支援 |
| | | | | | | |
| 2 | 歴史・文化遺産を活用した交流活動の推進 | ① | 全国短歌フォーラム事業 | 生涯学習スポーツ課 | ○ | Proj: 4地域資源を生かした交流の推進 施策: 4-2新たな交流・集客の推進 |
| | | ② | 短歌館運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | ○ | |
| | | ③ | 檜川地区文化施設運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | ○ | |
| | | ④ | 自然博物館運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | ○ | |
| 3 | スポーツの活性化と交流の促進 | ① | 新体育館建設事業 | 生涯学習スポーツ課 | ○ | Proj: 4地域資源を生かした交流の推進 施策: 4-2新たな交流・集客の推進 |
| | | | | | | |
| 4 | 防災体制・防災活動拠点の強化 | ① | 吉田西防災コミュニティセンター運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | | Proj: 6危機管理の強化と社会基盤の最適活用 施策: 6-1防災・減災の推進 |
| | | | | | | |
| 5 | 文化芸術活動の支援 | ① | 芸術文化事業 | 生涯学習スポーツ課 | ○ | Proj: 7生涯現役で社会貢献できる仕組みの構築 施策: 7-2生涯学習と世代間交流の促進 |
| | | ② | 文化会館改修事業 | 生涯学習スポーツ課 | ○ | |
| | | ③ | 文化会館運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | ○ | |
| | | ④ | 文化会館駐車場整備事業 | 生涯学習スポーツ課 | ○ | |
| 6 | 生涯学習環境の整備 | ① | 生涯学習支援事業 | 生涯学習スポーツ課 | | Proj: 7生涯現役で社会貢献できる仕組みの構築 施策: 7-2生涯学習と世代間交流の促進 |
| | | ② | 公民館事業 | 生涯学習スポーツ課 | ◎ | |
| | | ③ | 地域文化啓発発信事業 | 生涯学習スポーツ課 | ○ | |
| | | ④ | 学校開放事業 | 生涯学習スポーツ課 | ○ | |
| | | ⑤ | 総合文化センター管理事業 | 生涯学習スポーツ課 | | |
| | | ⑥ | 公民館分館施設整備事業 | 生涯学習スポーツ課 | ○ | |
| | | ⑦ | 公民館施設管理事業 | 生涯学習スポーツ課 | | |
| 7 | スポーツコミュニティの活性化の支援 | ① | 市民スポーツ振興事業 | 生涯学習スポーツ課 | ○ | Proj: 10「人」と「場」の基盤づくり 施策: 10-2テーマ型コミュニティの活性化 |
| | | ② | 競技力向上事業 | 生涯学習スポーツ課 | ○ | |
| | | ③ | スポーツ活動支援事業 | 生涯学習スポーツ課 | | |
| 8 | スポーツ施設の充実 | ① | 体育施設整備事業 | 生涯学習スポーツ課 | | Proj: その他の大型・主要事業 施策: その他の大型・主要事業 |
| | | ② | 塩尻トレーニングプラザ運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | | |
| | | ③ | 中央スポーツ公園改修事業 | 生涯学習スポーツ課 | | |
| | | ④ | 体育施設管理運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | | |
| 9 | 人権学習の推進・男女共同参画意識の啓発 | ① | 社会人権教育推進事業 | 男女共同参画・人権課 | | Proj: その他の大型・主要事業 施策: その他の大型・主要事業 |
| | | ② | 人権推進啓発事業 | 男女共同参画・人権課 | | |
| | | ③ | 男女共同参画推進費 | 男女共同参画・人権課 | | |
| 10 | 文化財の保護と活用の推進 | ① | 国指定文化財修理事業 | 生涯学習スポーツ課 | | Proj: その他の大型・主要事業 施策: その他の大型・主要事業 |
| | | ② | 町並み保存推進事業 | 生涯学習スポーツ課 | | |
| | | ③ | 文化財管理事業 | 生涯学習スポーツ課 | | |
| | | ④ | 古文書室運営事業 | 生涯学習スポーツ課 | | |
| 11 | 歴史遺産の活用の推進 | ① | 平出博物館運営事業 | 平出博物館 | | Proj: その他の大型・主要事業 施策: その他の大型・主要事業 |
| | | ② | 平出遺跡公園事業 | 平出博物館 | | |
| | | ③ | 史跡等歴史文化資源活用事業 | 平出博物館 | | |
| | | ④ | 本洗馬歴史の里運営事業 | 平出博物館 | | |
| | | ⑤ | ひらいでの里魅力づくり事業 | 平出博物館 | | |
| | | ⑥ | 埋蔵文化財保護事業 | 平出博物館 | | |
| | | ⑦ | 平出遺跡発掘整理事業 | 平出博物館 | | |
| 12 | 健康・スポーツ活動の促進 | ① | 健康スポーツ推進事業 | 生涯学習スポーツ課 | | Proj: 8健康寿命の延伸と住み慣れた地域での生活継続 施策: 8-1健康寿命の延伸 |
| | | | | | | |

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|--|----|-------|---|-----------|---------|-------|---|--------|----|-----|
| 事務事業名 | 重伝建整備事業 | | | | 担当課 | 生涯学習スポーツ課 | | | | | | |
| 概要 | 対象: | 伝建地区住民、地区来訪者 | | | | 体系 | B-4-1-1 | | | | | |
| | 手段: | 経年変化する伝建地区内の建造物、工作物を、修理・修景という二つの手法により、文化財として保存及び景観整備を行う。 | | | | 新/継 | 継続 | | | | | |
| | 意図: | 文化財として価値ある集落を保存する。 | | | | 区分 | ハード | | | | | |
| 年度別事業内容 | 平成27年度(1年次) | | | | 平成28年度(2年次) | | | | 平成29年度(3年次) | | | |
| | ○修理・修景事業の実施 ○伝建地区内要望のとりまとめ ○文化庁・県との事業内容確認 | | | | ○修理・修景事業の実施 ○伝建地区内要望のとりまとめ ○文化庁・県との事業内容確認 | | | | ○修理・修景事業の実施 ○伝建地区内要望のとりまとめ ○文化庁・県との事業内容確認 | | | |
| 財源 | 決算額 (千円) | | | | 決算額 (千円) | | | | 計画額 (千円) | | | |
| | 20,658 | | | | 18,338 | | | | 25,456 | | | |
| | 特定 | 13,834 | 一般 | 6,824 | 特定 | 11,713 | 一般 | 6,625 | 特定 | 24,966 | 一般 | 460 |

○評価指標

| 評価指標 | H27 | | | H28 | | | H29 | | |
|----------|---------------|---------------|-----|---------------|---------------|-----|---------------|---------------|-----|
| | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 |
| 修理・修景物件数 | 7 | 7 | 7 | 6 | 7 | 6 | | | 7 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

○事中評価

| 評価視点 | | | | | | | | | | | | 今後の方向性 | | | | |
|--|------|---|----|------|------|------|----|-----|------|------|----|---------------|------|---|---|---|
| 妥当性 | | | | 有効性 | | | | 効率性 | | | | 成果の方向性 | 拡充 | ④ | ② | ① |
| 1 | 2 | ③ | 4 | 1 | 2 | ③ | 4 | 1 | 2 | ③ | 4 | | 現状維持 | ③ | ⑤ | |
| 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | | 縮小 | ⑥ | | |
| 総合評価判定 | | | | 総合評価 | | | | A | | | | | 休廃止 | ⑦ | | |
| A:計画どおりに事業を進めることが 適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討 | | | | | | | | | | | | 皆減 縮小 現状維持 拡大 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | コスト投入の方向性 | | | | |
| 当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等 | | 計画的に事業を進めているが、建物規模によって事業費の増額への対応が必要になる。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 新年度の予算要求事項(改革・改善案) | | 重伝建塩尻市奈良井地区内の大規模な特定物件について事業主の要望により修理事業として補助する。当該物件は奈良井宿内最大規模の宿泊施設である。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1次評価コメント | | 計画どおり | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2次評価コメント | | - | | | | | | | | | | | | | | |

○事後評価

| 区分 | 年間(4月～3月) |
|------|---|
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> 奈良井、木曾平沢の両重伝建地区において、修理・修景事業計7件を実施しました。(奈良井では修理2件、修景1件、木曾平沢では修理2件、修景2件) 平成29年度、30年度に向けての修理・修景事業の希望調査を行いました。29年度については、文化庁に補助事業として申請しております。 |
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> 重伝建としての文化財保存に留まらず、市民を挙げての地域づくりの核ともなり、さらに観光振興に寄与することができました。 国庫補助による事業で個人負担も相応にあるが、市民主体の保存活動として費用対効果は高いものとなっております。 |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> 奈良井、木曾平沢両地区ともに、伝建地区選定から年数が経過するにつれ、世代交代等の理由により地区内住民の伝建制度への理解が薄まりつつあるため、継続的に同制度の周知徹底を図っていくことが必要です。 |

| | | | | | | | | |
|-------|-----|-----------------|----|------|----|-------|---------|------|
| 作成担当者 | 部課等 | 子ども教育部生涯学習スポーツ課 | 職名 | 担当係長 | 氏名 | 塩原 真樹 | 連絡先(内線) | 3134 |
| 最終評価者 | 部課等 | 子ども教育部生涯学習スポーツ課 | 職名 | 課長 | 氏名 | 胡桃 慶三 | 連絡先(内線) | 3100 |

○教育委員会の評価等【Check】

| | |
|---------------------------|--|
| 教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等 | 奈良井、平沢の両重伝建地区の修理・修景事業を進めることで、重伝建地区の歴史と文化を守り、地区住民のみならず市民の誇りにも結びついてきている。事業を計画的に進めることで両地区の歴史的な景観の質を一層高めると共に、資源をインバウンド拡大の流れに合わせて、観光振興や産業振興にも結び付けていくことが必要である。 |
|---------------------------|--|

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

| | |
|---------------------------|--|
| 学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等 | <p>○文化財としての保存及び修理・修景維持と、文化財の利活用とでは、かける投資が異なる。文化財の保存については金銭的な支援が不可欠であり、コスト投入の拡充は願ける。</p> <p>しかし、文化財の利活用となると、金銭的支援よりもどう活用するかというアイデアやそのアイデアを活かせる人的面でのサポートが不可欠である。この後者の点と、課題として挙げられている「世代交代等の理由により地区内住民の伝建制度への理解が薄まりつつある」という問題は、密接に関係しているように思える。</p> <p>○文化財を保存・整備していくことは観光資源として集客・交流を生み出すだけでなく、それらを活用することによって、地域のアイデンティティとしても意義をもつ重要なものとなるため、効果的に事業を進めていただきたい。そのため、住民や他機関、他部門他事業との連携を図り、活用のあり方についても吟味していただきたい。</p> <p>○世代交代等の状況であるので、不断の意識の醸成を図ることは重要である。</p> <p>○観光振興面から、歩車道混同の現在の状況のあり方を検討すべきである。</p> <p>○個人負担もあるが、年次的に計画的な整備（年7件）を確実に実施することが必要である。</p> <p>○地元住民の自主的な NPO 法人などの取り組みに期待したい。（海野宿の挑戦 10.29 信毎）</p> |
|---------------------------|--|

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

| | |
|---------------|---|
| 取り組む 改善内容等 | <p>○重伝建地区内で修理・修景事業を実施していくことについては、所有者にとって負担のかかることでもあるので、補助金等を積極的に活用して支援を図りながらこれからも継続して実施していきたい。そのことで歴史的景観が整備され、観光資源としても大きな効果をもたらし、さらに住民にとって地元への愛着や誇りを育むことに繋がる。</p> <p>担当としても、これまで同様、修理・修景事業に関する事前相談会や、重伝建制度に関する文書の配布、伝建学習会等によって継続的に啓発や周知を図り、世代交代による文化財保護意識の低下を防いでいきたい。</p> <p>○活用については、文化財担当者のみでは対応できない部分もあるが、昨今の文化財を取り巻く状況は、保存はもちろんのことそれをいかに利活用していくかが問われてきている。こうした問題に対して、国でも官民連携の推進体制の構築に向けて文化財保護法の改正が検討されている。このような動きに市も敏感に対応していきたい。</p> <p>○現在、奈良井・木曾平沢両重伝建地区においては、現在も保存会などの組織が、修理・修景事業の実施や景観整備にあたって、行政側と所有者等とのパイプ役として機能している。</p> <p>○こうした住民組織・地区、行政側の観光部局をはじめとする関係部局などとも連携を深めながら、重伝建地区の観光資源としての利活用の可能性を考えていきたい。</p> |
|---------------|---|

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|-------------------------|---|--------|--------|-------------------------|-----------|---------|--------|-------------------------|-----|----|--------|
| 事務事業名 | 公民館事業 | | | | 担当課 | 生涯学習スポーツ課 | | | | | | |
| 概要 | 対象: | 市民全体 | | | | 体系 | C-7-2-3 | | | | | |
| | 手段: | 中央公民館の運営と地区公民館における各種教室、講座、講演会等の運営を支援する。 | | | | 新/継 | 継続 | | | | | |
| | 意図: | 市民の自主的な生涯学習を促進するとともに、地域コミュニティーを振興する。 | | | | 区分 | ソフト | | | | | |
| 年度別事業内容 | 平成27年度(1年次) | | | | 平成28年度(2年次) | | | | 平成29年度(3年次) | | | |
| | ○公民館事業 ○各種教室、講座、講演会等 | | | | ○公民館事業 ○各種教室、講座、講演会等 | | | | ○公民館事業 ○各種教室、講座、講演会等 | | | |
| 財源 | 決算額 | (千円) | 44,454 | 決算額 | (千円) | 39,744 | 計画額 | (千円) | 40,869 | | | |
| | | | 44,454 | | | 39,744 | | | 40,869 | | | |
| | 特定 | 682 | 一般 | 43,772 | 特定 | 834 | 一般 | 38,910 | 特定 | 730 | 一般 | 40,139 |

○評価指標

| 評価指標 | H27 | | | H28 | | | H29 | | |
|--------------------|---------------|---------------|--------|---------------|---------------|--------|---------------|---------------|--------|
| | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 |
| 中央・地区公民館学級・講座等参加者数 | 6,911 | 17,071 | 12,000 | 6,160 | 17,997 | 12,000 | | | 12,000 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

○事中評価

| 評価視点 | | | | | | | | | | | | 今後の方向性 | | | | | |
|---|------|------|----|-----|------|------|----|-----|------|------|----|--|------|----|------|----|---|
| 妥当性 | | | | 有効性 | | | | 効率性 | | | | 成果の方向性 | 拡充 | | ④ | ② | ① |
| 1 | 2 | 3 | ④ | 1 | 2 | ③ | 4 | 1 | ② | 3 | 4 | | 現状維持 | | ③ | ⑤ | |
| 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | | 縮小 | | ⑥ | | |
| 総合評価判定 | | | | | | 総合評価 | | | | | | | 休廃止 | ⑦ | | | |
| A:計画どおりに事業を進めることが 適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検 討 D:事業の統合・休廃止の検討 | | | | | | B | | | | | | | 皆減 | 縮小 | 現状維持 | 拡大 | |
| 当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等 | | | | | | | | | | | | 塩尻市公民館事業計画の重点目標としている、「地域の実態を踏まえ、社会の要請がある現代的課題に沿う学習テーマを設定し、課題解決に導くための学級・講座を充実させていく」ことについて、どのような公民館活動が望ましいか、主事会の勉強会を開催し検討を進めている。 | | | | | |
| 新年度の予算要求事項(改革・改善案) | | | | | | | | | | | | 公民館の予算として、地区公民館事業委託料と学級講座講師謝礼が主な経費となるが、公民館事業の運営コスト削減と学級講座の精査を継続して行うなかで、地域課題解決型の事業を促進するため、現状維持としたい。 | | | | | |
| 第1次評価コメント | | | | | | | | | | | | 地域振興課と連携し、主事のあり方を含めて今後の方向性を今年度中に政調プロ、庁議に報告すること。 | | | | | |
| 第2次評価コメント | | | | | | | | | | | | - | | | | | |

○事後評価

| 区分 | 年間(4月～3月) |
|------|---|
| 取組内容 | 定期的に公民館長・主事会義を開催し、地区における公民館事業の取組について情報交換及び意見交換を行いました。分館を含む公民館役員の研修会として、塩尻市公民館研究集会を開催しました。中央公民館では、11講座を実施し延べ1,199人が受講し、地区公民館では、227講座を実施し延べ16,798人が受講し、 |
| 成果 | 公民館事業を通じて、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、地域の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することができました。 |
| 課題 | 新しい時代にふさわしい公民館のあり方として、従来から行っている趣味や教養に関する学級・講座だけでなく、生活課題や地域課題に即した学習活動に取り組んでいく必要があります。地縁コミュニティ活性化のため、公民館主事が地域の先頭に立ち、地域づくりの担い手育成に関わっていく必要があります。 |

| | | | | | | | |
|-------|--------------------|----|------|----|-------|---------|------|
| 作成担当者 | 部課等 とも教育部中央公民館 | 職名 | 館長補佐 | 氏名 | 百瀬 雅彦 | 連絡先(内線) | 3141 |
| 最終評価者 | 部課等 とも教育部生涯学習スポーツ課 | 職名 | 課長 | 氏名 | 胡桃 慶三 | 連絡先(内線) | 3100 |

○教育委員会の評価等【Check】

| | |
|------------------------------------|--|
| <p>教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等</p> | <p>中央公民館、地区館、分館の諸事業を通して多くの人が生涯学習の機会を得、学びを続けている。しかし、生活課題や地域課題に即した学習活動と、学びを生かす機会が多いとは言えない。今後は、公民館主事のあり方をさらに検討し、主事が中核となってコミュニティ・スクールや青少年育成など横のつながりを強化しながら、地域コミュニティづくりや、地域活性化に結び付けていくことが必要である。</p> |
|------------------------------------|--|

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

| | |
|------------------------------------|--|
| <p>学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等</p> | <p>○学びの場として公民館を開き、活用していくことは大いに進めていただきたいと思う。その際に、様々な人々が対象となるように広い視点で教養講座を開講していくことを行なって欲しい。その様な多様な人々を対象にできるのは、公民館事業の強みだと感じる。</p> <p>特に、子どもを対象にした学びの講座を開講し、大人だけでなくいつも子どももいる公民館になると良いかと思う。他市で恐縮だが、松本市の安原地区公民館での子ども・小学校児童に向けた学びの講座開講(私のゼミが運営している)は参考になると思う。</p> <p>○公民館事業を通じた地域づくりの担い手発掘・育成は、地域の持続可能性において必要不可欠であると思われるので、事後評価の課題にあるように、生活課題や地域課題に即した学習活動の展開に期待したい。</p> <p>○学級・講座等参加者数は目標値を大きく超えているが、参加者が固定されていないか、新たな参加者を確保できているのか検討が必要だと思われる。</p> <p>○地域により異なる地域課題に対して、身近な人材を活用することにより、敷居の低い魅力的な講座・学級に取り組み、公民館活動に関心を持たせることから始めたらどうか。</p> <p>○意図が地域コミュニティの振興にある以上、第一歩は参加させることにあるので、大上段に構えず、誰しもが身近な関心のあることについて、井戸端会議から始める。</p> <p>○地域の担い手をいかに作るのかは重要な課題であるので、公民館活動でのプロセスが重要である。担い手作りには、今までのやり方を見直すことも検討する。</p> |
|------------------------------------|--|

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

| | |
|-----------------------|--|
| <p>取り組む 改善内容等</p> | <p>○これまでのカルチャーセンター的な事業・講座に加えて、地域課題を解決するための講座やワークショップの開催にも重点的に取り組んでいきたい。</p> <p>○そのためには、これまでのイベントや講座を精査実施すると共に、コミュニティ・スクールを課題解決の基盤として進めていきたい。</p> <p>○プラットフォーム事業の展開については、モデル地区を定め将来的には全市で実施できるよう年次的に進めていきたい。</p> <p>○既に試験的に始めている「地域課題解決」のためのワークショップや講座の実例を支所長・主事会議等で情報共有し、担当者から意識改革を進める必要があると考える。</p> |
|-----------------------|--|

事務事業一覧

市民交流センター 事業部ミッション1

市民及び市民公益活動団体等のため、市民交流センターを活用した交流と人づくりの場の提供と多様な主体によるまちづくりを目指して、市民交流センターの諸機能を融合させながら、市民及び市民公益活動団体等の自主的な活動を支援する。

| No. | 主な取り組み | 対応する事務事業(◎自己点検評価事業・○事務事業評価事業) | | | 中期全市戦略への対応 (Proj:プロジェクト) | |
|-----|--|-------------------------------|----------------|-------|-----------------------------|--|
| | | No. | 事業名 | 担当 | | 評価 |
| 1 | 知恵の交流を通じた人づくりの場の提供と担い手の確保・育成 (分野を超えた融合) | ① | 市民交流センター交流企画事業 | 交流支援課 | ◎ | Proj: 10「人」と「場」の基盤づくり 施策: 10-3人と場の基盤の構築 |
| | | ② | 市民交流センター管理諸経費 | 交流支援課 | | |
| 2 | 市民活動の支援 (市民公益活動団体の育成) | ① | 協働のまちづくり推進事業 | 交流支援課 | ○ | Proj: 10「人」と「場」の基盤づくり 施策: 10-2テーマ型コミュニティーの活性化 |
| | | | | | | |
| 3 | 市民交流センター情報関連ネットワークの整備 | ① | 情報関連機器運用事業 | 交流支援課 | | Proj: その他の大型・主要事業 施策: その他の大型・主要事業 |
| | | | | | | |
| 4 | 市民交流センター長期修繕計画の立案及び実施 | ① | 市民交流センター長期修繕事業 | 交流支援課 | | Proj: その他の大型・主要事業 施策: その他の大型・主要事業 |
| | | | | | | |

市民交流センター 事業部ミッション2

子育て中の家庭のために、子育てで不安の軽減や、子どもの健全な育ちと地域子育て力の育成を目指し、交流や講座の開催、出前支援等による幅広い支援を行う。

| No. | 主な取り組み | 対応する事務事業(◎自己点検評価事業・○事務事業評価事業) | | | 中期全市戦略への対応 (Proj:プロジェクト) | |
|-----|----------------------------------|-------------------------------|-----------------|-----------|-----------------------------|---|
| | | No. | 事業名 | 担当 | | 評価 |
| 1 | 子どもを産み育てるサポート体制の充実 (地域子育て力育成) | ① | 子育て支援センター事業 | 子育て支援センター | ◎ | Proj: 1子どもを産み育てる環境の整備 施策: 1-1出産・子育ての負担軽減 |
| | | ② | こども広場事業 | 子育て支援センター | | |
| | | ③ | ファミリーサポートセンター事業 | 子育て支援センター | ○ | |

市民交流センター 事業部ミッション3

市民のために、様々なニーズに応えられる多機能型の図書館を目指して、読書による人づくりを支援するとともに、生活や仕事の課題解決に役立つ情報を収集し提供する。

| No. | 主な取り組み | 対応する事務事業(◎自己点検評価事業・○事務事業評価事業) | | | 中期全市戦略への対応 (Proj:プロジェクト) | |
|-----|--|-------------------------------|---------------|-----|-----------------------------|--|
| | | No. | 事業名 | 担当 | | 評価 |
| 1 | 知恵の交流を通じた人づくりの場の提供と担い手の確保・育成 (多機能型図書館づくり) | ① | 図書館サービス基盤整備事業 | 図書館 | ○ | Proj: 10「人」と「場」の基盤づくり 施策: 10-3人と場の基盤の構築 |
| | | ② | 図書館事業諸経費 | 図書館 | | |
| | | ③ | 本の寺子屋推進事業 | 図書館 | ◎ | |
| | | ④ | 市民読書活動推進事業 | 図書館 | ○ | |
| 2 | 古田晁記念館の維持・活用 | ① | 古田晁記念館事業 | 図書館 | | Proj: その他の大型・主要事業 施策: その他の大型・主要事業 |
| | | | | | | |

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|--|----|--------|--|-------|-----|----------|--|--|----|--------|
| 事務事業名 | 市民交流センター交流企画事業 | | | | 担当課 | 交流支援課 | | | | | | |
| 概要 | 対象: | 市民全体、事業者、各種団体、市外からの来館者 | | | | | 体系 | D-10-3-1 | | | | |
| | 手段: | 知の集積拠点としての活動基盤拠点を提供し、5つの重点分野と各分野の機能融合を目指した事業を実施する。 | | | | | 新/継 | 継続 | | | | |
| | 意図: | 新しい人々や多くの人々が絶えず集い行き交う場を創出し、知恵の交流を通じた人づくりを図る。 | | | | | 区分 | ソフト | | | | |
| 年度別事業内容 | 平成27年度(1年次) | | | | 平成28年度(2年次) | | | | 平成29年度(3年次) | | | |
| | ○市民交流センターの貸館受付と証明発行業務 ○センターの運営に関する事を協議する ○5つの重点分野を生かした事業等の実施 | | | | ○市民交流センターの貸館受付と証明発行業務の実施と利用満足度の向上 ○センターの運営に関する事を協議する ○5つの重点分野を生かした事業等の実施 ○市民営提案事業による交流企画イベント事業の継続実施 | | | | ○市民交流センターの貸館受付と証明発行業務の実施と利用満足度の向上 ○センターの運営に関する事を協議する ○5つの重点分野を生かした事業等の実施 ○市民営提案事業による交流企画イベント事業の充実 | | | |
| 財源 | 決算額 (千円) | | | | 決算額 (千円) | | | | 計画額 (千円) | | | |
| | 16,831 | | | | 15,954 | | | | 交流企画イベント事業 10,000 | | | |
| | ※その他の事業は予算対応 | | | | | | | | | | | |
| | 特定 | 2,377 | 一般 | 14,454 | 特定 | 718 | 一般 | 15,236 | 特定 | | 一般 | 10,000 |

○評価指標

| 評価指標 | H27 | | | H28 | | | H29 | | |
|------------------|---------------|---------------|--------|---------------|---------------|--------|---------------|---------------|--------|
| | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 |
| 貸館利用者数(人) | 32,163 | 79,419 | 70,000 | 38,266 | 80,241 | 70,000 | | | 70,000 |
| 講座・イベント等参加満足度(%) | 81 | 97.5 | 70 | 97 | 97 | 70 | | | 70 |
| | | | | | | | | | |

○事中評価

| 評価視点 | | | | | | | | | | | | 今後の方向性 | | | | | | |
|--|------|--|----|------|------|------|----|-----|------|------|----|-----------|------|----|---|----|------|----|
| 妥当性 | | | | 有効性 | | | | 効率性 | | | | 成果の方向性 | 拡充 | ④レ | ② | ① | | |
| 1 | ② | 3 | 4 | 1 | ② | 3 | 4 | 1 | 2 | ③ | 4 | | 現状維持 | ③ | ⑤ | | | |
| 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | | 縮小 | ⑥ | | | | |
| 総合評価判定 | | | | 総合評価 | | | | C | | | | | 休廃止 | ⑦ | | | | |
| A:計画どおりに事業を進めることが 適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討 | | | | | | | | | | | | 皆減 | | | | 縮小 | 現状維持 | 拡大 |
| | | | | | | | | | | | | コスト投入の方向性 | | | | | | |
| 当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等 | | ・イベント事業の内容や手法を研究し、より満足度の高い事業の実施と「人づくり」や市民活動団体等の育成に繋がる事業展開を行う必要がある。イベントの周知方法を年代毎に分析し、改善していく必要がある。 ・市民営提案事業は団体の育成や支援も視野に入れた事業として位置づけ実施していく。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新年度の予算要求事項(改革・改善案) | | ・市民営提案事業を進め、市が行うよりも効果の期待できる事業の採用実施を増やしていく。 ・施設使用者が増え、証明書交付件数等の業務が増加する中、窓口業務の正確な対応へ向けたスキル向上と丁寧な窓口サービスの研究・改善を行っていく。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1次評価コメント | | 協働を進展させるとともに、行政コストを縮減すること。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2次評価コメント | | - | | | | | | | | | | | | | | | | |

○事後評価

| 区分 | 年間(4月~3月) | | | | | | | | | | | |
|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 取組内容 | ビジネス支援や子育て支援・青少年交流など、人づくりにつながる多様な講座や講演会を実施し、5つの重点分野を融合した事業を30事業61回開催した。センターの貸館業務や証明書交付を行い、丁寧な窓口対応を心掛けた。 | | | | | | | | | | | |
| 成果 | パソコン基礎講座を含め、市民営提案事業や各種講座を開催し、幅広い事業展開により多くの来館者があった。講座や講演会を通じて様々な知恵の交流が生まれ、イベント参加者は延べ16,100人だった。講座・イベント等のアンケートによると「とても良い」「良い」の全体に占める割合は97%で目標値よりも高くなった。センターを様々な活動に活用してもらうための活動基盤提供事業を行い、貸館利用者は目標値70,000人を越える80,241人で、貸館使用率平均は79.4%だった。 | | | | | | | | | | | |
| 課題 | 利用者のニーズを把握し、より満足度の高い講座等を開催するとともに、人づくりや団体の育成につながる事業を実施する必要がある。また、施設利用について、より満足度の高い窓口対応をするため一人ひとり意識改革が必要であり、ホスピタリティ向上のため継続的な取り組みが必要。 | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-------|-----|----------------|----|----|----|-------|---------|------|
| 作成担当者 | 部課等 | 市民交流センター 交流支援課 | 職名 | 係長 | 氏名 | 宮原 孝明 | 連絡先(内線) | 4210 |
| 最終評価者 | 部課等 | 市民交流センター 交流支援課 | 職名 | 課長 | 氏名 | 小松 秀樹 | 連絡先(内線) | 4200 |

○教育委員会の評価等【Check】

| | |
|---------------------------|--|
| 教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等 | 市民交流センターを活動基盤拠点とし、市民ニーズに立ったビジネス支援や子育て支援、青少年交流など多くの事業を展開してきた。講座や講演会参加者の満足度が高かった。今後は、人づくりや団体育成につながるよう、さらに広くまた深く学ぶことのできる講座を開設することや、学びの成果を発表したり生かしたりするなど、集積した知を市民に広げていく取り組みが必要である。 |
|---------------------------|--|

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

| | |
|---------------------------|---|
| 学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等 | <p>○市民交流センターや市民活動団体等による豊かなイベントや企画等はこれまで通り、さらにはこれまで以上に実施して行って頂きたい。イベント参加者も多く、多くの市民の期待に応えていることが窺い知れる。</p> <p>○課題にも記されているように、利用される方々の多様なニーズを拾う最初の一步がいつでも重要だと思われる。ニーズに応えられている企画等は、仮に参加者が数名であっても、意味ある企画と言えよう。</p> <p>○市民営提案事業はまさに市民のニーズを反映したものであると思われるので、より一層の充実を図っていただきたい。</p> <p>○「市民活動支援」や、それと他の4分野との融合事業の展開によって、その後どのように人づくりや団体育成につながっていったのか中長期的な検証も必要と思われる。</p> <p>○ひとつづくりにどのくらい繋がっているのか検証が必要である。</p> <p>○目標時期の設定をするとともに、ひとつづくりや団体の育成を図る。</p> |
|---------------------------|---|

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

| | |
|---------------|--|
| 取り組む 改善内容等 | <p>○交流企画事業については、これからもアンケート調査や facebook、市民交流センター運営協議会等で意見を募り、多様なニーズを把握したうえで、五つの重点分野を融合した事業を企画していく。また、貸館業務も含め、人づくりのための場所と機会の提供に努める。なお、講座・イベントの是非は、参加人数の多寡で判断することなく、参加者の満足度や周囲への波及効果等を考慮し企画の評価を行う。</p> <p>○市民営提案事業については、現在実施している2事業を継続して実施していくとともに、市民営研究会委員の皆様と、より良い市民営の形を研究していく。</p> <p>○個々のイベントや講座が、人づくりや団体の育成につながるのか、短期的には検証が困難ではあるが、まちづくり団体の活動を支援、育成し、市民活動団体やNPO、ボランティア等様々な団体の事業展開やネットワークの広がりを見ていく中で、中長期的な検証を行っていく。</p> |
|---------------|--|

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|---|----|-------|--|-----------|---------|-------|--|--|----|--|
| 事務事業名 | 子育て支援センター事業 | | | | 担当課 | 子育て支援センター | | | | | | |
| 概要 | 対象: | 乳幼児を養育中の保護者及びそれを支える市民 | | | | 体系 | A-1-1-1 | | | | | |
| | 手段: | プレイルームでの遊びや交流の提供及び子育て相談の実施、おでかけ支援センター、子育てサークルや地域ボランティアの活動支援 | | | | 新/継 | 継続 | | | | | |
| | 意図: | 子育てサポート体制の充実 | | | | 区分 | ソフト | | | | | |
| 年度別事業内容 | 平成27年度(1年次) | | | | 平成28年度(2年次) | | | | 平成29年度(3年次) | | | |
| | ○子育て支援センターの利用拡大 ○父親の育児参加の推進 ○おでかけ支援センターの実施 ○地域ボランティアの育成及び活動支援 ○相談機能の強化 | | | | ○子育て支援センターの利用拡大 ○父親の育児参加の推進 ○おでかけ支援センターの実施 ○地域ボランティアの育成及び活動支援 ○相談機能の強化 | | | | ○子育て支援センターの利用拡大 ○父親の育児参加の推進 ○おでかけ支援センターの実施 ○地域ボランティアの育成及び活動支援 ○相談機能の強化 | | | |
| | 決算額 (千円) | | | | 決算額 (千円) | | | | 計画額 (千円) | | | |
| 財源 | 5,689 | | | | 5,478 | | | | 予算対応 | | | |
| | 特定 | 0 | 一般 | 5,689 | 特定 | 0 | 一般 | 5,478 | 特定 | | 一般 | |

○評価指標

| 評価指標 | H27 | | | H28 | | | H29 | | |
|---------------|---------------|---------------|--------|---------------|---------------|--------|---------------|---------------|--------|
| | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 |
| プレイルーム利用者数 | 12,706 | 25,467 | 25,000 | 15,302 | 30,172 | 25,000 | | | 25,000 |
| おでかけ支援センター開催数 | 15 | 29 | 30 | 22 | 40 | 42 | | | 42 |
| | | | | | | | | | |

○事中評価

| 評価視点 | | | | | | | | | | | | 今後の方向性 | | | | | |
|--|------|------|----|------|------|------|----|-----|------|------|----|---|------|---|---|----|---|
| 妥当性 | | | | 有効性 | | | | 効率性 | | | | 成果の方向性 | 拡充 | | ④ | ②レ | ① |
| 1 | 2 | 3 | ④ | 1 | 2 | ③ | 4 | 1 | ② | 3 | 4 | | 現状維持 | | ③ | ⑤ | |
| 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | | 縮小 | | ⑥ | | |
| 総合評価判定 | | | | 総合評価 | | | | B | | | | | 休廃止 | ⑦ | | | |
| A:計画どおりに事業を進めることが 適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討 | | | | | | | | | | | | コスト投入の方向性 | | | | | |
| 当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等 | | | | | | | | | | | | おでかけ支援センターはより多くの子育て親子が利用できるよう地域の実績に合わせて回数の調節や場所の検討を行う必要があるため、関係課と連携し、調整する必要がある。 子育て支援ネットワークにより、所管換えとなった妊婦教室を実施しているが、講座の回数を増やす等、保健師と保育士が連携し親育ての強化につながる内容を検討していく必要がある。 | | | | | |
| 新年度の予算要求事項(改革・改善案) | | | | | | | | | | | | 北部子育て支援センターの入館数が昨年度の同時期に比べ1.5倍となっており、光熱水費の増加が予想される。 子育て相談機能の強化に向け、保健師と連携を深め訪問支援を行い子育て親子の支援につなげる。 | | | | | |
| 第1次評価コメント | | | | | | | | | | | | 特になし | | | | | |
| 第2次評価コメント | | | | | | | | | | | | - | | | | | |

○事後評価

| 区分 | 年間(4月～3月) |
|------|--|
| 取組内容 | 子育て親子への遊びや場の提供、講座、講演や地域に出向いたおでかけ支援センターを実施、必要に応じ子育て情報の提供や育児相談等の育児支援を行うと共に支援センター利用の拡大を図った。 |
| 成果 | おでかけ支援センターではすくすく訪問等関係課と連携をとって実施したことで全市的に地域への入り込みが可能となりおでかけ支援センターの利用者が定着してきた。 |
| 課題 | 地区の役員との連携を強化して子育て親子への支援につながっていく。 おでかけ支援センターの利用者を拠点施設利用へとつなげ、子育て親子の交流を広げる。 |

| | | | | | | | | |
|-------|-----|--------------------|----|----|----|-------|---------|------|
| 作成担当者 | 部課等 | 市民交流センター 子育て支援センター | 職名 | 係長 | 氏名 | 清水 美津 | 連絡先(内線) | 5546 |
| 最終評価者 | 部課等 | 市民交流センター 子育て支援センター | 職名 | 所長 | 氏名 | 赤津 広子 | 連絡先(内線) | 4122 |

○教育委員会の評価等【Check】

| | |
|---------------------------|--|
| 教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等 | 子育て支援センターや、おでかけ支援センターでの遊びや交流、子育て相談などを利用する親子などの数が増えていて、ニーズの高さがうかがえる。今後は孤立しがちな親子やストレスを抱えがちな親子、さらには産じょく期の母子などへの訪問支援を通じた相談を継続し、拠点施設利用へと結び付けること、また、子育てに関わる父親や祖父母などが気楽に参加できる事業を企画することが必要である。 |
|---------------------------|--|

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

| | |
|---------------------------|---|
| 学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等 | <p>○プレイルーム利用者数やおでかけ支援センターの開催数は、前年度比でかなり増加しているようである。それだけ本事業は期待され、その期待に応えてきた成果だと思う。ただ、その分余計に心配なのは、この受け入れの劇的増加にどう応えていくのかその対応を入念に練られているかどうか。コストを拡大してでも受け入れ人数の爆発的な増加に耐えられるだけの策を練っておく必要がある。</p> <p>○拠点型である子育て支援センターと訪問型である子育て支援センターの両輪での事業展開に引き続き期待したい。また、相談機能の強化に向けて、多職種（保健師、社会福祉士、栄養士等）との連携を一層深めていただきたい。</p> <p>○ファミサポにおける依頼会員と提供会員のバランスが取れていないため、事業のさらなる周知と提供会員の発掘・育成が必要である。</p> <p>○多くの事業を実施しているが、事業効果の面から検証し、事業の厳選が可能か検討する。</p> <p>○他の部署との連携による事業は、評価できるので、更なる連携を模索する。</p> <p>○どこまで行政がするのか、行政の関わりを明確にしておくも必要である。 （ボランティアをお願いすることやサークルのつながりに期待することもあると思う）</p> |
|---------------------------|---|

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

| | |
|---------------|---|
| 取り組む 改善内容等 | <p>○「おでかけ支援センター」の活動が全地区で実施できたことで、利用者に身近に感じてもらえることができた。今後は他の部署（こども課、公民館、社協等）で実施している事業と対象者、内容が重複しないよう調整が必要となる。</p> <p>○地域の子育て支援者（民生児童委員等）に情報提供し、連携しながら、地域の気付きな親子への支援を早期に始められるよう、関係課とも連携できる体制づくりを検討していきたい。</p> |
|---------------|---|

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|---|----|-------|---|-----|----------|-------|---|--|----|--|
| 事務事業名 | 本の寺子屋推進事業 | | | | 担当課 | 図書館 | | | | | | |
| 概要 | 対象: | 市民全体、企業、各種団体、市外からの来館者 | | | | 体系 | D-10-3-1 | | | | | |
| | 手段: | 市民の読書環境の整備、生涯読書の推進という課題があるので、本に関わる人や企業と市民をつなぎ、地域の読書環境を整備し、交流を生み出す機会を提供する。 | | | | 新/継 | 継続 | | | | | |
| | 意図: | 本に関わる人や企業をつなぎ、市民の読書環境の充実と読書の推進を図り、文字活字の振興による交流を生み出す。 | | | | 区分 | ソフト | | | | | |
| 年度別事業内容 | 平成27年度(1年次) | | | | 平成28年度(2年次) | | | | 平成29年度(3年次) | | | |
| | ○本の可能性を考える講演、講座、ワークショップの開催 ○本を仲立ちとして書店、出版、市民との事業連携 | | | | ○本の可能性を考える講演、講座、ワークショップの開催 ○本を仲立ちとして書店、出版、市民との事業連携 | | | | ○本の可能性を考える講演、講座、ワークショップの開催 ○本を仲立ちとして書店、出版、市民との事業連携 | | | |
| 財源 | 決算額 (千円) 2,400 | | | | 決算額 (千円) 2,797 | | | | 計画額 (千円) 予算対応 | | | |
| | 特定 | 730 | 一般 | 1,670 | 特定 | 720 | 一般 | 2,077 | 特定 | | 一般 | |

○評価指標

| 評価指標 | H27 | | | H28 | | | H29 | | |
|------------|---------------|---------------|-----|---------------|---------------|-----|---------------|---------------|-----|
| | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 | 中間値 (事中評価) | 実績値 (事後評価) | 目標値 |
| 講座・講演会の開催数 | 14 | 17 | 12 | 9 | 14 | 12 | | | 12 |
| 企画展等の開催数 | 3 | 6 | 4 | 3 | 5 | 4 | | | 4 |
| | | | | | | | | | |

○事中評価

| 評価視点 | | | | | | | | | | | | 今後の方向性 | | | | |
|--|------|------|----|------|------|------|----|-----|------|------|----|---|----|------|----|--|
| 妥当性 | | | | 有効性 | | | | 効率性 | | | | 成果の方向性 | ④ | ② | ① | |
| 1 | 2 | ③ | 4 | 1 | ② | 3 | 4 | 1 | 2 | ③ | 4 | | | | | |
| 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | 低い | やや低い | やや高い | 高い | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総合評価判定 | | | | 総合評価 | | | | C | | | | | ⑦ | | | |
| A:計画どおりに事業を進めることが 適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討 | | | | | | | | | | | | 皆減 | 縮小 | 現状維持 | 拡大 | |
| | | | | | | | | | | | | コスト投入の方向性 | | | | |
| 当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等 | | | | | | | | | | | | 事業開始から5年目を迎え、この事業を当市の特色と位置づけ、事業内容を書籍化した「本の寺子屋が地方を創る」を出版し、塩尻市の取り組みを全国にPRを行った。子どもを対象とした「子ども本の寺子屋」を昨年からは開講し、参加者も増えており、子育てや学習の機会の充実を図っている。本事業を塩尻市の特色ある事業として、さらに定着させるため、内容の拡充に向けて引き続き検討が必要である。 | | | | |
| 新年度の予算要求事項(改革・改善案) | | | | | | | | | | | | 著者、出版業界、書店や庁内とのネットワークを強化し、新しい分野・内容の講師により企画の充実を図るため、新年度の予算を引き続き計上する必要がある。 | | | | |
| 第1次評価コメント | | | | | | | | | | | | 特になし | | | | |
| 第2次評価コメント | | | | | | | | | | | | - | | | | |

○事後評価

| 区分 | 年間(4月~3月) |
|------|--|
| 取組内容 | 作家、出版社、書店等と連携して、本の魅力を伝える講演会や講座を開催した。本の可能性を子どもたちと考える「子ども本の寺子屋」を開催し、講座や展示を行った。「信州おじり本の寺子屋」の取組を著した書籍が出版され、事業を広く周知する機会となった。 |
| 成果 | 出版社、書店と連携し、本の可能性を考え、市民の生涯学習推進を図った。本への興味や図書館の仕事に対する理解を深めた子どもたちが、本の魅力を広めてくれることが期待できる。本の寺子屋の取組を全国に向けて発信し、図書館のブランド力を高めた。講座の開催により、職員のスキルアップや図書館運営に対する市民の理解を進めた。 |
| 課題 | 出版社や書店との連携を更に強化しながら、魅力ある講座を開催していくことが必要。地域文化に光をあてた講演会や企画展示により、郷土の魅力を発信し、郷土資料の収集と活用につなげていくことが必要。 |

| | | | | | | | | |
|-------|-----|-------------|----|-----|----|-------|---------|------|
| 作成担当者 | 部課等 | 市民交流センター図書館 | 職名 | 主事 | 氏名 | 中澤 友義 | 連絡先(内線) | 4243 |
| 最終評価者 | 部課等 | 市民交流センター図書館 | 職名 | 副館長 | 氏名 | 上條 史生 | 連絡先(内線) | 4241 |

○教育委員会の評価等【Check】

| | |
|---------------------------|--|
| 教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等 | <p>「本の寺子屋」、「子ども本の寺子屋」事業が塩尻市立図書館の特色の一つとして各方面に認知され、ブランド力が向上した。また、回を重ねるごとに本の可能性についての認知が広がり、市民の生涯読書に結びついてきている。本寺子屋は、書籍を通して講師の持つ人間的な魅力に出会うことが楽しみの一つとなっているので、講座の分野や内容と共に講師の選定に配慮していくことが必要である。</p> <p>また、各地区館においても、各地区の特性や特色を活かした「本の寺子屋」の開設を望まれる。</p> |
|---------------------------|--|

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

| | |
|---------------------------|---|
| 学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等 | <p>○本の魅力を人々に伝える企画や講演等は、従来通り、多くそして広く開講されていくことを期待する。(ただコスト投入の方向性が縮小なのはなぜなのか?) 課題にも記されているように、本は本だけで成り立っているものではなく、出版、流通、書店そろって本は存在しているので、本だけの企画ももちろん良いが、出版社に焦点をあてた企画や書店と連携した企画など、本の“周辺”に関する企画も忘れずに実施して頂きたい。</p> <p>課題では、その点を強化と書かれているが、強化するとはどのように行うのが気になる。本だけに留まらない出版文化・本文化が塩尻市に根付いていくことを期待する。</p> <p>○本事業は、塩尻市の特色ある取り組みとして継続的な展開・拡充を期待したい。一方で、さまざまな企画・展示等において、塩尻市や信州といった地元に向けたもの開催や、そこにおいて、本事業の意図の一つでもある交流の創出に向けた取り組みの工夫が求められる。</p> <p>○本市の特徴ある事業であるが、例年と同様な効果のみで良いのか検証をする。今後のこの事業のあり方を考える時期でもある。</p> <p>○全国的な情報を吸収するとともに、地元の偉人にも光を当てることが重要である。</p> <p>○足元を固めるとともに、不断の見直しにより事業のレベルアップを図ること。</p> |
|---------------------------|---|

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

| | |
|---------------|---|
| 取り組む 改善内容等 | <p>○本と出版に関係する様々なテーマを設定し多彩な講師陣による講演会に加え、新たに地域文化サロンを企画したところ、市内を中心に新たな参加者を得ることができた。映画館との共同企画も注目を集めている。地域文化サロンについては、今後の柱の一つとして位置付け、司書の地域資料への理解を促しレファレンス能力を高める点にも留意しながら、テーマ設定を深めていきたい。</p> <p>○独創的な事業として内外から注目が集まっている。本年度は、韓国出版文化財団が視察に訪れ、両国の出版文化に関する意見交換が行われ、信濃毎日新聞社説に取り上げられるなど広がりを見せている。塩尻市立図書館のブランドとして期待に応えられるような展開を図っていきたい。</p> <p>○子どもの読書推進にあたっては、家庭での読書のあり方が重要である。子育て世代に向けたテーマ設定にも留意し、子ども本の寺子屋の成果をさらに高めたい。</p> <p>○地域文化をテーマにした各分館の特色づくりにも取り組み、本の寺子屋の成果の裾野を広げていきたい。</p> |
|---------------|---|

塩尻市教育振興基本計画成果指標

| 基本目標 | 施策 | 指標名 | 対象者 | 現状値 (計画前) | 時点 (年度) | 近年の 傾向 | H27 | H28 | 比較 | 目指す 方向 | 目標値 | | 標準値(計画時) | 情報源 | 周期 | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------|--------------------|--|-----------------------------|--------------|-----------|--------------------|--------|----------------------|--------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|------------------|-------------|-------------|-------------|----|
| | | | | | | | | | | | H29 | | | | | | | |
| 社会を生き抜く力の養成 | 【知】 1 確かな知識とそれを活用する知恵の育成 | 知識となる基礎学力の定着や技能の習得 | 授業以外(月～金)の1日当たりの学習時間が少ない児童・生徒の割合 (小6…1時間未満) (中3…2時間未満) | 小6 | 36.0% | H26 | ↗ | 32.7% | 35.5% | 県 41.5% 国 37.3% | ↘ | 国・県より低割合を維持しつつ、更に前年度よりも減少することを目標とする。 | 37.9% | 全国学力・学習状況調査 | 1年 | | | |
| | | | 中3 | 70.9% | H26 | ↗ | 65.5% | 72.9% | 県 71.6% 国 65.8% | ↘ | 前年度よりも低割合を目指し、国・県の割合より低割合を目標とする。 | 64.8% | | | | | | |
| | | | 小6 | 85.4% | H26 | ↘ | 79.8% | 85.2% | 県 81.2% 国 80.7% | ↗ | 国・県より高割合を維持しつつ、更に前年度よりも高割合を目標とする。 | 80.1% | | | | | | |
| | | | 中3 | 77.2% | H26 | → | 75.1% | 72.6% | 県 74.1% 国 74.1% | ↗ | 国・県より高割合を維持しつつ、更に前年度よりも高割合を目標とする。 | 72.0% | | | | | | |
| | | | 小6 | 86.4% | H26 | ↘ | 84.9% | 87.8% | 県 80.4% 国 80.2% | ↗ | 国・県より高割合を維持しつつ、更に前年度よりも高割合を目標とする。 | 79.6% | | | | | | |
| | | | 中3 | 70.4% | H26 | → | 70.9% | 68.0% | 県 69.4% 国 69.4% | ↗ | 前年度よりも高割合を目指し、国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 71.5% | | | | | | |
| | 【知】 2 知識を活用する知恵の習得 | 知識を活用する知恵の習得 | 「総合的な学習の時間」に主体的に取り組む児童・生徒の割合 | 小6 | 60.6% | H26 | → | 62.3% | 63.2% | 県 57.6% 国 65.4% | ↗ | 前年度よりも高割合を目指し、国・県よりも高割合を目標とする。 | 63.8% | 全国割合 | 全国学力・学習状況調査 | 1年 | | |
| | | | | 中3 | 46.0% | H26 | → | 49.5% | 48.0% | 県 47.4% 国 57.7% | ↗ | 前年度よりも高割合を目指し、国・県よりも高割合を目標とする。 | 54.8% | 全国割合 | 全国学力・学習状況調査 | 1年 | | |
| | 【徳】 2 豊かで思いやりのある心の育成 | 1 一人ひとりの豊かな心の育成 | 将来の夢・目標を持っている児童・生徒の割合 | 小6 | 88.2% | H26 | ↘ | 86.8% | 86.6% | 県 85.4% 国 85.3% | ↗ | 現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 86.7% | 全国割合 | 全国学力・学習状況調査 | 1年 | | |
| | | | | 中3 | 75.0% | H26 | → | 73.7% | 69.3% | 県 72.0% 国 71.1% | ↗ | 国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 71.4% | | | | | |
| | | | | 小6 | 95.0% | H26 | → | 93.1% | 95.3% | 県 93.4% 国 93.8% | ↗ | 現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 94.0% | | | | | |
| | | | | 中3 | 95.0% | H26 | ↘ | 95.7% | 93.3% | 県 93.7% 国 92.8% | ↗ | 現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 94.0% | | | | | |
| | | 2 社会や地域に親しむ心の育成 | 地域行事の参加割合 | 小6 | 91.6% | H26 | → | 90.2% | 91.0% | 県 89.8% 国 67.9% | ↗ | 現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 89.9% | 県割合 | 全国学力・学習状況調査 | 1年 | | |
| | | | | 中3 | 68.1% | H26 | → | 71.7% | 70.4% | 県 64.5% 国 45.2% | ↗ | 国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 63.7% | 全国割合 | | | | |
| | | | 学校の規則を守っている児童・生徒の割合 | 小6 | 94.2% | H26 | → | 91.4% | 93.6% | 県 91.6% 国 91.5% | ↗ | 現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 90.5% | 全国割合 | 全国学力・学習状況調査 | 1年 | | |
| | | | | 中3 | 93.2% | H26 | → | 95.9% | 97.4% | 県 95.5% 国 94.7% | ↗ | 現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 93.0% | | | | | |
| | 【体】 3 健やかな体の育成と規則正しい生活習慣の定着 | 1 規則正しい生活習慣の定着 | 規則正しい生活習慣の定着 | 規則正しい生活状況(同じ時刻に起きる児童・生徒の割合) | 小6 | 94.4% | H26 | → | 93.1% | 94.1% | 県 92.5% 国 90.8% | ↗ | 現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 92.9% | 県割合 | 全国学力・学習状況調査 | 1年 | |
| | | | | 中3 | 95.0% | H26 | → | 90.9% | 92.8% | 県 92.6% 国 92.3% | ↗ | 現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 93.2% | | | | | |
| 規則正しい生活状況(同じ時刻に寝ている児童・生徒の割合) | | | | 小6 | 86.5% | H26 | ↗ | 83.9% | 86.3% | 県 82.7% 国 80.1% | ↗ | 国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 82.4% | | | | | |
| 中3 | | | | 79.6% | H26 | → | 75.5% | 74.5% | 県 76.3% 国 75.2% | ↗ | 国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 74.8% | | | | | | |
| 授業以外(月～金)の1日当たりの読書時間が30分以上の児童・生徒の割合 | | | | 小6 | 44.5% | H26 | ↘ | 42.4% | 36.9% | 県 37.1% 国 36.5% | ↗ | 国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 38.2% | 全国割合 | | | | |
| 中3 | | | | 38.7% | H26 | ↘ | 38.0% | 31.5% | 県 30.8% 国 28.2% | ↗ | 国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 31.4% | | | | | | |
| 2 正しい食習慣の定着 | | 正しい食習慣の定着 | 朝食を毎日食べる児童・生徒の割合 | 小学校 | 77.8冊 | H25 | - | 77.9冊 | 77.4冊 | 前年 | ↗ | 前年度よりも多い冊数を目標とする。 | | 市教委調査 | 1年 | | | |
| | | | | 中学校 | 19.2冊 | H25 | - | 22.3冊 | 22.0冊 | 前年 | ↗ | 前年度よりも多い冊数を目標とする。 | | | | | | |
| | | | | 小6 | 98.3% | H26 | → | 98.3% | 97.5% | 県 96.7% 国 95.5% | ↗ | 現状の高割合を維持しつつ、前年度よりも高割合を目標とする。 | 96.0% | | | 全国割合 | 全国学力・学習状況調査 | 1年 |
| | | | | 中3 | 95.1% | H26 | → | 95.4% | 95.7% | 県 94.8% 国 93.3% | ↗ | 現状の高割合を維持しつつ、前年度よりも高割合を目標とする。 | 93.5% | | | 全国割合 | 全国学力・学習状況調査 | 1年 |
| | | | | 小学生 | 55.7% | H26 | - | 56.3% | 53.4% | 前年 | ↗ | 前年度よりも高割合を目標とする。 | | | | 市教委調査 | | |
| | | | | 中学生 | 46.1% | H26 | - | 45.3% | 43.3% | 前年 | ↗ | 前年度よりも高割合を目標とする。 | | | | | | |
| 3 運動に親しみ、健康な体をつくる習慣の定着 | 運動に親しみ、健康な体をつくる習慣の定着 | 体力の合計点 | 小5男 | 55.42点 | H25 | → | 54.91点 | 53.20点 | 県 54.20点 国 53.92点 | ↗ | 国・県の割合よりも高得点を目標とする。 | 53.87点 | 全国平均 | 全国体力・運動能力、運動習慣調査 | 1年 | | | |
| | | | 小5女 | 54.40点 | H25 | ↗ | 57.00点 | 53.89点 | 県 55.29点 国 55.54点 | ↗ | 国・県の割合よりも高得点を目標とする。 | 54.70点 | | | | | | |
| | | | 中2男 | 44.99点 | H25 | → | 44.62点 | 43.82点 | 県 42.39点 国 42.13点 | ↗ | 国・県の割合よりも高得点を目標とする。 | 41.78点 | | | | | | |
| | | | 中2女 | 47.73点 | H25 | ↗ | 47.92点 | 51.57点 | 県 48.65点 国 49.56点 | ↗ | 国・県の割合よりも高得点を目標とする。 | 48.42点 | | | | | | |
| | | | 小5男 | 60.1% | H25 | - | | | | ↗ | 70% | 59.2% | | | | | | |
| | | | 小5女 | 34.7% | H25 | - | | | | ↗ | 40% | 33.5% | | | | | | |
| | | | 中2男 | 85.9% | H25 | - | | | | ↗ | 90% | 83.8% | | | | | | |
| | | | 中2女 | 50.4% | H25 | - | | | | ↗ | 60% | 59.9% | | | | | | |
| | | | 小5男 | 72.0% | H25 | ↘ | H26 72.2% | 74.0% | 県 75.2% 国 73.0% | ↗ | 国・県の割合よりも高得点を目標とする。 | 69.9% | | | | | | |
| | | | 小5女 | 49.4% | H25 | ↘ | H26 53.5% | 47.8% | 県 57.6% 国 56.7% | ↗ | 国・県の割合よりも高得点を目標とする。 | 50.3% | | | | | | |
| 運動が好きと思っている児童・生徒の割合 【上記の代わりに指標】 | 中2男 | 60.4% | H25 | → | H26 70.4% | 61.1% | 県 68.2% 国 63.6% | ↗ | 国・県の割合よりも高得点を目標とする。 | 58.7% | | | | | | | | |
| | 中2女 | 37.9% | H25 | ↗ | 47.0% | 44.6% | 県 44.9% 国 46.9% | ↗ | 国・県の割合よりも高得点を目標とする。 | 41.1% | | | | | | | | |

| 基本目標 | 施策 | 指標名 | 対象者 | 現状値 (計画前) | 時点 (年度) | 近年の 傾向 | H27 | H28 | 比較 | 目指す 方向 | 目標値 | | 標準値(計画時) | 情報源 | 周期 | |
|--------------------|-----------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|------------|-----------|--------------------------|--------------------------|--------------------|--------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|-------|---------------|----|
| | | | | | | | | | | | H29 | | | | | |
| きめ細かで特色ある教育環境の整備 | 4 きめ細かな支援による教育の平等な提供 | 1 一人ひとりに対するきめ細かな指導の推進 | 学校に行くのは楽しいと思う児童・生徒の割合 | 小6 | 87.1% | H26 | ↘ | 86.3% | 88.8% | 県 85.7% 国 86.3% | ↗ | 前年度よりも高割合を目指し、国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 86.6% | 全国平均 | 全国学力・学習状況調査 | 1年 |
| | | | 中3 | 80.1% | H26 | → | 80.7% | 82.3% | 県 82.5% 国 81.4% | ↗ | 前年度よりも高割合を目指し、国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 82.4% | | | | |
| | | | 自分には良いところがあると思う児童・生徒の割合 | 小6 | 80.5% | H26 | → | 75.8% | 80.7% | 県 76.8% 国 76.3% | ↗ | 前年度よりも高割合を目指し、国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 76.1% | | | |
| | | | 中3 | 69.3% | H26 | ↗ | 68.9% | 71.5% | 県 70.7% 国 69.3% | ↗ | 前年度よりも高割合を目指し、国・県の割合よりも高割合を目標とする。 | 67.1% | | | | |
| | | 市内在住の年中児のうち元気っ子応援事業を受けた子どもの割合 | 年中児 | 88.7% | H25 | - | 96.6% | 97.5% | 前年 | ↗ | 90% | - | 市教委調査 | 1年 | | |
| | | 2 支援が必要な子どもに対する教育の充実 | 学校生活不満足群の割合 | 中1 | 12% | H26 | ↘ | 17% | ① 12% ② 19% | 全国平均 25% | ↘ | 前年度よりも低割合を目標とする。 | 31% | 全国平均 | 市教委(Q-Uアンケート) | 1年 |
| | | 3 教育の経済的負担の軽減 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 5 学校・家庭・地域が一体となった教育体制の整備 | 1 学校の運営体制の向上と機能強化 | 職員研修の実績(参加者の延べ件数) | 学校教職員 | - | - | - | 10講座 418人 | 8講座 377人 | 前年 | ↗ | 前年度を下回らないことを目標とする。 | | | 市教委調査 | 1年 |
| | | | 幼保小中連携の交流回数 | 幼稚園、保育園、小学校 | - | - | - | こども126回 教職員36回 | こども141回 教職員53回 | 前年 | ↗ | 前年度よりも増加することを目標とする。 | | | | |
| | | 2 地域の教育力の活用 | 学校と家庭、地域による学校運営制度の実施割合 | 学校 | 0校 | H26 | - | 全校 | 全校 | 前年 | ↗ | 100% | 参考 コミュニティ・スクール実施校 H26.4.1現在全国(小学校1,240校、中学校565校) | | 市教委調査 | 1年 |
| | | | 教育活動における地域人材活用の事案数(学校支援ボランティアの登録者数) | 学校 | - | - | - | 777人 | 940人 | 前年 | ↗ | 前年度よりも増加することを目標とする。 | | | | |
| | 6 充実した教育を受けられる環境の整備 | 1 学校教育施設の整備 | 大規模改修件数 | 学校 | 4校 | H25 | - | - | 5校 | - | | 計画の目標件数の達成 | | | 市教委調査 | 1年 |
| | | | 耐震化改修施設数 | 学校 | 3校 | H25 | - | - | 15校 (非構造部材) | - | | 計画の目標件数の達成 | | | | |
| | | | 学校図書の整備率(標準を下回る学校) | 学校図書館 | 小1校 中4校 | H25 | - | 小0校 中3校 | 小1校 中4校 | 前年 | ↘ | 学校図書館図書標準に定められた割合をすべての学校が上回る | | | | |
| | | 2 学校外の教育環境の整備 | 安心して子どもを預けられる環境があると感じる人の比率 | 全市民 | 37.3% | H26 | - | 33.5% | 39.4% | 前年 | ↗ | 前年度よりも増加することを目標とする。 | | | 市民意識調査 | 1年 |
| 公民館事業の子どもの参加者数 | | | 児童・生徒 | - | - | - | 38講座 2,614人 | 49講座 3,112人 | 前年 | ↗ | 前年度よりも増加することを目標とする。 | | | 市教委調査 | 1年 | |
| 3 安全・安心な教育環境の整備 | | 通学路の安全点検と対策実施箇所(事案数と改善数) | 点検箇所 | 点検箇所 52 対策実施 26 | H25 | - | 点検箇所 44 対策実施 31 | 点検箇所 36 対策実施 25 | 前年 | ↘ | 積み残し件数の減少 | 0件 | | 市教委調査 | 1年 | |

元気っ子育成支援プランⅡ 評価指標 調査票

○子育て体験講座へのパパの参加数(延べ人数)

担当課:健康づくり課 計画:31頁

目標値

目標値

| 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成31年度 | 単位 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| 91 | 73 | 67 | 96 | 101 | 100 | 98 | 110 | 人 |

| 平成31年度 |
|--------|
| 110 |

○安心して子どもを預けられる環境があると感じる市民の割合

担当課:市民意識調査 計画:33頁

目標値

目標値

| 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成31年度 | 単位 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| 37.8 | 42.5 | 41.3 | 39.3 | 39.4 | 36.9 | 39.4 | 43 | % |

| 平成31年度 |
|--------|
| 今後検証 |

※市民意識調査については、現在、平成29年の調査をしている最中です。その結果を踏まえて平成31年度の値の検証をします。

○子育ての不安や悩みなどを解消するためのサポートがなされていると感じる市民の割合

担当課:市民意識調査 計画:39頁

目標値

目標値

| 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成31年度 | 単位 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| 33.5 | 40.4 | 36.8 | 34.7 | 34.9 | 34.0 | 35.4 | 38 | % |

| 平成31年度 |
|--------|
| 今後検証 |

○市内在住の年中児のうち元気っ子応援事業を受けた子どもの割合

担当課:家庭支援課 計画:41頁

目標値

目標値

| 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成31年度 | 単位 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| 87.4 | 90.5 | 87.5 | 88.7 | 92.9 | 96.6 | 97.9 | 92 | % |

| 平成31年度 |
|--------|
| 99 |

○社員の子育て応援宣言市内登録企業数

担当課:産業政策課 計画:45頁

目標値

目標値

| 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成31年度 | 単位 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| — | — | — | — | 20 | 28 | 43 | 60 | 社 |

| 平成31年度 |
|--------|
| 60 |

※値の変更なし

○仕事と生活とのバランスに満足している市民の割合

担当課:市民意識調査 計画:45頁

目標値

目標値

| 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成31年度 | 単位 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| — | — | — | — | 45.2 | 32.7 | 35.1 | 56.3 | % |

| 平成31年度 |
|--------|
| 今後検証 |

○市内のながの子育て家庭優待パスポート事業参加事業者数

担当課:こども課 計画:48頁

目標値

目標値

| 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成31年度 | 単位 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| 102 | 104 | 108 | 114 | 116 | 128 | 135 | 120 | 社 |

| 平成31年度 |
|--------|
| 150 |

○離乳食教室参加者数

担当課:健康づくり課 計画:49頁

目標値 -----> 目標値

| 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成31年度 | 単位 | 平成31年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|--------|
| 177 | 181 | 179 | 190 | 193 | 191 | 197 | 220 | 人 | 190 |

○家族と一緒に食事をとる人の割合(幼児)

担当課:健康づくり課 計画:49頁

目標値 -----> 目標値

| 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成31年度 | 単位 | 平成31年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|--------|
| - | - | - | - | 73 | 83 | 77.0 | 80.0 | % | 90 |

○20歳～49歳の社会増加数

担当課:企画課 計画:54頁

目標値

目標値

| 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成31年度 | 単位 | 平成31年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|--------|
| 55 | △ 18 | 98 | △ 33 | △ 18 | 163 | 129 | 0 | 人 | 0 |

※値の変更なし

○各種定期予防接種の接種済率の平均値

担当課:健康づくり課 計画:57頁

目標値 -----> 目標値

| 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成31年度 | 単位 | 平成31年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|--------|
| - | - | - | 89 | 85 | 89 | 91.0 | 92.0 | % | 90 |

○備蓄倉庫への紙おむつの備蓄数

担当課:消防防災課 計画:60頁

目標値 -----> 目標値

| 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成31年度 | 単位 | 平成31年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|--------|
| - | - | - | - | - | 0 | 3,200 | 1,600 | 枚 | 4,640 |

○塩尻は「子育てしやすいまち」と思う市民の割合

担当課:市民意識調査 計画:84頁

目標値

目標値

| 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成31年度 | 単位 | 平成31年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|--------|
| - | - | - | 51.2 | 58.1 | 55.4 | 59.8 | % | 59.8 |

※基本的に変更する予定はないとのことです。

○合計特殊出生率(塩尻市)

担当課:健康づくり課 計画:84頁

目標値

目標値

| 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成31年度 | 単位 | 平成31年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|--------|
| 1.42 | 1.41 | 1.48 | 1.65 | 1.57 | 1.53 | | 1.58 | % | 1.58 |

平成22年度～平成24年度の値は、計画の7頁から転記。

塩尻市生涯学習推進プランⅢ 指標一覧

| 指標 | 現状値／年度 | | 平成27年度 | 平成28年度 |
|--------------------------------|----------------|-----|------------|------------|
| | | | | |
| 総合文化センター利用者数 | 91,783人 | H25 | 94,154人 | 94,658人 |
| 総合文化センターの利用者の満足度 | 80%以上 | H24 | - | - |
| 5つの重点分野をテーマとした事業の開催数 | 287 | H25 | 29 | 30 |
| 5つの重点分野をテーマとした事業の参加者数 | 13,607 | H25 | 14,419 | 16,179 |
| 地区公民館・分館における各種講座等の開催数 | 971 | H25 | 599 | 773 |
| 地区公民館・分館における各種講座等の参加者数 | 17,543人 | H25 | 17,071人 | 16,798 |
| ふれあいプラザにおける各種講座等の開催数・参加者数 | 14回・200人 | H26 | 4回 101人 | 8回 113人 |
| 講座受講者の満足度 | - | - | 89.8点 | 90.1点 |
| 未指定等文化財の実態把握実施件数 | 0 | H26 | 2 | 2 |
| 自然博物館 | 7,766人 | H25 | 8,417人 | 6,530人 |
| 中村邸 | 16,082人 | H25 | 12,221人 | 10,977人 |
| 木曾漆器館 | 3,332人 | H25 | 2,464人 | 3,007人 |
| 贄川関所・木曾考古館 | 1,841人 | H25 | 1,608人 | 1,514人 |
| 平出博物館等 | 5,543人 | H25 | 4,299人 | 4,930人 |
| 本洗馬歴史の里資料館 | 928人 | H25 | 1,605人 | 2,014人 |
| 塩嶺体験学習の家、柏茂会館の利用者数 | 2,509人 | H26 | 1,896人 | 2,425人 |
| 整備された公園設備等→スポーツ施設利用者 | 475,861人 | H25 | 538,716人 | 502,335人 |
| 誰でもスポーツに取り組める環境がある | 46.2% | H26 | - | 36.8% |
| 学校開放講座等の実施件数 | 34件 | H26 | 42 | 44 |
| 新たに生涯学習施設として利用できるようになった施設 | 0 | H26 | 0 | 0 |
| 市民1,000人あたりのファミリーサポートセンター登録者数 | 4.74 | H25 | 3.74 | 5.63 |
| 子育てに必要な情報を得たり相談したりすることができる | 41.5% | H25 | 39.9% | 40.5% |
| 子育ての不安や悩みなどを解消するためのサポートがなされている | 34.7% | H25 | 34.0% | 35.4% |
| 学校図書の一冊あたりの貸し出し冊数 | 57.1冊 | H25 | 58.5冊 | 57.7冊 |
| 勤労青少年ホーム登録者数 | 登録者数 43人 | H26 | 43 | - |
| | 講座参加者数 820人 | H25 | 1,415 | - |
| 熟年者を対象とした講座の実施回数 | 122 | H25 | 120 | 159 |
| 塩尻ロマン大学・大学院の講座数・参加者数 | 大学講座数 52 | H25 | 50 | 50 |
| | 大学参加者数 146人 | H25 | 115 | 101 |
| | 大学院講座数 126 | H25 | 168 | 84 |
| | 大学院参加者数 89人 | H25 | 75 | 42 |

| 指標 | 現状値／年度 | | 平成27年度 | 平成28年度 |
|----------------------------|----------|-----|----------|----------|
| | | | | |
| スポーツ施設利用者数 | 475,861人 | H25 | 538,716人 | 502,335人 |
| 特定健診受診率 | 41.8% | H25 | 42.1 | 42.3 |
| 週2回以上1回30分以上の運動習慣がある人の割合 | 38.7% | H25 | 35 | 34.2 |
| 生活習慣を改善してみようと思う人の割合 | 27.5% | H25 | 62.1 | 63.3 |
| 市主催芸術文化事業への来場者数 | 20,629人 | H26 | 8,690人 | 7800人 |
| 社会教育指導員の活動日数 | 180日 | H26 | 180日 | 180日 |
| 総合文化センター登録団体数 | 231 | H26 | 258 | 253 |
| 地域スポーツ団体数 | 2 | H26 | 3 | 3 |
| 総合文化センター利用団体数 | 7,928人 | H25 | 7,424 | 7118 |
| 生涯学習講師の年間活動件数(個人・団体) | 個人 | 114 | H24 | - |
| | 団体 | 4 | H24 | - |
| 市主催の芸術・文化事業の展示・発表団体数 | 126 | H26 | 232 | 163 |
| 特定健診受診率(再掲) | 41.8% | H25 | 42.1 | 42.3 |
| 互いに支え合い、助け合う人間関係が地域に築かれている | 51.3% | H26 | 38.8% | 37.7% |
| 市民が中心となったまちづくり活動が活発に行われている | 35.1% | H26 | 31.8% | 29.9% |
| 地域活性化支援事業交付金を活用した事業の参加者数 | 305 | H25 | 351 | 2209 |

スポーツ推進計画の指標及び推進状況

基本目標1 子どものスポーツ機会の充実

| 指標 | 基準値 (H25) | 目標値 (H35) | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29実績 | H30実績 | H31実績 | H32実績 | H33実績 | H34実績 | H35実績 | スポーツ事務局に 確認した人数 |
|--------------|--------------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------------|
| スポーツ少年団登録団員数 | 570人 | 570人 | 576人 | 498人 | 511人 | | | | | | | | |

基本目標2 ライフスタイル・ステージに応じたスポーツ活動の推進

| 指標 | 基準値 (H24) | 目標値 (H35) | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29実績 | H30実績 | H31実績 | H32実績 | H33実績 | H34実績 | H35実績 | 企画課が実施す る市民アンケート 結果 |
|------------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------|
| 週1回以上スポーツに親しむ 成人の割合 | 35.40% | 50.00% | 31.10% | 28.60% | 30.10% | | | | | | | | |

| 指標 | 基準値 (H26) | 目標値 (H35) | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29実績 | H30実績 | H31実績 | H32実績 | H33実績 | H34実績 | H35実績 | 企画課が実施す る市民アンケート 結果 |
|--|--------------|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------|
| 子どもから高齢者まで誰でも スポーツに取り組める環境が あると感じる人の割合 | 46.20% | 50.00% | 46.20% | 39.20% | 36.80% | | | | | | | | |

基本目標3 スポーツを通じた地域づくり

| 指標 | 基準値 (H26) | 目標値 (H35) | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29実績 | H30実績 | H31実績 | H32実績 | H33実績 | H34実績 | H35実績 | 北小野、高出が 設立済み |
|-----------------------|--------------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------|
| 市内の総合型地域スポーツク ラブの数 | 2クラブ | 4クラブ | 2クラブ | 3クラブ | 3クラブ | | | | | | | | |

基本目標4 競技スポーツの振興

| 指標 | 基準値 (H26) | 目標値 (H35) | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29実績 | H30実績 | H31実績 | H32実績 | H33実績 | H34実績 | H35実績 | 山雅クリニック等 |
|-------------------------|--------------|--------------|----------------|-----------------------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|
| トップアスリートとの交流事業 の開催回数 | 年1回 | 年3回以上 | 年1回 | 1 | 1 | | | | | | | | |
| (事業内容) | | | スレック山雅 サッカー | キャリア教 育事業(片 丘小) | 9/25山雅 クリニック | | | | | | | | |

基本目標5 スポーツに関わる人材の育成

| 指標 | 基準値 (H26) | 目標値 (H35) | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29実績 | H30実績 | H31実績 | H32実績 | H33実績 | H34実績 | H35実績 | 講習会開催した 実数 |
|-----------------------|--------------|--------------|-------|-------------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|
| 指導者向けの講習・教室等の 開催回数 | 年1回 | 年1回以上 | 年1回 | 1回 (栄養学) | 1回 | | | | | | | | |
| (事業内容) | | | | | (けが予防 と体づくり) | | | | | | | | |

基本目標6 スポーツ施設の整備と有効活動

| 指標 | 基準値 (H25) | 目標値 (H35) | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29実績 | H30実績 | H31実績 | H32実績 | H33実績 | H34実績 | H35実績 | 体育施設利用者 数 (基準段階でプール と楢川弓道場を除く) |
|------------|--------------|--------------|----------|----------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|
| スポーツ施設利用者数 | 475,861人 | 475,000人 | 524,821人 | 516,169人 | 502,335人 | | | | | | | | |

塩尻市立図書館サービス計画 サービス指標

| 担当 | No | サービス内容 | サービス指標 | H28年度実績 | H29年度目標 |
|---------|----|---------------------|-------------------------------------|--|-----------------|
| 資料係 | 1 | 資料の収集 | 蔵書数 | 467,703冊 | 49万冊 |
| | 2 | 資料の整理・保存 | データ登録せずに保存している資料の一覧を作成し、ホームページで公開する | 未実施 | |
| | 3 | 資料の提供 | 蔵書回転率(全館) | 一般:0.95(一般書・郷土資料) 児童:1.8(児童書・紙芝居) | 一般:1.2以上 児童:2以上 |
| 奉仕 | 4 | レファレンスサービス | レファレンス受付件数 | 30%増(受付件数(全館):2,410件) | 平成25年度比20%増 |
| | 5 | 分館 | レファレンス受付件数 | 41%増(受付件数:1,466件) | 前年度比3%以上 |
| 子ども | 6 | 乳幼児サービス・児童サービス | 児童書の蔵書回転率 | 1.8 | 2以上で維持 |
| | 7 | 青少年サービス | 中高生向け企画事業の開催回数 | 6回/年 | 3回/年 |
| 障がい者チーム | 8 | 高齢者サービス | シニア世代向け企画事業の開催回数 | 2回/年 | 1回/年 |
| | 9 | 図書館利用に障がいのある方へのサービス | DAYSYの所蔵数 | DAYSY203タイトル マルチメディアDAYSY161タイトル | 500タイトル |
| ビジネスチーム | 10 | ビジネス支援サービス | ビジネス支援サービスの広報回数 | 39回/年 | 10回以上/年 |
| | 11 | 子育て支援サービス | 全館に子育てを支援するコーナーを設ける | 実施済み | |
| 多文化 | 12 | 多文化サービス | 外国語で書かれた実用書の蔵書数 | 1,645冊(コミック除くと1,061冊) | 1,800冊 |
| | 13 | 医療・健康情報サービス | 市の担当部署や市内医療機関等と連携を始め、講演会等の企画事業を行う | 健康づくり課との連携、松本医療センターと松本歯科大 学主催の市民公開講座での 出張図書館実施 | 1回/年 |
| 市民活動支援 | 14 | 図書館サポーターとの協働 | 登録者との意見交換会の開催 | 3回/年 | 1回/年 |
| | 15 | 郷土資料の充実と活用 | 郷土資料にかかわる人物等の紹介や、郷土資料を生かした企画事業の開催 | 3回/年 | 3回/年 |
| 子ども | 16 | 学校連携 | 学校図書館司書の研修の機会 | 6回/年 | 3回以上/年 |
| | 17 | 企画事業 | イベント参加人数(全館) | 15,848人/年 | 10,000人/年 |
| 企画 | 18 | 情報発信 | メディアに取り上げられる回数 | 194回/年 | 50回/年 |
| | 19 | デジタル資料の充実と活用 | デジタル資料アクセス数 | 548件/年 | 350件/年 |

第2次塩尻市子ども読書活動推進計画 数値目標

| No | 数値目標 | H28年度 | H31目標値 |
|----|---------------------------|----------|--------|
| 1 | 学校図書館や地域の図書館の利用の割合 | | |
| | 児童数の割合(小学校6年生) | 74.50% | 85% |
| | 生徒数の割合(中学校3年生) | 60% | 60% |
| 2 | 授業以外で、普段、読書をしている児童・生徒数の割合 | | |
| | 児童数の割合(小学校6年生) | 82% | 90% |
| | 生徒数の割合(中学校3年生) | 76.20% | 80% |
| 3 | 本と子どもをつなぐ事業への参加者数 | 11,648 人 | 10,000 |
| | おはなし会 | 3,580 人 | |
| | おはなしプレゼント | 4,336 人 | |
| | その他 | 3,732 人 | |
| 4 | 「こんにちは」絵本(ブックスタート)の配布率 | 99% | 100% |
| 5 | 子どもの読書環境の数値 | | |
| | 団体貸出数 | 9,194 冊 | 12,000 |

平成28年度 塩尻市教育委員会会議等記録

1. 教育委員の任免

| 氏名 | 任期 | |
|--------|----------|-----------------------|
| 山田 富 康 | 教育長（再任） | 平成28年6月27日～平成31年6月26日 |
| | 教育長 | 平成24年6月27日～平成28年6月26日 |
| 小澤 嘉 和 | 教育長職務代理者 | 平成28年6月27日～平成32年6月25日 |
| | 委員長 | 平成27年6月26日～平成28年6月25日 |
| 林 貞 子 | 委員 | 平成28年6月27日～平成31年6月25日 |
| | 委員長職務代理者 | 平成27年6月26日～平成28年6月26日 |
| 石井 實 | 委員 | 平成26年6月22日～平成30年6月21日 |
| 小島 佳子 | 委員 | 平成25年7月 1日～平成29年6月30日 |

2. 定例・臨時教育委員会

| 期日 | 会議 | 案 件 | |
|----------------|------|-------|---|
| 4月21日 | 4月定例 | 報告案件 | 平成28年度教育委員会中期事業部戦略について |
| | | | 要保護及び準要保護児童生徒の認定について〈非公開〉 |
| | | | 平成27年度中学校卒業生進路状況について〈非公開〉 |
| | | 議事案件 | 平成28年度塩尻市奨学生の選考について〈非公開〉 |
| | | | 塩尻市指定有形文化財の指定について |
| | | その他案件 | 教育委員会事務局に係る条例等の制定及び改正 |
| 本の寺子屋の年間計画について | | | |
| 5月26日 | 5月定例 | その他案件 | 塩尻市青少年スポーツ大会出場激励金交付要綱の制定について 平成28年度教育委員会関係補正予算（案）について〈期間限定非公開〉 |
| 6月27日 | 6月定例 | 報告案件 | 市議会6月定例会報告について |
| | | 議事案件 | 学校給食におけるアレルギー対応指針について |
| 7月21日 | 7月定例 | 報告案件 | 平成28年度 熊出没に係るスクールバスの増発対応 |
| | | その他案件 | 吉田原保育園・吉田児童館分館について |
| 8月25日 | 8月定例 | 報告案件 | 塩尻市新体育館基本計画について |
| | | | 平成28年度 第30回全国短歌フォーラムin塩尻（一般の部）投稿数 |
| | | 議事案件 | 塩尻市教職員住宅管理規則の一部を改正する規則 |
| | | | 塩尻市職員人事考課実施要項の一部を改正する訓令 |
| | | | 塩尻市立図書館資料収集方針 |
| | | | 塩尻市立図書館資料選択基準 |
| | | その他案件 | 平成28年度 全国学力・学習状況調査結果の公表について |
| | | | 教育委員会関係例規制定・改正（案）について |
| | | | 平成28年度教育委員会関係補正予算（案）について〈期間限定非公開〉 |
| | | | 損害賠償の額の決定の専決処分報告について〈期間限定非公開〉 |

| 期日 | 会議 | 案 件 | |
|-----------------------------------|--------------------------------|---------------------------|---|
| 9月29日 | 9月定例 | 報告案件 | 市議会9月定例会報告について |
| | | 議事案件 | 市立学校職員に対する指導上の措置について〈非公開〉 |
| 10月20日 | 10月定例 | 議事案件 | 平成28年度全国学力・学習状況調査結果の結果について |
| | | | 市立学校職員に対する指導上の措置について〈非公開〉 |
| 11月24日 | 11月定例 | 議事案件 | 塩尻市体育施設管理規則の一部を改正する規則 |
| | | | 教育委員会自己点検・評価について |
| | | その他案件 | 教育委員会事務局に係る条例等の制定及び改正について〈期間限定非公開〉 平成28年度教育委員会関係補正予算（案）について〈期間限定非公開〉 |
| 12月22日 | 12月定例 | 報告案件 | 市議会12月定例会報告について |
| | | 議事案件 | 学校運営協議会委員の解任及び補欠委員の任命について |
| | | | 市立学校職員に対する指導上の措置について〈非公開〉 |
| その他案件 | 平成29年度教育委員会関係予算要求主要事業について〈非公開〉 | | |
| 1月26日 | 1月定例 | 報告案件 | 平成29年度全国学力・学習状況調査について |
| | | | 研修紀要について |
| | | 議事案件 | 学校運営協議会委員の解任及び補欠委員の任命について |
| 2月21日 | 2月定例 | 議事案件 | 塩尻市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則について |
| | | | 塩尻市立小・中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則 |
| | | | 塩尻市伝統的建造物群保存地区保存条例施行規則の一部を改正する規則 |
| | | | 塩尻市奈良井及び木曾平沢伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について |
| | | | 塩尻市立図書館資料除籍基準 |
| | | | 学校運営協議会委員の解任について |
| | | 市立学校職員に対する指導上の措置について〈非公開〉 | |
| | | その他案件 | 教育委員会関係例規制定及び改正（案）について〈期間限定非公開〉 |
| | | | 平成29年3月塩尻市議会報告案件〈期間限定非公開〉 |
| 平成28年度教育委員会関係補正予算（案）について〈期間限定非公開〉 | | | |
| | | | 平成29年度教育委員会関係予算（案）について〈期間限定非公開〉 |
| | | | 平成29年度教育委員会関係行事等予定（案）について |

| 期日 | 会議 | 案 件 | |
|----------------|------|-------|------------------------------|
| 3月23日 | 3月定例 | 報告案件 | 市議会3月定例会報告について |
| | | | 平成29年度塩尻市教育センター研修講座について |
| | | | 平成29年度塩尻市立学校の休業日について |
| | | | 校長・教頭の人事異動について |
| | | | 教育委員会事務局4月1日付人事異動について |
| | | | 長野県公立高等学校入学者選抜の結果〈非公開〉 |
| | | 議事案件 | 市立学校職員に対する指導上の措置について〈非公開〉 |
| | | | 塩尻市立小・中学校職員服務規程の一部改正について |
| | | | 学校運営協議会委員の解任及び補欠委員の任命について |
| | | | 塩尻市文化財保護審議会委員の委嘱について |
| | | | 塩尻市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について |
| | | その他案件 | 塩尻市学校運営協議会規則の一部改正について |
| 学校運営協議会の設置について | | | |

3. 協議会

| 期日 | 協議事項 |
|--------|--|
| 4月21日 | 参議委員議員通常選挙の執行と明るい選挙推進について 中信教育事務所主幹指導主事学校訪問の日程について |
| 5月26日 | 松本養護学校の再配置に伴う通学区について 学校給食食物アレルギー対応指針について 児童生徒数の推計 塩尻志学館高等学校学校評議員の選出について こんにちは教育委員会 教育委員の視察研修について |
| 6月27日 | 塩尻市立図書館資料収集方針及び資料選択基準の改正について 松本養護学校の再配置に伴う通学区について 副学籍による交流及び共同学習の実施について コミュニティ・スクール視察研修について |
| 7月21日 | 塩尻市立図書館資料収集方針及び資料選択基準の改正について 「学校だより」などへの新聞記事掲載のための協定について コミュニティ・スクール視察研修について |
| 8月25日 | 学校爆破予告メールについて 教育委員研修について 奨学資金貸与者選考基準について |
| 9月29日 | 北部拠点の概要について 全国学力・学習状況調査の公表内容について 平成28年度（27年度実績）教委委員会自己点検・評価事務事業について 教育委員研修について 消防防災無線の定時放送について 総合教育会議について |
| 10月20日 | 塩尻市立図書館資料除籍基準 小学校外国語活動に関するアンケート調査について 平成28年度（27年度実績）教委委員会自己点検・評価事務事業について 平成28年度主幹指導主事B日程の学校における諸表簿施設等点検について コミュニティ・スクールの上半期の評価について 教育委員会研修について 鶏鳴会について |

| | |
|--------|--|
| 11月24日 | 塩尻市民体育祭冬期スケート大会について セイコーエプソン（株）上水供給要望に対応する整備計画について 塩尻市立図書館資料除籍基準 こんにちは教育委員会について |
| 12月22日 | 新体育館の中間報告 丘中学校における上水配水池の経過報告について こんにちは教育委員会のまとめ 平成29年度塩尻市教育委員会の活動について |
| 1月26日 | 副学籍による交流及び共同学習の実施について 塩尻市立小・中学校管理規則の一部改正について 平成29年度教育委員会会議日程案について ヘルスパ塩尻バス事故について |
| 2月21日 | 新体育館の中間報告（第2回）について 塩尻市奨学資金貸与事業の見直しについて 卒業式・入学式の出席校の調整について |
| 3月24日 | 保育園児の状況について 小中学校の入学式について 平成28年度の教育委員会活動の総括について 年度末・年度始め諸行事について 第五次塩尻市総合計画審議会委員の推薦について 塩尻市行政チャンネル放送番組の審議会委員の選出について |

4. こんにちは教育委員会

10月26日 広陵中学校 授業参観、学校施設視察、グループ懇談
11月29日 木曾檜川小学校 授業参観、学校施設視察、グループ懇談

5. 教育委員研修

7月26日 千葉県習志野市 コミュニティ・スクール視察研修
10月14日 飯山市 長野県市町村教育委員会研修総会
11月21・22日 石川県金沢市 市町村教育委員会研究協議会（第1ブロック）

6. 主幹指導主事学校訪問

5月17日 片丘小学校
6月3日 広丘小学校
8月29日 塩尻西部中学校
9月28日 宗賀小学校
10月4日 丘中学校

7. 教育委員会関係の主な行事

| 期日 | 担当課 | 行事名 |
|-----------------|---------------------|--|
| 4月23日 | 図書館 | 読書推進アドバイザー松本美幸の一日読み聞かせ会 |
| 4月28日 | 図書館 | 第1回DVD鑑賞会「そして父になる」 |
| 4月30日 | 平出博物館 | 妙義山城を歩こう |
| 5月1日 | 交流支援課 | 「カタオカザクラ」フラワーボトル教室～しおじりをボトルに詰めよう |
| 5月15日 | 図書館 | 信州しおじり本の寺子屋講演会 |
| 5月15日 | 生涯学習スポーツ課 | 第28回ファミリースポレクフェスティバル |
| 5月17日 | 交流支援課 | ビジネス読書会(第1回)「今を見つめ、5年後の仕事を考える」 |
| 5月21日 | 図書館 | 本の寺子屋講演会 「子どもの頃読んだ本－源氏物語と罪と罰」水原紫苑さん |
| 5月22日 | 教育総務課 | 信州しおじり 体験学習フェスティバル |
| 5月28日 | 図書館 | 子ども本の寺子屋「ことば遊びワークショップ」 「メオトよみ絵本ライブ」平田昌広さん・平田景さん |
| 6月1日 | 平出博物館 | 全国植樹祭ながの2016 平出遺跡植樹祭 |
| 6月3日 ～6月26日 | 図書館 | 本の寺子屋企画展 江口みつおき絵本原画展 |
| 6月4日 | 平出博物館 | 土曜サロン 「塩尻の考古学研究」 |
| 6月5日 | 図書館 | 子ども本の寺子屋「めざせ！図書館マスター」① |
| 6月5日 | 平出博物館 | 釜井庵寺子屋塾 「原家文書から読み解く洗馬の歴史」 |
| 6月7日 | 平出博物館 | 全国植樹祭ながの2016 平出遺跡植樹祭 |
| 6月10日 ～6月12日 | 生涯学習スポーツ課 | 塩尻市民芸術祭・展示発表の部 |
| 6月12日 | 図書館 | 子ども本の寺子屋小嶋陽太郎トーク会 |
| 6月12日 | 生涯学習スポーツ課 | 塩尻市民芸術祭・舞台発表の部 |
| 6月12日 | 教育総務課 | こども未来塾 小学生リーダー研修 |
| 6月12日 | 生涯学習スポーツ課 | 塩尻短歌大学第105講 |
| 6月17日 | 交流支援課 | ビジネス読書会(第2回) 「お客様上司の心を動かす言い方・話し方」 |
| 6月18日 | 交流支援課 | ちびてつ(第1回) |
| 6月19日 | 交流支援課・子育て支援センター、図書館 | ニコニコ交流会(第1回) |
| 6月19日 | 図書館 | 信州しおじり本の寺子屋講演会 「ポスト・フクシマと「沖縄革命」-新著『辺野古の弁証法』を機軸に |
| 6月19日 | 生涯学習スポーツ課 | 第26回スポレクバイアスロン大会 |
| 6月21日 | 教育総務課 | 第1回塩尻市コミュニティ・スクール研修会 |
| 6月25日 | 子育て支援センター・図書館 | わらべうたライブとファミリーサポート全体交流会 |
| 6月25日 ～6月26日 | 平出博物館 | 大人の土器づくり講座 |
| 6月26日 | 図書館 | 子ども本の寺子屋「めざせ！図書館マスター」② |
| 6月27日 | 交流支援課 | 市民交流センター接遇研修会(第2回) |
| 6月28日 | 交流支援課 | ほっと！HOT！おいしい珈琲の入れ方講座 |
| 7月1日 | 図書館 | 信州発・これからの図書館フォーラム都道府県立図書館サミット2016 |
| 7月2日 ～7月3日 | 図書館 | 図書館総合展2016フォーラムin塩尻 |
| 7月3日 | 平出博物館 | ひらいでミュージアムコンサート「人類のはじめて物語」 |
| 7月4日 | 子育て支援センター | 子育てサポータースキルアップ講座 |
| 7月7日 ～8月8日 | 本洗馬歴史の里資料館 | 釜井庵七夕飾り |
| 7月9日 | 交流支援課・子育て支援センター、図書館 | 家族でおいでおいで祭りinえんぱーく |
| 7月9日 | 平出博物館 | 土曜サロン 「弥生時代の再葬墓-」 |

| 期日 | 担当課 | 行事名 |
|------------------|---------------------|--|
| 7月10日 | 図書館 | 子ども本の寺子屋「めざせ！図書館マスター」③ |
| 7月10日 | 平出博物館 | 釜井庵寺子屋塾 「桔梗が原と狐の話」 |
| 7月10日 | 生涯学習スポーツ課 | 第12回塩尻市民音楽祭（管弦楽の部） |
| 7月16日 | 交流支援課 | ちびてっ(第2回) |
| 7月16日 ～8月31日 | 自然博物館 | ふるさとの昆虫展 |
| 7月17日 | 交流支援課・子育て支援センター、図書館 | ニコニコ交流会(第2回) |
| 7月22日 | 交流支援課 | ビジネス読書会(第3回)「グッと掴むPR力・惹きつける拡散力」 |
| 7月23日 | 子育て支援センター | 「子育て市民講座」子育てサポーター&地域ボランティア養成講座(第7回) |
| 7月24日 | 図書館 | 子ども本の寺子屋「めざせ！図書館マスター」④ |
| 7月28日 | 図書館 | 第2回DVD鑑賞会「黄金の腕」 |
| 7月30日 | 本洗馬歴史の里資料館 | 洗馬焼き作りに挑戦 |
| 7月31日 | 図書館 | 信州しおじり本の寺子屋講演会 「〈出版の冒険者たち〉への賛歌」植田康夫氏 |
| 7月31日 | 平出博物館 | 企画展 「市指定有形文化財とその仲間たち」 |
| 7月31日 ～8月9日 | 図書館 | 夏休み宿題おうえん隊 |
| 8月2日 ～8月6日 | 自然博物館 | 親子昆虫標本作り教室 |
| 8月3日 ～8月4日 | 家庭支援課 | 特別支援教育研修会 |
| 8月4日 | 図書館 | 子ども本の寺子屋本ができるまでツアー 藤原印刷 |
| 8月5日 | 図書館 | 信州しおじり本の寺子屋ワークショップ 「授業で使おう！学校図書館」中山美由紀氏 |
| 8月6日 | 図書館 | 信州しおじり本の寺子屋講演会 「私の図書館体験」中沢けい氏 |
| 8月6日 | 本洗馬歴史の里資料館 | 洗馬焼き作りに挑戦 |
| 8月12日 | 交流支援課 | 見て！とって！夏のカブトムシ&クワガタ講座 |
| 8月12日 | 本洗馬歴史の里資料館 | 洗馬焼き作りに挑戦 |
| 8月20日 | 交流支援課 | ちびてっ(第3回) |
| 8月20日 、8月27日 | 子育て支援センター | ファミリーサポート交流会 (南・北エリア) |
| 8月21日 | 図書館 | 信州しおじり本の寺子屋講演会 「書物浴の勧めー本のそばにいる幸せ」窪島誠一郎氏 |
| 8月21日 | 交流支援課・子育て支援センター、図書館 | ニコニコ交流会(第3回) |
| 8月25日 | 男女共同参画人権課 | 家庭でできる脳トレ・ヨガ教室 |
| 8月25日 ～12月15日 | 男女共同参画・人権課 | 家庭でできる脳トレ・ヨガ教室 |
| 8月27日 | 図書館 | 3Dプリンター体験講座(8/27(土)、9/3(土)の全2回の講座) |
| 8月27日 | 平出博物館 | 「飛び出せ土曜サロン」～飯田・伊那の文化財を巡る～ |
| 8月27日 ～8月28日 | 生涯学習スポーツ課 | 第12回塩尻市民音楽祭 (バンドの部) |
| 8月28日 | 生涯学習スポーツ課 | 第36回塩尻市民水泳大会 |
| 8月30日 | 子育て支援センター | 母乳・ミルクについて話そう！ |
| 9月4日 | 自然博物館 | 美ヶ原自然観察会 |
| 9月4日 | こども課 | 児童館まつり |
| 9月4日 | 平出博物館 | 第13回ひらいで遺跡まつり |
| 9月6日 | 子育て支援センター | 子育てサポーター&地域ボランティア養成講座⑩・閉講式 |
| 9月10日 | 平出博物館 | 企画展記念講演会 「真澄遊覧記と本洗馬の里」 |
| 9月11日 | 図書館 | 信州しおじり本の寺子屋講演会 「かがく絵本ができるまで」川鍋雅則氏 |

| 期日 | 担当課 | 行事名 |
|-------------------|-------------------------------|---|
| 9月11日 | 図書館 | 子ども本の寺子屋「めざせ！図書館マスター」⑤ |
| 9月11日 | 平出博物館 | 企画展 「市指定有形文化財とその仲間たち」 |
| 9月11日 | 生涯学習スポーツ課 | 第8回塩尻ぶどうの郷ロードレース |
| 9月11日 | 生涯学習スポーツ課 | 第12回塩尻市民音楽祭（コーラスの部） |
| 9月11日 | 教育総務課 | こども未来塾中学生リーダー研修 |
| 9月14日 | 自然博物館 | 自然博物館協力会研修 |
| 9月14日 | 男女共同参画人権課 | 塩尻市企業人権教育推進連絡協議会 研修会 |
| 9月15日 | 図書館 | 第3回DVD鑑賞会「武器よさらば～戦場よさらば～」 |
| 9月17日 | 交流支援課 | ちびてっ(第4回) |
| 9月17日 | 平出博物館 | 土曜サロン「信濃の布生産と火熨斗」 |
| 9月18日 | 交流支援課・子育て支援センター、図書館 | ニコニコ交流会(第4回) |
| 9月18日 | 交流支援課 | てくてくえんぱーく「くるんくるんおもちゃをつくろう」 |
| 9月24日 ～9月25日 | 生涯学習スポーツ課 全国短歌フォーラム実行委員会 | 第30回全国短歌フォーラムin塩尻 |
| 9月25日 | 図書館 | 子ども本の寺子屋「めざせ！図書館マスター」⑥ |
| 9月25日 | 図書館 | 信州しおじり本の寺子屋講演会 「本の魅力ー書評の功罪ー」三島 利徳氏 |
| 9月25日 | 平出博物館 | 釜井庵寺子屋塾 「洗馬焼きの歴史を語る」 |
| 9月27日 | 交流支援課 | シニア講座「オシャレなステンドグラスライトづくり |
| 10月1日 ～10月2日 | 交流支援課 | こどもアトリエタウン2016 |
| 10月2日 | 教育総務課 | 給食レストラン |
| 10月5日 ～10月7日 | 教育総務課 こども課 | 洗馬通学合宿 |
| 10月6日 ～1月19日 | 男女共同参画・人権課 | 学習の時間がもてる！ ファイナンシャルプランナー3級 |
| 10月8日 | 平出博物館 | 「菅江真澄・信濃の旅」記念イベント ～真澄の足跡を巡る～ |
| 10月10日 | 交流支援課、図書館 | えんぱーくで夢をみつけよう～英語のお仕事編 |
| 10月10日 | 子育て支援センター | 子育て支援講座「山口 マオ講演会」 |
| 10月11日 ～2月14日 | 男女共同参画・人権課 | 身体をほぐして心も癒すストレッチピラティス講座 |
| 10月13日 ～2月9日 | 男女共同参画・人権課 | 知って彩る和の基本をじっくり学ぶ 料理講座 |
| 10月15日 | 交流支援課 | ちびてっ(第5回) |
| 10月15日 | 平出博物館 | 土曜サロン「神への祈り-鉄鐸- |
| 10月16日 | 図書館 | 信州しおじり本の寺子屋講演会古田晁記念館文学サロン 「古田晁さんの三つの不思議」柏原 成光氏 |
| 10月21日 | 交流支援課 | お片づけ講座社会人の、仕事がかどる書類整理術 |
| 10月22日 | こども課 | 親子でイクジー・えんぱー保育園 |
| 10月22日 ～10月23日 | 平出博物館 | そば切り物語り・塩尻ヌーボーピクニック |
| 10月23日 | 図書館 | 信州しおじり本の寺子屋講演会 「言葉のリズムに想いをのせて」村上 しいこ氏 |
| 10月29日 | ブランド観光商工課・子育て支援センター・図書館・交流支援課 | ハッピーハロウィーン2016 |
| 10月29日 | 教育総務課 | 給食レストラン |
| 10月30日 | 図書館 | 子ども本の寺子屋「めざせ！図書館マスター」⑦ |
| 10月30日 | 教育総務課 | こども未来塾 小学生リーダー研修 |
| 11月1日 ～11月3日 | 生涯学習スポーツ課 | 塩尻市民文化祭・展示発表の部 |

| 期日 | 担当課 | 行事名 |
|-------------------|---------------------|--|
| 11月2日 ～11月3日 | 生涯学習スポーツ課 | 塩尻市民文化祭・舞台発表の部 |
| 11月3日 | 図書館 | 子ども本の寺子屋「本の帯づくり」 |
| 11月5日 | 自然博物館 | 松本四賀化石館見学とレプリカ作り |
| 11月6日 | 生涯学習スポーツ課 | 第11回塩尻市民洋楽舞踊フェスティバル |
| 11月6日 | こども課 | 子育て応援講演会 |
| 11月6日 | 平出博物館 | 平出歴史大学「副葬品からみた縄文社会」 |
| 11月6日 | 本洗馬歴史の里資料館 | 紅葉の釜井庵で短歌を |
| 11月9日 ～12月28日 | 平出博物館 | 三笠宮崇仁親王殿下と平出遺跡 - 資料展 - |
| 11月9日 ～1月28日 | こども課 | 巡回しおじり子育て応援講演会 |
| 11月12日 | 図書館 | 長野県図書館大会 |
| 11月13日 | 図書館 | 信州しおじり本の寺子屋講演会 「装幀の種」間村 俊一氏 |
| 11月13日 | 図書館 | 子ども本の寺子屋「めざせ！図書館マスター」⑧ |
| 11月13日 | こども課・教育総務課 | 食物アレルギー講演会 |
| 11月13日 | 男女共同参画・人権課 | 女と男21世紀セミナー「自分をプロデュース『今』が自分のスタートライン」 |
| 11月14日 ～1月25日 | 男女共同参画・人権課 | 手づくりパン教室 |
| 11月17日 | 図書館 | ビジネス情報ナイト相談会 |
| 11月17日 | 家庭支援課 | 元気っ子講演会 |
| 11月17日 | 家庭支援課 | 元気っ子講演会 |
| 11月19日 | 交流支援課 | ちびてつ(6回) |
| 11月19日 | 自然博物館 | 第38回自然科学講座 「高ボッチ高原のシカの食害とその対策」 |
| 11月19日 ～11月20日 | 教育総務課 | 木育フェスティバル (小学校木育活動作品の展示) |
| 11月20日 | 交流支援課・子育て支援センター、図書館 | ニコニコ交流会(第6回) |
| 11月24日 | 図書館 | DVD鑑賞会 |
| 11月26日 | 生涯学習スポーツ課 | 第30回全国短歌フォーラムin塩尻学生の部 |
| 11月27日 | 図書館 | 目指せ図書館マスター(第9回) |
| 11月27日 | 教育総務課 | こども未来塾中学生リーダー研修(翌年度生徒会役員を対象に開催) |
| 11月27日 | 生涯学習スポーツ課 | ファミリースポレクフェスティバル第4回ワンバウンドふらば～るバレーボール大会 |
| 12月3日 | 交流支援課・子育て支援センター、図書館 | えんぱーくクリスマス2016 |
| 12月3日 | 男女共同参画・人権課 | 塩尻市豊かな心を育む市民の集い |
| 12月4日 | 図書館 | 信州しおじり本の寺子屋講演会 「これからの読書のすがた」荒川洋治氏 |
| 12月4日 | 平出博物館 | 平出歴史大学 ～プレスレットから見える、もうひとつの弥生社会～ |
| 12月10日 | 平出博物館 | 土曜サロン～華やかに飾られた土器～焼町(やけまち)式土器～ |
| 12月10日 ～12月11日 | 交流支援課・子育て支援センター、図書館 | 市民営提案事業 子どもだけの街 こどもしおじり |
| 12月11日 | 図書館 | めざせ図書館マスター(第10回) |
| 12月11日 | 図書館 | 日本の文化を学ぼうTea Ceremony |
| 12月11日 | 自然博物館 | 世界の木の実展 |

| 期日 | 担当課 | 行事名 |
|-----------------|-----------------------------|---|
| 12月11日 | 中央公民館 教育総務課 | 公民館コミュニティ・スクール講演会 |
| 12月11日 | 生涯学習スポーツ課 | 第10回塩尻市民演劇フェスティバル |
| 12月16日 | 男女共同参画人権課 | 家庭でできる脳トレ・ヨガ教室 |
| 12月17日 | 交流支援課 | ちびてつ(第7回) |
| 12月17日 | 子育て支援センター | ファミリーサポート入会説明会 |
| 12月17日 | 図書館 | えんぱーくで夢を見つけよう |
| 12月18日 | 交流支援課・子育て支援センター、図書館 | ニコニコ交流会(第7回) |
| 12月18日 | 交流支援課 | ビジネス支援講演会&テイスティング交流会 |
| 12月22日 | 子育て支援センター | クリスマス&おはなし玉手箱 |
| 12月23日 | 図書館 | 子ども本の寺子屋 「めざせ! 図書館マスター」修了式 |
| 12月23日 | 生涯学習スポーツ課 | 第57回塩尻市民体育祭冬季大会スケート競技会(兼) 第37回塩尻市朝日村ジュニアスケート競技大会 (兼)第59回松本市民体育大会スケート競技会 |
| 12月27日 | 教育総務課 | 姉妹都市(南伊豆町)小学生交流会 |
| 12月28日 | 教育総務課 | 給食レストラン |
| 1月5日 | 生涯学習スポーツ課 | 第51回新春書初め大会 |
| 1月8日 | 生涯学習スポーツ課 | 平成29年塩尻市成人式 |
| 1月9日 ~2月15日 | 男女共同参画・人権課 | はじめての茶道教室 |
| 1月14日 | 生涯学習スポーツ課 全国短歌フォーラム実行委員会 | 第2回詠み会in塩尻 |
| 1月19日 | 図書館 | ビジネス情報相談会 |
| 1月21日 | 交流支援課 | ちびてつ(第8回) |
| 1月21日 | 男女共同参画・人権課 | 女(ひと)と男(ひと)21世紀セミナー 「毎日がHappyになる!! これからの働き方」 |
| 1月21日 ~2月26日 | 平出博物館 | 塩尻の出土品大集合 一片丘地区の考古学調査一 |
| 1月29日 | 子育て支援センター | つくろう! 広げようパパ友達の輪2017 |
| 1月31日 | 図書館 | 信州しおじり本の寺子屋講演会 「選書で開く図書館の未来」豊田高広氏 |
| 1月31日 | 交流支援課・図書館 | シニア向け読書会(第1回) |
| 2月5日 | 生涯学習スポーツ課(塩尻短歌館) | 第22回短歌の里百人一首大会 |
| 2月11日 | こども課 | 親子でイクジー・えんぱー保育園 |
| 2月12日 | 自然博物館 | ぬくもりのある木のおもちゃ三人展 |
| 2月14日 | 教育総務課 | 第2回コミュニティ・スクール連絡協議会 |
| 2月16日 | 図書館 | ビジネス情報相談会 |
| 2月18日 | 交流支援課 | ちびてつ(第9回) |
| 2月19日 | 交流支援課・子育て支援センター、図書館 | ニコニコ交流会(第8回) |
| 2月19日 | 図書館 | データベース講座「相続・遺言」基本講座 |
| 2月21日 | 生涯学習スポーツ課 | ズンバ教室 |
| 2月25日 | 子育て支援センター | 音の絵本コンサート |
| 2月25日 | 図書館 | 3Dプリンター体験講座(連続2回講座) |
| 2月25日 | 生涯学習スポーツ課 | 平成28年度スポーツ講演会 |
| 2月28日 | 交流支援課 | シニア読書会(第2回) |
| 2月28日 | 生涯学習スポーツ課 | ズンバ教室 |
| 3月4日 | 図書館 | 3Dプリンター体験講座(連続3回講座) |
| 3月4日 、3月11日 | 平出博物館 | ひらいで考古雑談「私の考古学履歴書」①及び② |

| 期日 | 担当課 | 行事名 |
|------------------|-------------------------|--|
| 3月5日 | 交流支援課 | てくてくえんぱーく美術講座 「光のアクアリウムを作ろう」 |
| 3月5日 | 塩尻短歌館 | 第2回 短歌の里コンサート 「人生のよろこび 愛のよろこびをうたう」 |
| 3月6日 | 平出博物館 | つるかごづくり |
| 3月7日 | 生涯学習スポーツ課 | ズンバ教室 |
| 3月11日 | 平出博物館 | 洗馬歴史講演会 「菅江真澄の俳諧的感受性」 |
| 3月12日 | 図書館 | ちょこっと理科読集大成 |
| 3月14日 | 生涯学習スポーツ課 | ズンバ教室 |
| 3月 5日 | 子育て支援センター | ひなまつりコンサート |
| 3月 5日 ～ 3月12日 | 平出博物館 | ひらいで考古雑談Ⅰ及びⅡ～私の考古学履歴書～ |
| 3月 6日 | 平出博物館 | つるかごづくり |
| 3月 6日 | 生涯学習スポーツ課 | 早春のつどい |
| 3月 6日 | 塩尻短歌館 | 短歌の里コンサート（第2回） 「天使たちのおかあさんへー母の愛をうたうー」 |
| 3月 6日 | 図書館・交流支援課 | 本の寺子屋講演会「こどもの心に気づくとき ～絵本作家が語る絵本の世界～」 |
| 3月12日 | 子育て支援センター | ベビーマッサージ&命の学習講座 |
| 3月13日 | 平出博物館 | ギャラリートーク～洗馬焼を語る～ |
| 3月13日 | 子育て支援センター | 長谷川義史絵本ライブ |
| 3月13日 | 交流支援課・図書館・ 子育て支援センター | 読み聞かせ交流会（第8回） |
| 3月19日 | 図書館 | 3Dプリンター体験講座（2回目） |
| 3月19日 | 交流支援課 | ちびてつ（第10回） |
| 3月20日 | 交流支援課 | おしごとことごとゼミナール（第8回） |
| 3月27日 | 交流支援課・図書館 | えんぱーく科学館②宇宙と星 |

8. 「広報しおじり」特集等記事掲載

| 掲載号 | ページ数 | 担当課 | 記事名 |
|---------|------|------------|---|
| 4月 1日号 | 1 | 市民交流センター | 「えんぱーく科学館 南極！ ブリザード」(表紙の写真) |
| 5月 1日号 | 1 | 教育総務課 | 「期待に胸を膨らませ、市内9校の小学校に505人が入学。名前を呼ばれて元気に返事をする新1年生。」(表紙の写真) |
| 5月 1日号 | 2 | 子育て支援センター | 特集「子育てしたくなるまちを目指して」 |
| 6月 1日号 | 1 | 生涯学習スポーツ課 | 「新緑の中、みんなで息を合わせてジャンプ！ 子どもも大人もスポーツに親しむファミリースポレクフェスティバル」(表紙の写真) |
| 6月 1日号 | 1 | 生涯学習スポーツ課 | 特集「新体育館基本計画(案)にご意見を」 |
| 6月 1日号 | 2 | こども課 | 特集「子どもの成長を支える保育士」 |
| 7月 1日号 | 4 | 教育総務課 | 特集「コミュニティ・スクール」 |
| 7月 1日号 | 2 | 生涯学習スポーツ課 | 特集「市民音楽祭」 |
| 8月 1日号 | 1 | 生涯学習スポーツ課 | 「洗馬元町にある釜井庵では、釜井庵七夕飾りを8月7日まで開催中です。」(表紙の写真) |
| 9月 1日号 | 2 | 生涯学習スポーツ課 | 特集「短歌の里 しおじり」 |
| 10月 1日号 | 1 | 生涯学習スポーツ課 | 爽やかな秋の気候の下、幅広い世代の皆さんがしおじりのまちを駆け抜けた「第8回塩尻ぶどうの郷ロードレース」(表紙の写真) |
| 10月 1日号 | 2 | 教育総務課 | 特集「学校給食におけるアレルギー対応」 |
| 10月 1日号 | 1 | こども課 | 特集「保育園等入園手続きのご案内」 |
| 10月 1日号 | 1 | 生涯学習スポーツ課 | 特集「塩尻市民文化祭」 |
| 11月 1日号 | 2 | 家庭支援課 | 特集「元気っ子応援事業」 |
| 11月 1日号 | 1 | 家庭支援課 | 特集「児童虐待防止推進月間」 |
| 11月 1日号 | 1 | こども課 | 特集「児童クラブなどの利用説明会」 |
| 12月 1日号 | 1 | 教育総務課 | 特集「全国学力・学習状況調査報告」 |
| 12月 1日号 | 1 | 男女共同参画・人権課 | 特集「人権を尊重する社会へ」 |
| 2月 1日号 | 1 | 教育総務課 | 特集「コミュニティ・スクールの活動状況」 |
| 2月 1日号 | 2 | 交流支援課 | 特集「まちづくりチャレンジ事業補助制度」 |
| 2月 1日号 | 2 | 生涯学習スポーツ課 | 特集「全国短歌フォーラムin塩尻『学生の部』」 |
| 3月 1日号 | 2 | 教育総務課 | 特集「学校給食から広がる地産地消」 |



**平成29年度（平成28年度実績）
教育委員会自己点検・評価報告書**

平成29年11月

塩尻市教育委員会
(塩尻市こども教育部教育総務課)

長野県塩尻市大門七番町4番3号
電話 (0263) 52-0280 (代)
ホームページ <http://www.city.shiojiri.lg.jp/>
